

3	9. ルーフドレン	※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する <3.8.3>	4	3. 浮き部改修	・ モルタル塗り仕上げ <4.4.4><4.4.8~15>	4	6. 外壁用塗膜防水材塗り <4.1.5><4.2.2><4.8.2><表4.2.6>	5	6. 鋼製軽量建具 <5.5.2~4><表5.5.1>	
	10. アルミニウム製笠木	部材の種類 <3.9.2><表3.9.1> ・ 押出 250形 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 ・ 板材折曲げ形 (・ オープン形式 ・ シール形式) 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。 表面処理 <3.9.2><表5.2.2> ※ BB-1種 ・ BB-2種		・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未満 ※16 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※13 ※12 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※13 ※12 ※20	6. 外壁用塗膜防水塗りの仕上げの形状、工法、外壁用仕上塗材の耐水性、※JIS A 6909の耐水性1種相当 地下挙動緩衝材の適用、適用する、適用しない 付付け工法の模様材の種類、所要量 (kg/m) 外壁用仕上塗材の種類、所要量 (kg/m)		簡易気密型ドアセット <5.5.2~4><表5.5.1> ※ 使用する (適用箇所は図示による) 気密性 ※ A-3 使用しない			
4	11. 防水保証	アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。 塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。	外壁改修工事	4. タイル張り	・ タイル張り仕上げ <4.5.4><4.5.7~15>	5	7. 壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理 <4.6.3>	7. ステンレス製建具 <5.6.2>	戸の鋼板 ※ 垂鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ・ 使用しない <5.5.6> 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製	
	1. ひび割れ部改修	・ コンクリート打放し仕上げ <4.2.2><4.3.4~6> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2未満 ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ Uカットシール材充てん工法 ※ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満		・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未満 ※16 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※13 ※12 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※13 ※12 ※20 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未満 ※9 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※9 ※16 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※16 ※16	7. 壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理 <4.6.3> 塗膜の劣化部の除去工法 処 理 範 囲 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上面全体 ※ 高圧水洗工法 ※ 図示 ・ 塗膜は剥離剤工法 ・ 水洗い工法		簡易気密型ドアセット <5.6.2> ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 使用しない			
5	2. 欠損部改修	・ モルタル塗り仕上げ <4.2.2><4.4.5~7> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2未満 ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ Uカットシール材充てん工法 ※ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満	外壁改修工事	5. 塗り仕上げ外壁	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ タイル貼り除去後 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 樹脂注入工法の上タイル張替え工法 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満 ・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 目地ひび割れ改修工法 ※ 既調合目地材	5	8. 木製建具 (16.7.2~4)	表面処理 ※ HL <5.6.4> 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ <5.6.5>	簡易気密型ドアセット <5.6.2> ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 使用しない	
	9. 建具用金物 <5.7.2><表5.7.1>	・ モルタル塗り仕上げ <4.2.2><4.4.5~7> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2未満 ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ Uカットシール材充てん工法 ※ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満		4. タイル張り	・ タイル張り仕上げ <4.5.4><4.5.7~15> 工法 1箇所 (m) 浮き代 (mm) アンカーピン (本/m) 注入口 (箇/m) 延べ面積 (m) ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未満 ※16 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※13 ※12 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※13 ※12 ※20 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未満 ※9 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※9 ※16 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※16 ※16		1. 一般事項 <5.1.3> 改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。 見本の作成等 <5.1.5> 製作 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 仮組 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する (建具表による) <5.1.7>	木製建具 (16.7.2~4) 建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 椴、鏡板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ふすま工法 (・ 在来型 ・ チップ型)		
6	10. アルミ製窓枠	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ タイル貼り除去後 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 樹脂注入工法の上タイル張替え工法 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満 ・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 目地ひび割れ改修工法 ※ 既調合目地材	外壁改修工事	5. 網戸	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ タイル貼り除去後 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 樹脂注入工法の上タイル張替え工法 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満 ・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 目地ひび割れ改修工法 ※ 既調合目地材	5	9. 建具用金物 <5.7.2><表5.7.1>	性能 ・ 引き戸用駆動装置 <5.8.2><表5.8.1~2> ・ 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置	外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 建具寸法が<5.4.4(1)>を超える又は図示された建具に使用する鋼板の厚さ 区分 使用箇所 厚さ (mm) 窓 枠 枠、方立、無目 <表5.4.2>に同じ 出入口 枠類 一般部分 2.3 戸 中骨 2.3 上記以外 <表5.4.2>に同じ	性能 ・ 引き戸用駆動装置 <5.8.2><表5.8.1~2> ・ 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置
	11. 重量シャッター <5.10.2><表5.10.1>	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ タイル貼り除去後 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 樹脂注入工法の上タイル張替え工法 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満 ・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 目地ひび割れ改修工法 ※ 既調合目地材		5. 網戸	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ タイル貼り除去後 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 樹脂注入工法の上タイル張替え工法 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満 ・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 目地ひび割れ改修工法 ※ 既調合目地材		1. 一般事項 <5.1.3> 改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。 見本の作成等 <5.1.5> 製作 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 仮組 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する (建具表による) <5.1.7>	性能 ・ 引き戸用駆動装置 <5.8.2><表5.8.1~2> ・ 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置		
7	12. 軽量シャッター <5.11.2~4><表5.11.1>	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ タイル貼り除去後 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 樹脂注入工法の上タイル張替え工法 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満 ・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 目地ひび割れ改修工法 ※ 既調合目地材	外壁改修工事	5. 鋼製建具	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ タイル貼り除去後 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 樹脂注入工法の上タイル張替え工法 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満 ・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 目地ひび割れ改修工法 ※ 既調合目地材	5	10. 自動ドア開閉装置 <5.10.2><表5.10.1>	性能 ・ 引き戸用駆動装置 <5.8.2><表5.8.1~2> ・ 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置	性能 ・ 引き戸用駆動装置 <5.8.2><表5.8.1~2> ・ 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置	
	13. オーバーヘッドドア <5.12.2~3>	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ タイル貼り除去後 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 樹脂注入工法の上タイル張替え工法 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満 ・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 目地ひび割れ改修工法 ※ 既調合目地材		5. 鋼製建具	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ タイル貼り除去後 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 樹脂注入工法の上タイル張替え工法 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満 ・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 目地ひび割れ改修工法 ※ 既調合目地材		1. 一般事項 <5.1.3> 改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。 見本の作成等 <5.1.5> 製作 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 仮組 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する (建具表による) <5.1.7>	性能 ・ 引き戸用駆動装置 <5.8.2><表5.8.1~2> ・ 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置		
8	14. ガラス <5.13.2><表5.13.3>	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ タイル貼り除去後 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 樹脂注入工法の上タイル張替え工法 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満 ・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 目地ひび割れ改修工法 ※ 既調合目地材	外壁改修工事	5. 網戸	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ タイル貼り除去後 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 樹脂注入工法の上タイル張替え工法 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満 ・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 目地ひび割れ改修工法 ※ 既調合目地材	5	11. 重量シャッター <5.10.2><表5.10.1>	性能 ・ 引き戸用駆動装置 <5.8.2><表5.8.1~2> ・ 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置	性能 ・ 引き戸用駆動装置 <5.8.2><表5.8.1~2> ・ 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置	
	15. ガラス <5.13.2><表5.13.3>	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ タイル貼り除去後 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 樹脂注入工法の上タイル張替え工法 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満 ・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 目地ひび割れ改修工法 ※ 既調合目地材		5. 網戸	・ タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16> 工法 材料 ひび割れの幅 (mm) 延べ長さ (m) ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ タイル貼り除去後 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 樹脂注入工法の上タイル張替え工法 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 ~ 未満 ・ タイル部分張替え工法 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 目地ひび割れ改修工法 ※ 既調合目地材		1. 一般事項 <5.1.3> 改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。 見本の作成等 <5.1.5> 製作 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 仮組 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する (建具表による) <5.1.7>	性能 ・ 引き戸用駆動装置 <5.8.2><表5.8.1~2> ・ 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置		

5	建具改修工事	15. ガラスブロック(中空)	強化ガラスの特性 Ⅰ類 ・ Ⅲ類 熱線吸収板ガラス 性能 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 断熱性 ・ T1 ・ T2 ・ T3 断熱性 ・ T4 ・ T5	6 内装改修工事	10. 軽量鉄骨壁下地材 11. 体育館の鋼製床下地 ⑫ ビニル床シート張り 13. ビニル床タイル張り 14. ビニル床タイル・ビニル床シートの特長機能 15. 視覚障害者用床タイル 16. ビニル幅木 17. カーペット敷き	スタッド、ランナーなどの種類は表6.7.1)による。 <6.7.3><表6.7.1> <6.7.3><表6.7.1> ※ JIS A 6519のJIS表示認証製品 JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2><6.8.3> 種 類 記号 色柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法 ※ 発泡層のないもの ※FS ※無地 ※2.0 ※帯電防止 ※熱溶接 ・発泡層のあるもの ・TS ・マーブル ・2.5 ・帯電防止 ・耐動荷重 ・突付け 目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法 JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2> 種 類 記号 寸法 厚さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※KT ※300×300 ※2.0 ・帯電防止 ・耐動荷重 ・ホモジニアス ・FT ・300×300 ・2.0 ・帯電防止 ・耐動荷重 目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法 帯電防止 <6.8.2> ・帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2~3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 ・帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×100オーム未満 ・帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスト性試験等の試験後異常がないこと。 材 質 寸法(mm) ・塩化ビニル系 ・せっ器質タイル系 300×300 材 種 ※軟質 ・硬質 ・溶接 <6.8.2> 高 さ(mm) ・60 ※75 ・100 厚 さ(mm) ・1.5 ※2.0 ・タフテッドカーペット <6.9.2~3><表6.9.2> 施工箇所 バイル形状 バイル長さ(mm) 工 法 品 質 帯電性 ※全面接着工法 <6.9.2(2)> ・グリッパー工法による ・タイルカーペット <6.9.2~3><表6.9.1> 施工箇所 種 類 バイル形状 寸法 総厚さ 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※500×500 ※6.5 製造所による ・第2種 ・カットバイル 材料の種類 <6.10.2> ・厚膜型塗床材 ・弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・エポキシ樹脂系塗床材 ・薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 <6.10.3> ・平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・単層フローリング <6.11.2~6><表6.11.1~6> 種 別 樹種 厚さ(mm) 工法 塗装 ・フローリング ※なら ※15幅 75 ・釘止め工法※ウレタン樹脂 ボード1等 ※長さ400以上 ・接着工法 ・ワニス塗り ・オイルステ ン塗りの上 ・フローリング ※なら ※15 (303×303) ・接着工法 ・ワックス ・生地のまま ワックス ・既塗装品 ・複合フローリング 種 別 樹種 種別 防湿処理 工法 塗装 ○ 複合 ※なら ・A種 ・行う ※ウレタン樹脂 フローリング ・さくら ・B種 ・行わない ・接着工法 ・ワニス塗り ・ひのき ※C種 ・行かない ・接着工法 ・オイルステ ン塗りの上 ・大型積層 ・なら ・行う ・特殊張り フローリング ・さくら ・行わ ・行わ ・生地のまま ない (体育館床) ・既塗装品 畳の種類 ・A種 ・B種 <6.12.2><表6.12.1> ※ C種 ・D種 () ⑬ 石こうボード その他ボード 張り <6.13.2~3><表6.13.1><表6.13.5> 種 類 又は記号 種別など 厚 さ(mm) 規格番号 けい酸カルシウム板 JIS A 5430 (繊維強化セメント板) (タイプ2) 0.8FK又は1.0FK 壁 ・8(不燃) ・10(不燃) ・12(不燃) 天井 ・6(不燃) ・12(不燃) グラスウール ガラスクロス JIS A 6301 吸音ボード (JIS A 3414 (32K) (吸音材料) GW-B EP18程度) 額縁張り品 ロックウール ※ 内部用 普通 ※ 9(不燃) 化粧吸音板 ※ 軒天用 立休 ※ 12(不燃) (吸音材料) DR 模様 ※ 15(不燃) ・19(不燃)	6 内装改修工事	22. 遮音シール材 ⑲ 壁紙張り ⑳ タイル張り ㉑ セルフレベリング材塗り	せっこうボード (せっこうボード製品) GB-R 壁 ・9.5(準不燃) JIS A 6901 ◎12.5(不燃) ・15(不燃) 天井 ◎9.5(準不燃) ※12.5(不燃) シージング せっこうボード (せっこうボード製品) GB-S 壁 12.5(準不燃) JIS A 6901 天井 ・9.5(準不燃) ※12.5(準不燃) 不燃積層 せっこうボード (せっこうボード製品) GB-NC トラバーチン模様 色 ※白 ・黄 9.5(不燃) JIS A 6901 化粧せっこうボード (せっこうボード製品) GB-D 木目模様 壁 ・9.5(準不燃) JIS A 6901 木目模様 (裏積付き) 天井 ・9.5(準不燃) ※12.5(不燃) 特殊機能 せっこうボードの目地処理 ・継目処理工法 ※ 突き付けV目地工法 ・アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド 突き付け工法 ・目透し工法 <6.13.2> <6.14.2> 施工箇所 品 質 防 火 種 別 全室 壁・天井 1.000イ7 ・不燃 ◎準不燃 ・その他 ・不燃 ・準不燃 ・その他 ・不燃 ・準不燃 ・その他 ・不燃 ・準不燃 ・その他 タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品 <6.16.3> 施工箇所 形状寸法(mm) うわぐすり 役物 色 再生材 備考 施 無 有 無 標準注文 利用 玄関・ボ-チ床 100角 ゆうゆう たい	8 2 耐震改修工事(コンクリート工事)	① 設計基準強度 ② レディー ミクスト コンクリート ③ 打直し 仕上げの種別 ④ セメントの 種類 ⑤ 骨 材 ⑥ 混和材料 ⑦ 軽量 コンクリート ⑧ 無筋 コンクリート ⑨ グラウト材 ⑩ 柱底等の 均しモルタル ⑪ 型 枠 ⑫ コンクリートの 打込み工法 ⑬ 既存部分の 撤去	普通コンクリート (N/mm ²) <8.1.3> 設計基準強度 適用箇所 ※ 21 種類 ※ I類 ・ II類 <8.1.3><表8.1.1> 種 別 適用箇所 <8.1.4><表8.1.4> ・A種 ・B種 ・C種 セメントの種類 適用範囲 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種 建物躯体(下記以外) シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 基礎、地中梁 ・フライアッシュセメントB種 基礎、地中梁 使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 <8.2.5> ※ A ・ B ⑥ 混和材料 ※ AE剤、AE減水剤1種又は高性能AE減水剤 <8.2.5> 種 別 適用箇所 気乾単位容積質量(t/m ³) <8.9.1><表8.9.1> 適用箇所 無収縮グラウト材は、製造所で調査された材料を使用する。 <8.2.12> 圧縮強度(N/mm ²) : 30以上 コンシステンシーJ14: ロート値(秒) 6~10 乾燥収縮(×10 ⁻⁴): 0 無収縮モルタル材 ・使用する ・使用しない <8.2.12> せき板の種類 ※ 12mm合板 ・ <8.2.7> せき板の塗料 ※ 無 ・ 有 ※ 流込み工法 ・ 圧入工法 <8.21.8><8.23.5> 既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ <8.21.2> 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・
			① 改修範囲 ② 既存床の撤去 ・下地補修 ③ 改修後の 床の清掃範囲 ④ 既存壁の撤去 ・下地補修 ⑤ 木 材 ⑥ 集材材 ⑦ 床張り用合板 ⑧ 防菌・防蟻 ・防虫処理 ⑨ 軽量鉄骨天井 下地材		既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 <6.1.3> ・壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側60mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・図示の範囲 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・図示の範囲 合成樹脂塗床の除去方法 <6.2.2(1)> ・目荒工法 ・機械的除去工法 ・当該室全体 ・図示の範囲 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 <6.3.2(1)> ※ <4.4.9>による () 表面仕上げの程度 <6.5.1(3)> 表面仕上げの種別 適用箇所 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 含水率 下地材 ※ A種 ・ B種 <6.5.2(1)><表6.5.3> 造作材 ※ A種 ・ B種 造作材の材面の品質 ※ A種 ・ B種 <6.5.2(2)><表6.5.4> 造作用集材材は<6.5.2(3)>による <6.5.2> 見付け材面 JASによる集材材 その他 等 級 ※ 1等 ・ 2等 ※ JAS集材材1等同等 単材の樹種 単材の厚さ(mm) 10~15 10~15 下地用合板 (12.2.1) ※ JASの構造用合板 特類 2等以上 C-D以上 () 薬剤の加圧注入による防菌・防蟻処理 <6.5.5> 適用部材() 保存処理性能区分 ・K2 ・K3 ・K4 薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等 を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防菌・防蟻処理を行う。 防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 ※K1 野線などの種類 <6.6.2><表6.6.1> 屋内 ※ 19型 ・ 25型(室名:)) 屋外 ・ 19型 ※ 25型 インサート <6.6.4(1)> ・既存インサートを使用する ・あと施工アンカーを設ける あと施工アンカーの確認試験 <6.6.4(1)> ・行う ※ 行わない 耐震性を考慮した補強 <6.6.4(10)> ※ 行わない ・ 行う(補強方法と補強箇所は図示による) 耐風圧性を考慮した補強(ピロティ、屋外軒天井等) <6.6.4(11)> ※ 行わない ・ 行う(補強方法と補強箇所は図示による)	18. 合成樹脂塗床 ⑱ フローリング 張り 20. 畳敷き ㉒ 石こうボード その他ボード 張り	① 防火材料 ② 錆止め 塗料塗り ③ 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) ④ 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP) ① 鉄筋の種類 ② 溶接金網 ③ 鉄筋の継手 ④ 柱の帯筋 ⑤ 圧接完了後の 抜取試験	<7.1.3> ※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示の あるものとする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。() <7.3.2~3><表7.2.2~3><表7.3.1~4> 下 地 種 別 下 地 調 整 塗 装 種 別 塗 料 種 別 鉄鋼面 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種(見え掛かり) ※A種 ※B種(見え隠れ) ※B種 塗替え ・RA種 ※RB種・RC種 ・A種・B種 ※C種 ※9節の場合) 垂鉛めつき ※A種・RB種 ※RC種 ※A種・B種・C種 ※A種・B種 鋼面 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種・B種 ※C種 ※C種 塗替え ・RA種 ※RB種・RC種 ・A種・B種 ※C種 ※9節の場合) <7.2.2~4><7.4.2~5><表7.2.1~3><表7.4.1~3> 下 地 種 別 下 地 調 整 塗 装 種 別 塗 料 種 別 木部 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種(外部) ※A種・B種・C種 ※1種 ※B種(内部) ・C種 ・2種 鉄鋼面 塗替え ・RA種 ※RB種・RC種 ・A種 ※B種・C種 垂鉛めつき 建具塗替 ・RA種 ※RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※1種 鋼面 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ・A種 ※B種・C種 ※2種 塗替え ・RA種 ※RB種・RC種 ・A種 ※B種・C種 <7.2.5~7><7.10.2><表7.2.4~7><表7.10.1> 下 地 種 別 下 地 調 整 塗 装 種 別 塗 料 種 別 コンクリート 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※1種 塗替え ・RA種 ※RB種・RC種 ・A種 ※B種・C種 ALCパネル 面 押出成形 セメント板面 モルタル面 新 規 ・RA種 ※RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※1種 プラスチック面 塗替え ・RA種 ※RB種・RC種 ・A種 ※B種・C種 石こうボード 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※1種 その他の 塗替え ※RA種(継目処理工法) ・A種 ※B種・C種 ボード等の面 ※RB種(その他)・RC種	8 1 耐震改修工事(鉄骨工事)	① 設計基準強度 ② レディー ミクスト コンクリート ③ 打直し 仕上げの種別 ④ セメントの 種類 ⑤ 骨 材 ⑥ 混和材料 ⑦ 軽量 コンクリート ⑧ 無筋 コンクリート ⑨ グラウト材 ⑩ 柱底等の 均しモルタル ⑪ 型 枠 ⑫ コンクリートの 打込み工法 ⑬ 既存部分の 撤去	指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を <8.1.5> 受けた下記のグレード以上の工場 ・S ・H ・M ・R ・J ・本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾 する工場 鋼材の種類 <8.2.8><表8.2.7> 材 質 規 格 ・SS400 ◎SSC400 ・STK400 ・STKR400 JIS表示認証製品 ・SN400B、C ・SN490B、C ・SM400 ・SM490 高力ボルト <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※建築基準法に基づき認定を受けたもの ・JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F8T相当) 溶接部の試験 ※超音波探傷試験 <8.15.12> ⑥ 錆び止め塗装 <8.17.4> <7.3.2~3>による。 <8.18.2~8> 種類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) ・耐火材吹き付け ・乾式 吹付けロックウール ・半乾式 吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・耐火板張り ・繊維混入 けい酸カルシウム板 ・耐火材巻付け ・高断熱ロックウール ・ラス張り モルタル塗り ・耐火塗料	

7	アンカーボルト	(7.2.4)	
	種別	適用箇所	
8	既存部分の撤去	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示	(8.22.2)
	1. 工法	溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 溶接金網の巻き手 ※ 重ね巻き手 コンクリート及び構造躯体用のモルタルの打設 圧入工法 流し込み工法 鋼板巻き工法 帯板巻き付け工法	(8.23.5) (8.23.6) (8.23.6)
2	既存部分の撤去	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示	(8.23.2)
	1. スリットの種類	完全スリット 部分スリット	(8.25.1)
2	スリットの充填材	耐火材の使用 適用箇所 ※ 図示 遮音材の使用 適用箇所 ※ 図示	(8.25.2)
	1. 連続繊維シート	下地処理 ひび割れ部改修 範囲 ※ 図示による () 種類 連続繊維補強材の強度試験 引張強度試験 ※JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による 試験数量 ※ 図示による () 附着強度試験 ※JIS A 6909 (建築用仕上塗材)による 試験数量 ※ 図示による ()	(8.2.13)(8.24.6)
1	埋戻し及び盛土	埋戻し及び盛土 A種 適用場所 () B種 適用場所 () C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () D種 適用場所 ()	(8.28.3)
	2. 建設発生土の処理	構外に搬出し適切に処理する。 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・住所 (km) 構内指示の場所に敷きならす。 構内指示の場所にたい積する。	
3	山留めの撤去	鋼矢板等の抜き後の処理 ※直ちに砂で充填する 山留めの存置 行う (存置範囲 ※ 図示 ())	(8.28.3)
	4. 砂利地業	材料 ※再生クラッシュラン 切込み砂利又は切込み砕石 厚さ及び適用範囲 厚さ 適用箇所 ※60 基礎スラブ下 基礎梁下 土間コンクリート下 土に接するスラブ下	(8.2.15)(8.28.4)
5	捨コンクリート地業	厚さ及び適用範囲 厚さ 適用箇所 ※50 基礎スラブ下 基礎梁下 土間コンクリート下 土に接するスラブ下	(8.2.15)(8.28.4)
	6. 床下防湿層	材料 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 施工範囲 図示 ()	(4.6.2) (4.6.5)
1	石綿含有建材の除去工事	施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲 () ※ 図示 () 貸与資料 () 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クロナイト、クロシドライト、トレモライト 分析方法 定性分析方法 JIS A 1481 または JIS A 1481-2 定量分析方法 JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4 材料名 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示	(9.1.1、3~5)

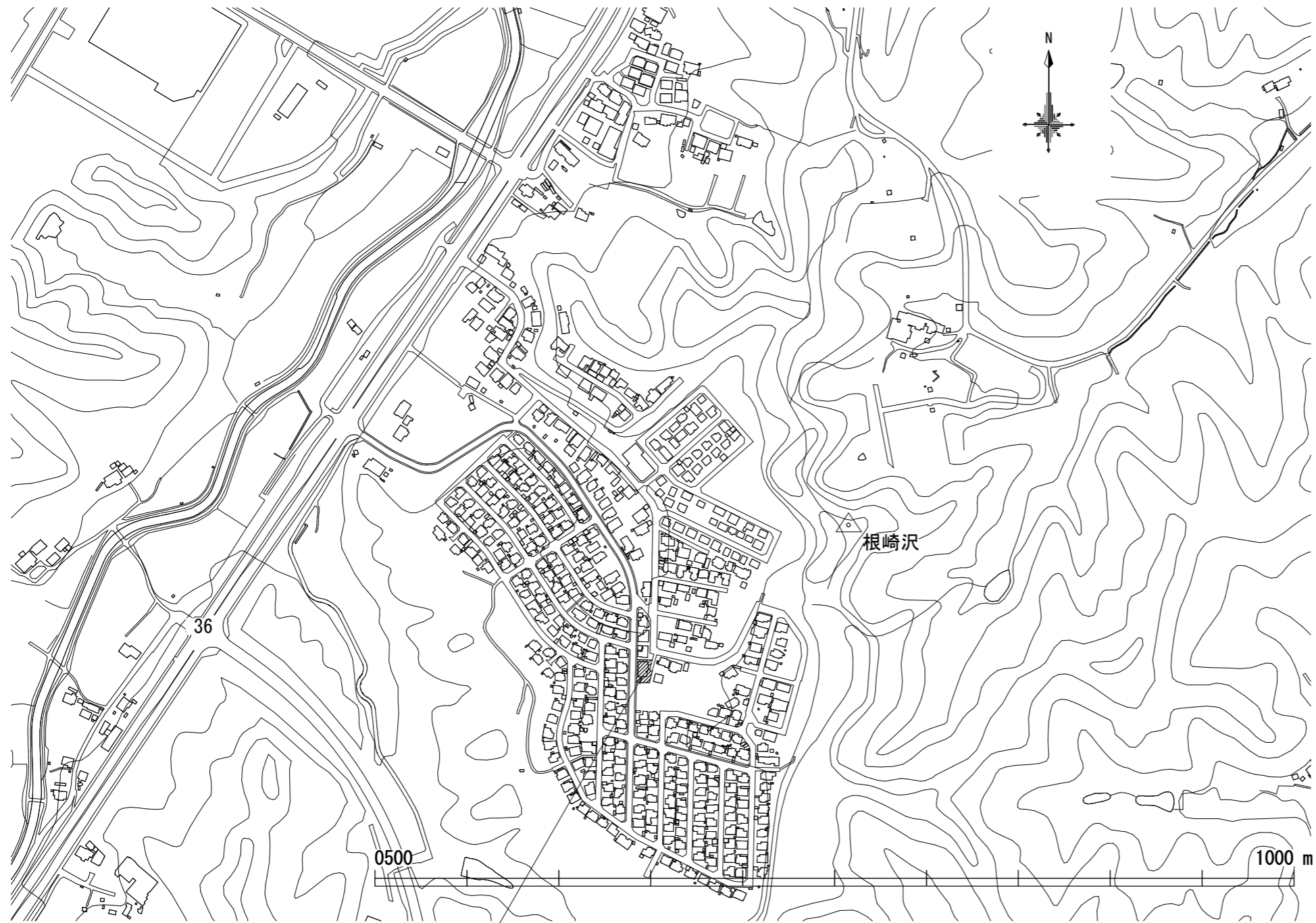
石綿粉じん濃度測定 (9.1.1)			
測定点 測定時期、場所及び			
適用	測定名称	測定時期	測定場所
測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点
測定2	処理作業前	調査対象室外部の付近	計 点
測定3	処理作業前	処理作業室内	計 点
測定4	処理作業前	セキュリティゾーン入口	計 点
測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置
測定6	処理作業中	処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	計 点 (各施工箇所ごと)
測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点
測定8	処理作業後シート	処理作業室内	計 点
測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点
測定方法 自動測定器による測定			
測定名称			
測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定		
測定5	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定		
JIS K 3850-1に基づいた測定			
測定名称	メンブレン フィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
測定4	25	5	30
測定5	47	10	120
測定	47	10	240
測定			
石綿含有建材の処理			
石綿含有吹き付け材の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 9.1.3(2)(7)による 除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ※ 固化 除去した石綿含有吹き付け材等の処分 埋立処分 (管理型最終処分場) 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)			
石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 破碎して除去 ※ 手ばらし 除去した石綿含有保温剤等の飛散防止 ※湿潤化 ※ 固化 除去した石綿含有保温材等の処分 埋立処分 (管理型最終処分場) 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)			
石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去した石綿含有成形板の処分 石綿含有せつこうボード ※埋立処分 (管理型最終処分場) 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板 埋立処分 (安定型最終処分場) 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)			
石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示			

上記以外に用いる断熱材			
種類	箇所	厚さ (mm)	備考
JIS A 発泡プラスチック保温材	A種ビーズ法 ※ A種押出法 下記以外 2種 b ※ A種押出法 接地板及び屋根防水部分 3種 b (スキム層あり)	※ 25	JIS表示認証製品
グラスウール保温材	※ 24K品	※ 100	JIS表示認証製品
※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 防湿層ポリエチレンフィルム (t0.15) 張り (重ね100)			
1. コンクリートブロック構壁及び塀	ブロックの種類 ※ 空洞ブロック C(16)	(8.3.2) (表 8.3.1)	
1. 再生材	※ 使用する 使用しない	(22.1.3)	
2. 盛土材料	路床の盛土材料 A種 B種 C種 D種	(22.2.3)	
3. フィルター層	フィルター層 ※ 砂 凍上抑制層 ※ 再生クラッシュラン	(22.2.2) (22.2.3)	
4. 路床安定処理	路床安定処理添加材料 ※ 普通ポルトランドセメント 高炉セメント B種 フライアッシュセメント B種 生石灰 (特号 1号) 消石灰 (特号 1号)	(22.2.2) (22.2.3) (表 22.2.1)	
5. 砂の粒度試験	※ 行わない 行う	(22.2.3)	
6. 路床土の支持力比 (CBR) 試験	※ 行わない 行う (※ 乱した土 乱さない土)	(22.2.5)	
7. 路床の締固め度の試験	※ 行わない ※ 行う (箇所: 埋戻し及び盛土部)	(22.2.5)	
8. 路盤材料	※ 再生クラッシュラン RC-40 (透水性舗装の場合を除く) クラッシュラン C-40 クラッシュランスラグ CS-40	(22.3.3) (表 22.3.1)	
9. 路盤の締固め度の試験	※ 行う	(22.3.5)	
10. アスファルト舗装	加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.2) (22.4.4) (表 22.4.4)		
表層	※ 再生密粒度アスファルト混合物 (13) 密粒度アスファルト混合物 (13) 細粒度アスファルト混合物 (13)	舗装の厚さは 図示による	
基層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物 (20) 粗粒度アスファルト混合物 (20)		
舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする			
アスファルト混合物等の抽出試験 ※ 行わない 行う (22.4.6)			
11. コンクリート舗装	早強ポルトランドセメント 使用する ※ 使用しない 溶接金網 ※ あり なし	(22.5.3)	
12. カラー舗装		(22.6.2)	
種類 部位 厚さ (mm)			
加熱系	※ アスファルト混合物 車道部 歩道部 石油樹脂系混合物 車道部 歩道部	図示による	
常温系	ニート工法 車道部 歩道部 塗布工法 車道部 歩道部	3~5 1程度以下	
着色骨材・自然石 () (22.6.3)			
構成 ※ 図示 (22.7.2) (22.7.6)			
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ※ 行わない 行う			
舗装の平坦性は著しい不陸がないものとする			
14. ブロック系舗装	インターロッキングブロック舗装 (22.8.2) (22.8.4) (表 22.8.1) ※ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 モルタル目地 舗石舗装基層 ※ コンクリート版 アスファルト混合物		
15. 砂利敷き	※ A種 (通路) ※ B種 (建物周囲その他)	(22.9.2)	
16. 区画線	※ JIS K 5665 3種 1号		
1. フリーアクセスフロア		(20.2.2)	
施工場所	工法	仕上り高 (mm)	適用地震時水平力 (Ks)
	溝工法 (置敷工法)		※ 0.6G
	支柱一体型パネル工法 (置敷工法)		※ 3,000 (N) ※ 5,000
	支柱分離型パネル工法 (支柱調整式工法)		※ 帯電防止床タイル

2. 可動間仕切 (パーテーション)	構造形式による種類 スタッド式 (内蔵) 構成基材 アルミニウム合金系 スチール系 パネル表面材 焼付塗装鋼板 (標準色) t=0.5以上 遮音性 3.6dB/500Hz以上 防火性能 不燃	(20.2.3)
3. 移動間仕切 (スライディングドア)	パネルの操作方法による種類 規定しない 製造所仕様の化粧鋼板 (標準色) t=0.5以上 パネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はプッシュ式 遮音性 3.6dB/500Hz以上 防火性能 不燃 取り付け用あと施工アンカー 材質、寸法等は図示又は製造所の仕様による	(20.2.4)
4. トイレブース	表面材メラミン樹脂系化粧板 (標準色) 幅木 ステンレス製 H=60 フレーム アルミ製 扉 厚40中心吊りアール形アルミ製エッジ、帽子掛け戸当たり付き	(20.2.5)
5. 階段滑り止め (ノンスリップ)	材種 ステンレス (SUS304) ビニールタイヤ入り (幅約35mm) ※ 接着工法 埋込み工法	(20.2.6)
6. 床目地棒	ステンレスFB (SUS304) t5~6×H12 (床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。)	(20.2.7)
7. 鏡	耐湿鏡 t=5 ステンレスフレーム付き	(20.2.9)
8. 表示	衝突防止表示 H/L仕上げ Φ30程度 市販品 ステンレス製 誘導標識 市販品 室名札 アクリル板	(20.2.10)
9. 点検口		
10. 視覚障害者用誘導ブロック	屋外 ※ コンクリート製 磁器質タイル (※ 100角 150角)	
13. 総揮発性有機化合物 (TVOC) 測定仕様書	1. 一般事項 2. 測定対象化学物質 3. 測定方法	試験採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。 測定対象化学物質は、下記 4. 1), 2) の区分に従い、表の①から⑭の 14 物質及び TVOC 又は表の①から⑨の 9 物質及び TVOC とする。 1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値を TVOC 濃度とする。 2) トルエン換算で 2.0 μg/m ³ 未満のピークは測定の対象としない。 3) 上位 10 ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。
4. 測定する室	表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値	
5. 測定結果等報告書の提出	化学物質名 室内濃度指針値	
6. その他	①ホルムアルデヒド 100 μg/m ³ 0.08 ppm ②トルエン 260 μg/m ³ 0.07 ppm ③キシレン 200 μg/m ³ 0.05 ppm ④エチルベンゼン 3,800 μg/m ³ 0.88 ppm ⑤スチレン 220 μg/m ³ 0.05 ppm ⑥パラジクロロベンゼン 240 μg/m ³ 0.04 ppm ⑦テトラデカン 330 μg/m ³ 0.04 ppm ⑧アセトアルデヒド 48 μg/m ³ 0.03 ppm ⑨ノナナール (暫定) 41 μg/m ³ 0.007 ppm ⑩フタル酸ジ-n-ブチル 17 μg/m ³ 0.0015 ppm ⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル 100 μg/m ³ 0.0063 ppm ⑫クロルピリホス 1 μg/m ³ 0.00007 ppm ⑬ダイアジノン 0.29 μg/m ³ 0.00002 ppm ⑭フェノフルアルブ 33 μg/m ³ 0.0038 ppm ⑮総揮発性有機化合物 (TVOC) 400 μg/m ³ (暫定目標値)	1) 14 物質及び TVOC 濃度を測定する室等 ・ 室名: 2) 9 物質及び TVOC 濃度を測定する室 ・ 室名: ・ 屋外 (周囲の建物から離れた場所 1 か所)
次の事項を記載した報告書を 2 部提出する。 1) 測定結果 (アセトアルデヒドについては、試験採取時の気温が 20°C に満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で 20°C 湿度 50% に、ホルムアルデヒドについては 25°C 湿度 50% に補正した濃度を報告すること。) 2) 試験採取時の状況 (気温・湿度 (屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試験採取までの日数) 3) 試験採取方法、測定方法、使用した測定機器 4) TVOC 濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し		
表の化学物質①から⑮のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。 TVOC の測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。		

各工事の区分表										
工 事 項 目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構	備 考			
構造躯体の貫通スリーブ及び箱入れ	○	○	○	○	○		各工事に必要なスリーブは各々の工事とする（予備は建築工事）			
同上貫通の開口補強	○									
同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修	○	○	○	○	○					
工場製作間仕切及び同左の天井、床、各種設備器具の穴開け、取付枠及び補強										
天井付各種設備器具の穴開け、取付枠及び補強・補修	※	○	○	○			※下地補強のみ建築			
設備関係諸室のシンダーコンクリート	○									
屋上、屋外及び屋内設置機器及び水槽類の基礎	○									
同上 仕上（防水）	○									
同上 用架台及びアンカーボルト箱入れ、埋込み		○	○	○						
自動ドア・防火扉（シャッター含む）	○	※					※煙感からの信号、1次配線			
台所用レンジフードファン及び浴室天井扇及び取付調整			○				ユニットバス除く			
同上ダクト接続				○						
同上電源用配管、配線及び接続		○								
ユニットバス（ユニットバス含む以下同じ）墨出し及び据付工事	○									
浴槽及び据付	○						浴槽パン共建築工事			
ユニットバス内シャワー水栓及び取付	○									
同上廻りシーリング打ち	○									
同上への配線及び配管接続		○	○				※1次側のみ			
キッチンキャビネット及び据付工事	○									
同上への配管接続			○							
吊戸棚、水切棚及び取付（バックガード共）	○									
同上への照明用電源配線及び接続		○								
洗面台及び据付			○							
洗面台カウンター表面板仕上げ（製作物のみ）	○									
同上配管接続			○							
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続		○								
洗濯パン			○							
設備機器用スリーブ、給気用スリーブ及び取付			○	○						
ダクト用ベントキャップ及び取付				○						
床、壁、天井点検口（下地補強共）	○						設備盤用扉は各設備工事			
換気扇及び取付枠への取付、配線		※		○			※配線は電気			
換気扇取付枠及び躯体への取付				○						
床暖房工事	※1	※2	※2				※1仕上げは建築 ※2電気又は空調は電気式・温水式区分による			
非常用照明及び誘導灯		○								
消火器			○							
同上表示及び収納箱	○									
各種配管、ダクトの雨掛り躯体貫通部のシーリング打ち		○	○	○						
エレベーター各階出入口躯体穴開け・吊りフック	○									
エレベーター出入口三方枠・扉上部幕板					○					
三方枠廻りのノロ詰め					○					
エレベーター機械室床、穴開け復旧工事	○									
資材搬入口の仮設並びに復旧工事	○									
機器類取付後の出入口廻り（壁・床・枠等）仕上工事	○									
竪樋・ドレン・受け樋	○									
竪樋から第一樹までの接続	○									
同上第一樹以降の排水設備（樹・側溝等）						○				
マンホール、ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ	※1	○	○				※1タラップは建築工事（躯体に設置する場合）			
TVアンテナ、アンカーボルト取付工事		○								
屋上点検口、各種タラップ工事	○	※	※	※			※図面特記により電気、衛生又は空調			
ゴミ集積所工事（屋外）		※				○	※照明器具の設置及び配線			
自転車置場（屋外）						○				
同上照明器具及び接続		○								
プロパンボンベ庫	○	※	※							
同上配管工事			○							
便所の目皿・手摺り	○						便器一体の手摺り除く			
便所のペーパーホルダー			○							
手洗い乾燥機			○							
浄化槽・受水槽・オイルタンク躯体	※	○					※特殊基礎は建築工事			
屋外駐車場、歩道工事						○				
雨水排水側溝設置工事						○				
同上排水管接続			○							

工 事 項 目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構	別途	備 考
1 仮設用の上下水道・ガス・電気等の加入金	○	○	○	○	○	○		
2 仮設用の上下水道・ガス・電気等に要する費	○	○	○	○	○	○		
3 1, 2以外の工事及び調整等に要する上下水 電気等に要する費用	○	○	○	○	○	○		
4 上下水道・ガス・電気等の加入金、負担金							○	

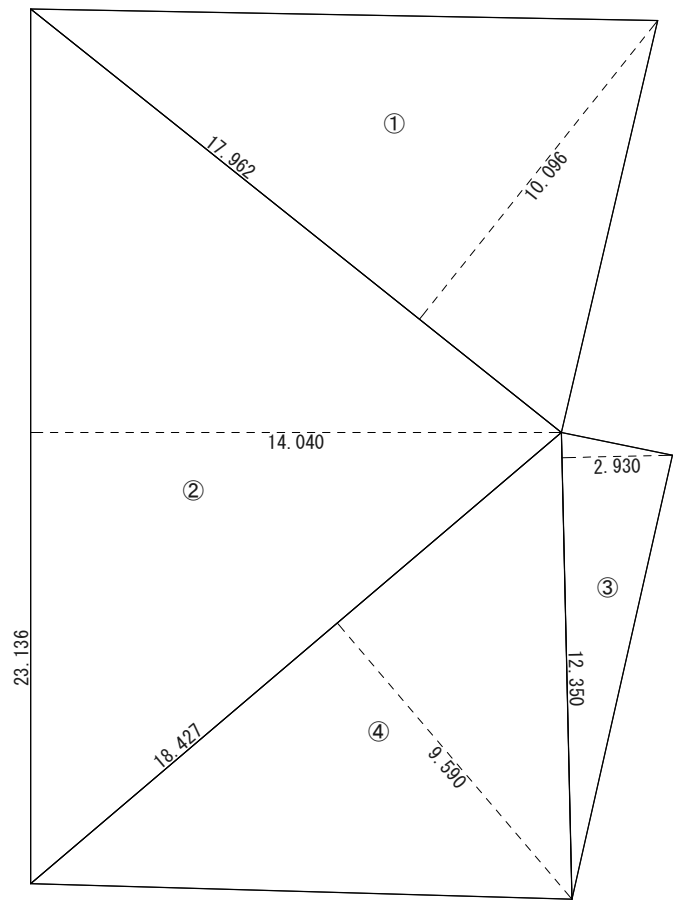


申請地：富谷市とちの木一丁目14-8

計画概要

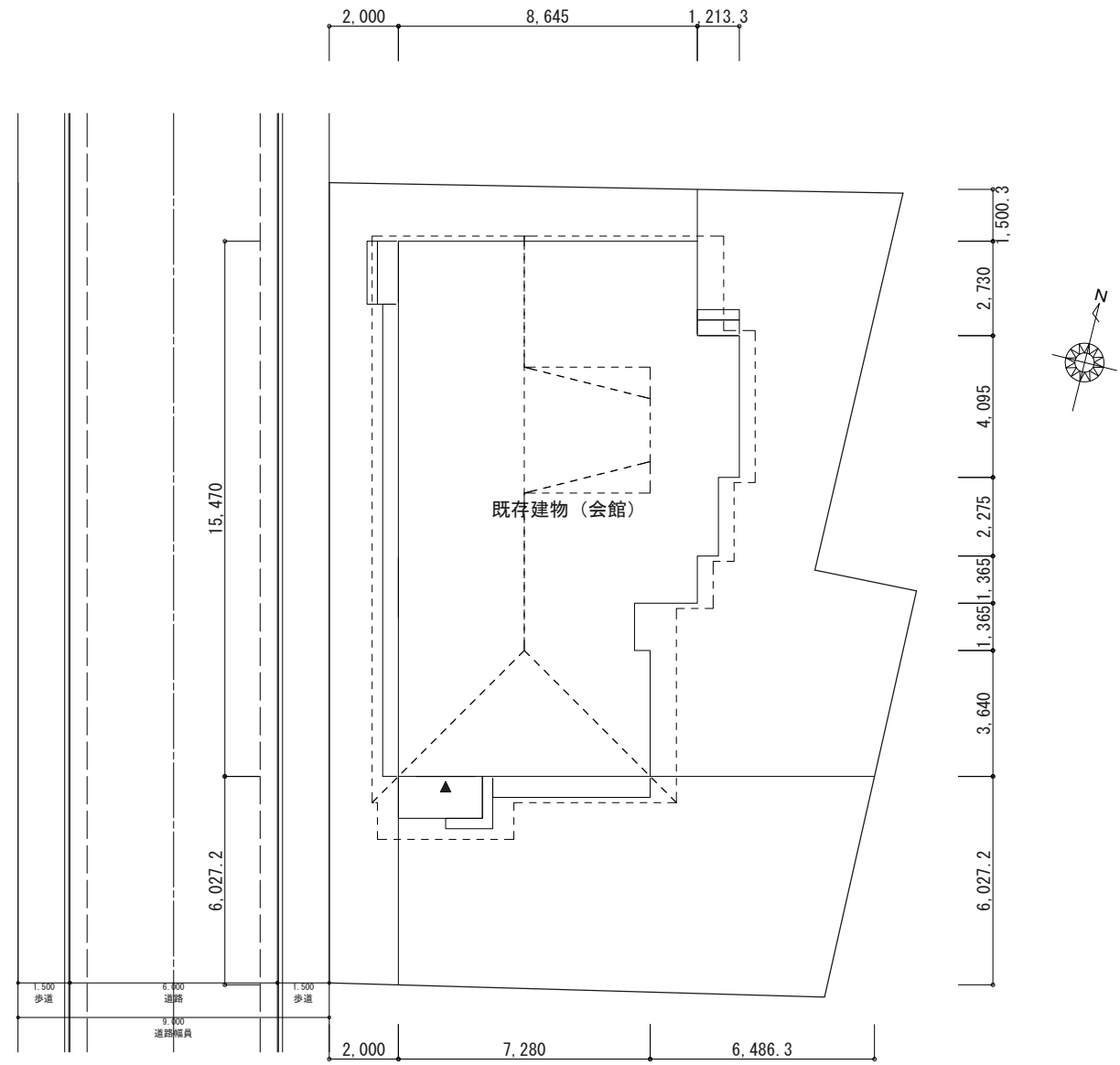
工事名称	令和3年度 とちの木会館改修工事		
建築主	住所	富谷市富谷坂松田30番地	
	氏名	富谷市 代表 市長 若生 裕俊	
敷地概要	地名地番	富谷市とちの木一丁目14-8	
	住居表示	富谷市とちの木一丁目14-8	
	敷地面積	359.53㎡	
	都市計画区域	市街化区域	
	用途地域	第一種低層住居専用地域	
	防火地域	指定なし、法22条区域	
	指定建蔽率	50%	
	指定容積率	60%	
	高さ制限	10m	
	高度地区	指定なし	
	日影規制	指定なし	
	外壁の後退	1.0m	
	風致地区	指定なし	
	その他の指定	指定なし	
道路	前面道路 9.0m、接道長さ 23.136m		
建築概要	構造	木造在来軸組工法	
	階数	平屋建て	
	最高高さ	5.64m	
	軒高さ	3.65m	
	建築面積	増築14.20㎡+(既存133.99㎡)=148.19㎡	
	床面積	1階床面積	増築9.93㎡+(既存132.63㎡)=142.56㎡
	容積対象床面積	増築9.93㎡、(既存132.63㎡)=142.56㎡	
	建蔽率	41.22%	
	容積率	39.65%	

工事名	令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者		図面名	付近見取り図、計画概要	図面No.	A-7
備考			宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	日付		日付		日付		縮尺		



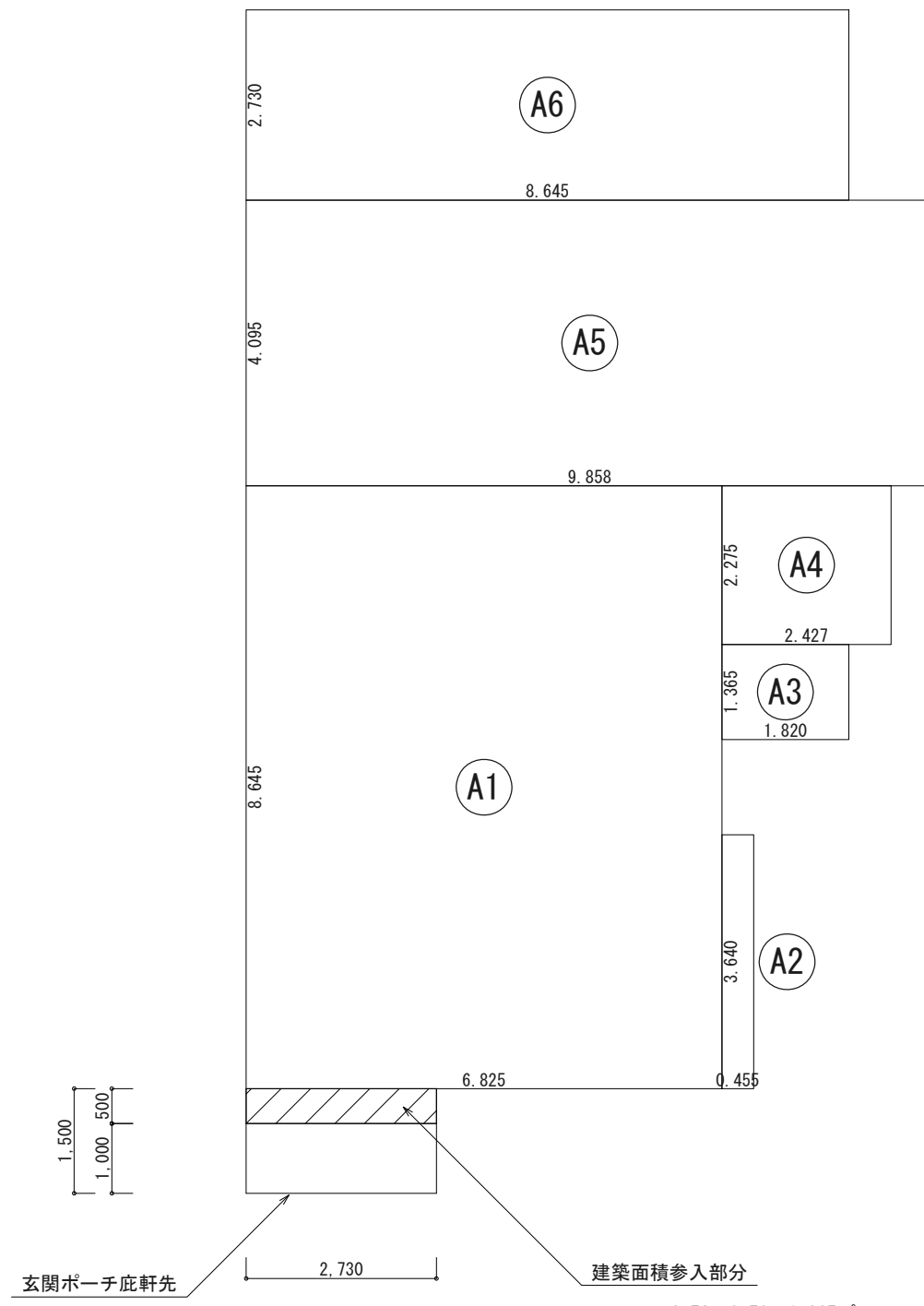
敷地求積図 S:1/200

敷地面積			
	底辺 (m)	高さ (m)	倍面積 (㎡)
①	17.962	10.096	181.3443
②	23.136	14.040	324.8294
③	12.350	2.930	36.1855
④	18.427	9.590	176.7149
倍面積 計			719.0741
敷地面積 (㎡)			359.53



配置図 S:1/200

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 敷地求積図、既存配置図	図面No. A-8
		日付	日付	日付	縮尺 1/200	
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555					



床面積表<1階>			
形状	計算式	面積	
Ⓐ1	矩形 6.825×8.645	59.002125	
Ⓐ2	矩形 0.455×3.640	1.656200	
Ⓐ3	矩形 1.820×1.365	2.484300	
Ⓐ4	矩形 2.427×2.275	5.521425	
Ⓐ5	矩形 9.858×4.095	40.368510	
Ⓐ6	矩形 8.645×2.730	23.600850	
面積	計(m ²)	132.6333	
		132.63	

1階 床面積求積図 S:1/100

$2.73 \times 0.50 = 1.365 \text{ m}^2$

建築面積 = $132.6333 + 1.365 = 133.9983 = 133.99 \text{ m}^2$

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 既存建物 面積表	図面No. A-9
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	日付	日付	日付	縮尺 1/100	

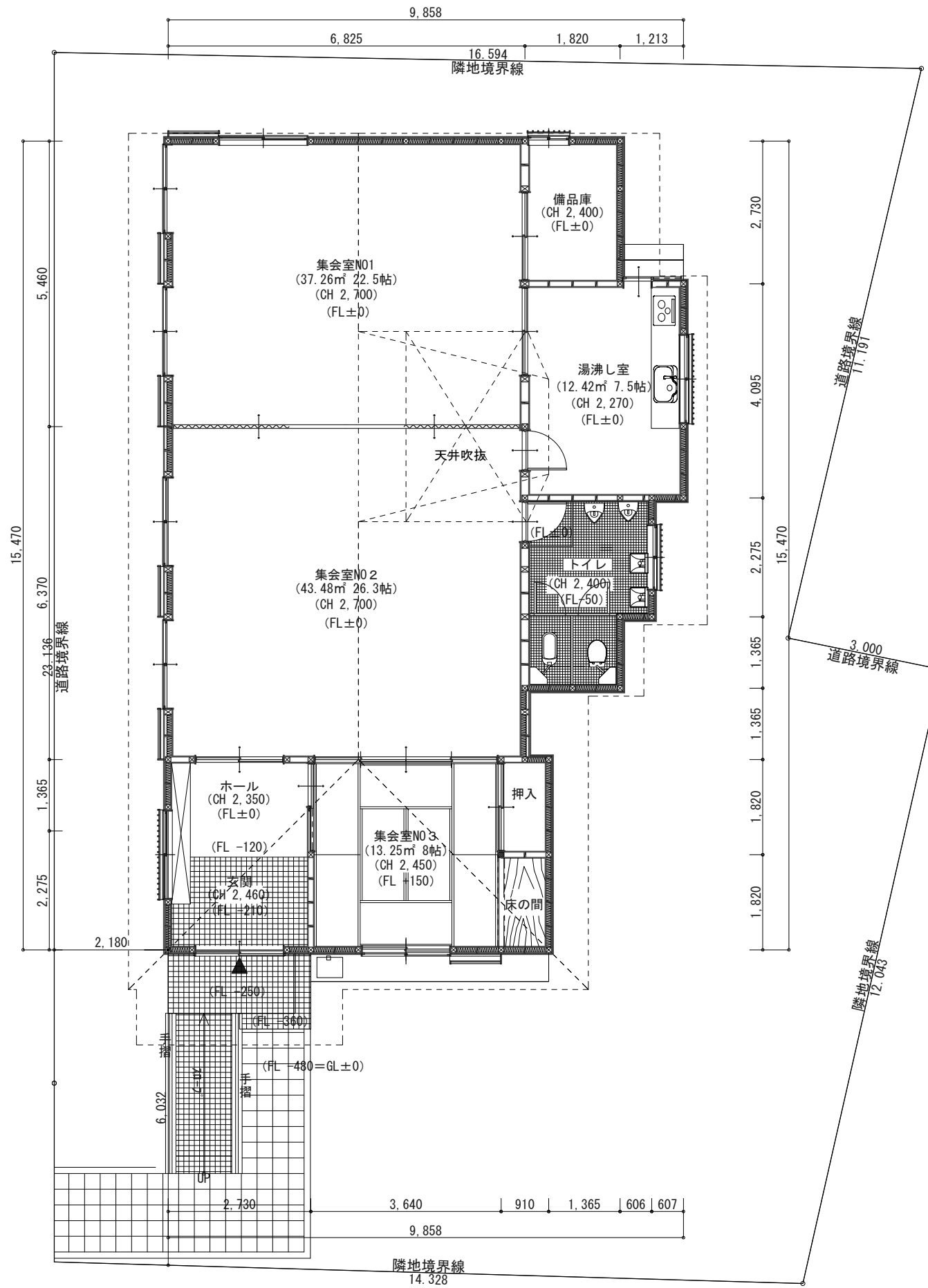
外 部 仕 上 表	屋根	長尺カー鉄板 70.35 瓦棒き ルーフィング 22kg 野地板ア12	
	鼻隠し・破風	ペンチルーボード ア12 アクリル系吹付タイル	
	軒裏	アスベスト板ア4 不燃1001 アクリル系吹付タイル 小屋裏換気口：左記 有孔板	
	外壁	防火サイディング ア12 防火125 下地：フェルト22kg	
	外部建具	カラーアルミサッシ： 雨戸一体サッシ ブロンズ色	
	雨樋	軒樋：塩ビ丸樋	
	犬走り	コンクリート金鍍仕上げ	
	玄関ポーチ	磁器質150角タイル	
	基礎	鉄筋コンクリート 布基礎	
	足洗い場	モルタル金鍍仕上げ、鋼製グレーチング	
	スロープ	コンクリート刷毛引き仕上げ 手摺	
	その他	木製看板	

断熱材その他

(断熱材)
 ・木床組部分：グラスウール t=50
 ・外気に接する壁：グラスウール t=100
 ・外気に接する天井：グラスウール t=100
 土台・軸組外壁面のGL+1000迄は防腐・防蟻処理

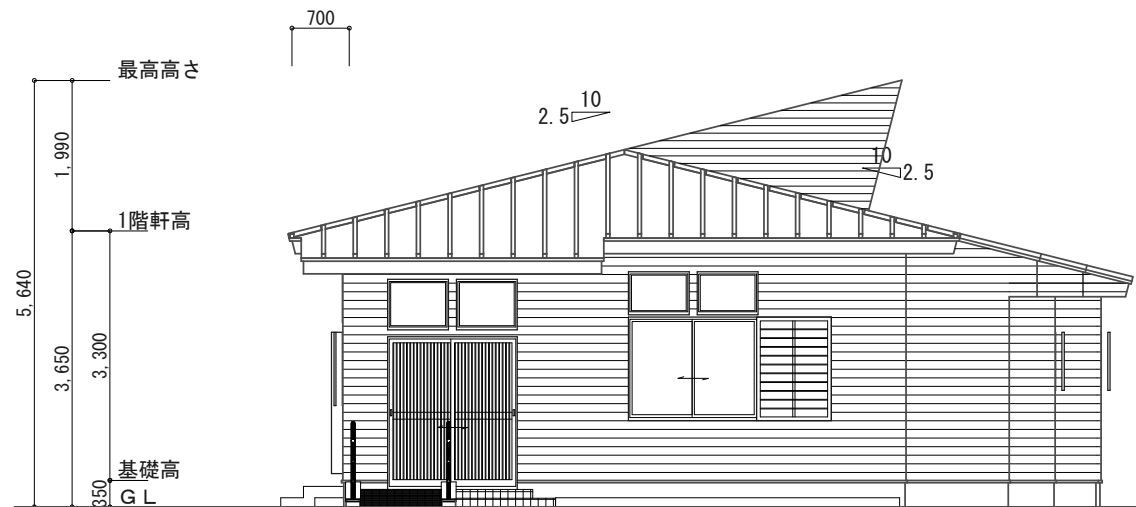
室名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
玄関	ポーチ：磁器質150角タイル	木製框、式台、付け框	石膏ボード 712 ビニルクロス	ミネラートン ア12	2,460	
玄関ホール	フローリング合板 ア12	木製OP H70	石膏ボード 712 ビニルクロス	ミネラートン ア12	2,350	造り付け下駄箱、メガホン・消火器
集会室	フローリング合板 ア12	木製OP H70	石膏ボード 712 ビニルクロス	ミネラートン ア12	2,700	カーテンボックス・ブラインド、換気扇2カ所、消火器2台
備品庫	フローリング合板 ア12	木製OP H70	石膏ボード 712 ビニルクロス	ジプトーン ア9	2,400	中棚
湯沸室	長尺塩ビ床材ア2.3 下地：合板ア15	ソフト巾木 H70	石膏ボード 712 ビニルクロス 準不燃0003 一部ステンレス貼(下地：スレート板ア6×2)	ジプトーン ア9 準不燃2005	2,270	流しセット、吊戸棚、LPGガスコンロ
和室	畳敷ア55 下地：荒床板ア15	畳寄せ	石膏ボード 712 ビニルクロス	貼合せ合板 W-455	2,450	
押入	ア5.5 T1ベニヤ	押縁	石膏ボード 79	石膏ボード 79		
床の間	合板地板、床框、落し掛、床柱	雑巾摺	石膏ボード 712 ビニルクロス	貼合せ合板 W-455		
男・女洗面トイレ	8分タイル 下地 土間コンクリート t=90		壁：石膏ボードア12にOP塗装仕上 腰壁：タイル貼り100角 合板ア12下地	ジプトーン ア9	2,350	各便器、各洗面化粧台、換気扇 ペーパーホルダー、スクリーン間仕切(合板フラッシュ戸)H=1.8m

工事名	令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 既存建物 仕上表	図面No. A-10
備考	-----	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	日付	日付	日付	縮尺	

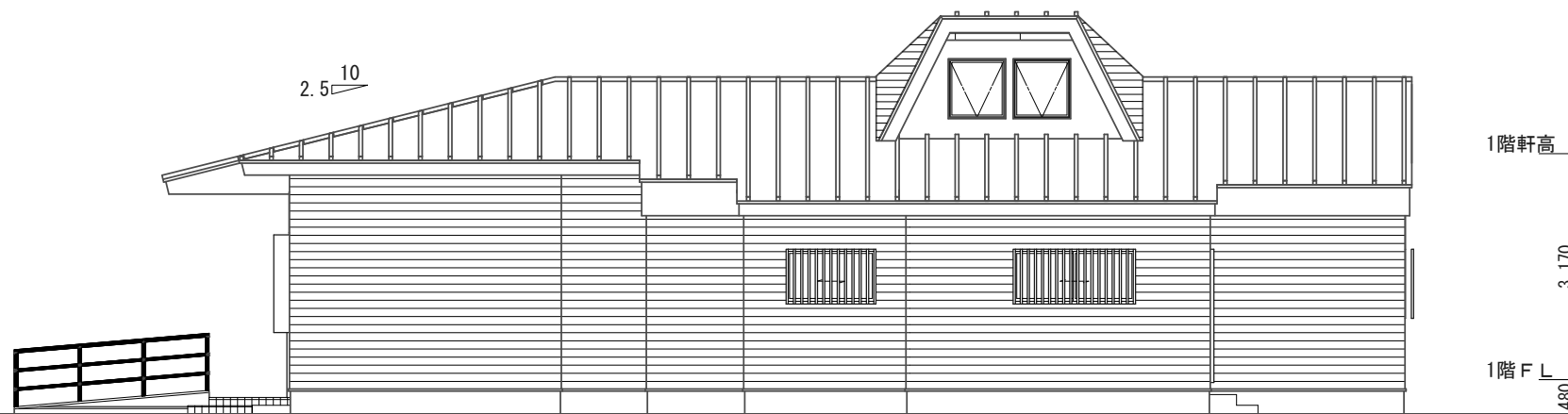


既存平面詳細図 S:1/100

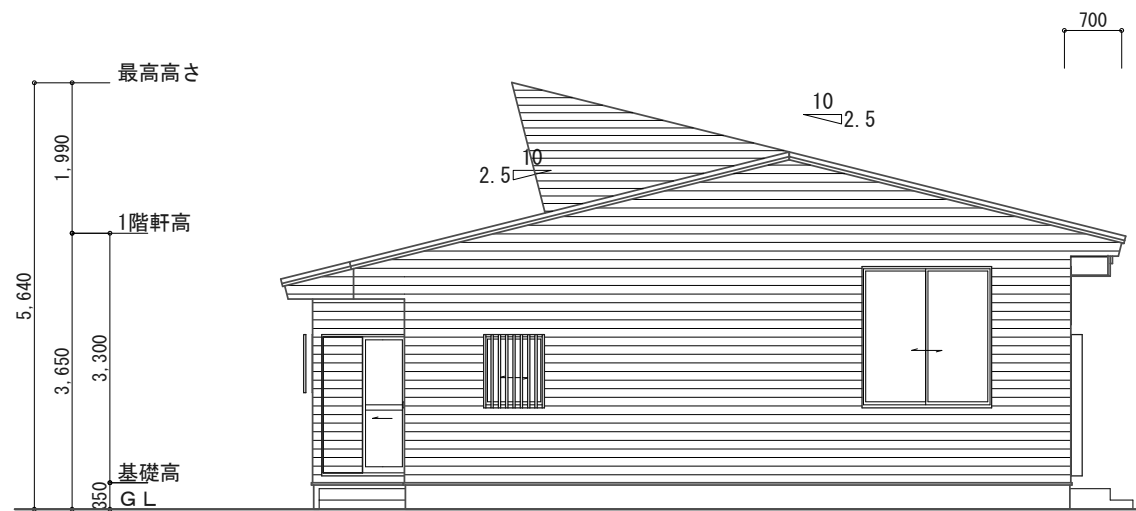
<p>工事名 令和3年度とちの木会館改修工事</p>	<p>株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号</p>	<p>管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号</p>	<p>設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号</p>	<p>担当者</p>	<p>図面名 既存建物 平面図</p>	<p>図面No. A-11-2</p>
<p>備考</p>	<p>宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555</p>	<p>日付</p>	<p>日付</p>	<p>日付</p>	<p>縮尺 1/100</p>	



南側 立面図 S:1/100



東側 立面図 S:1/100

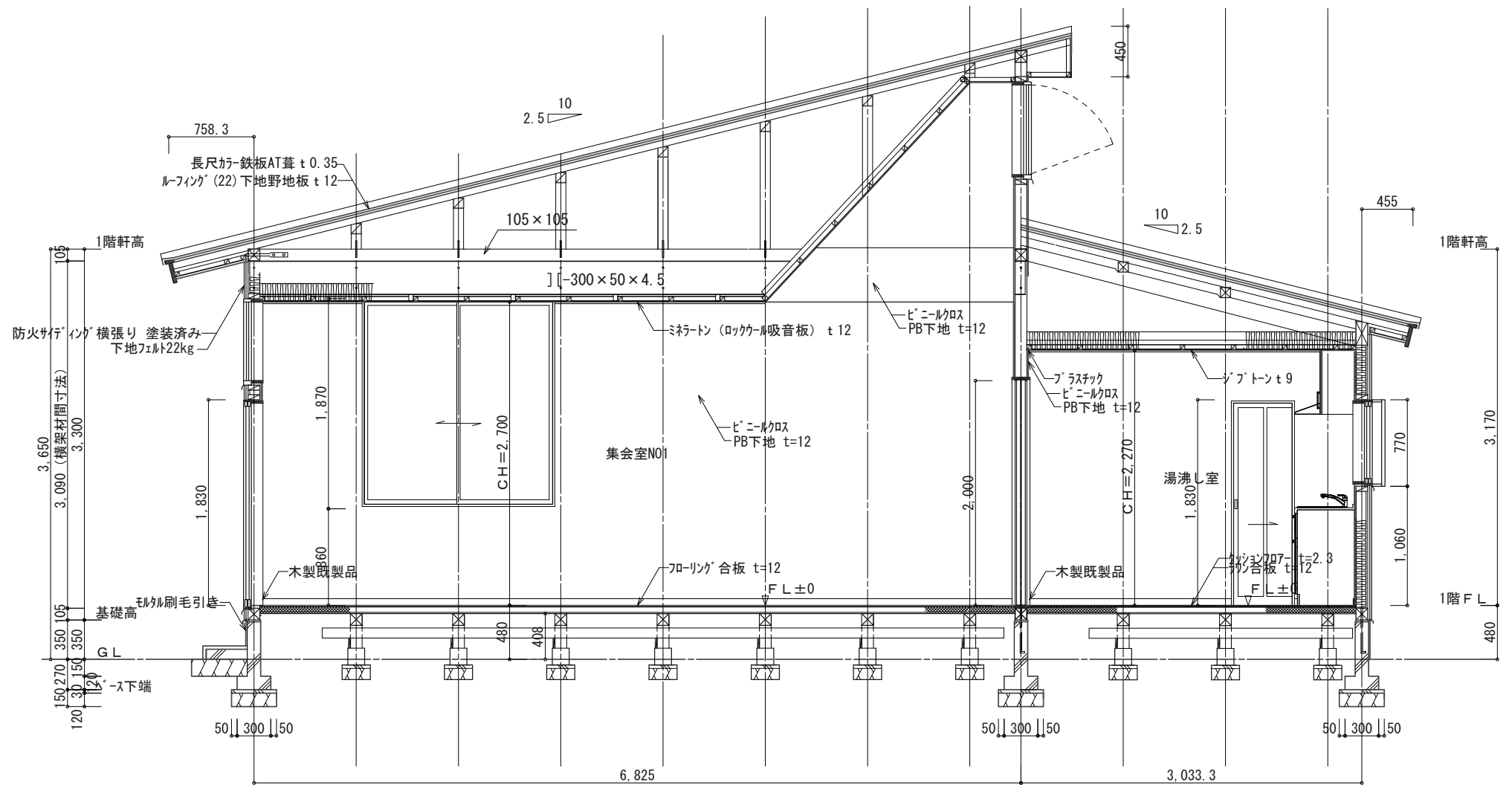


北側 立面図 S:1/100



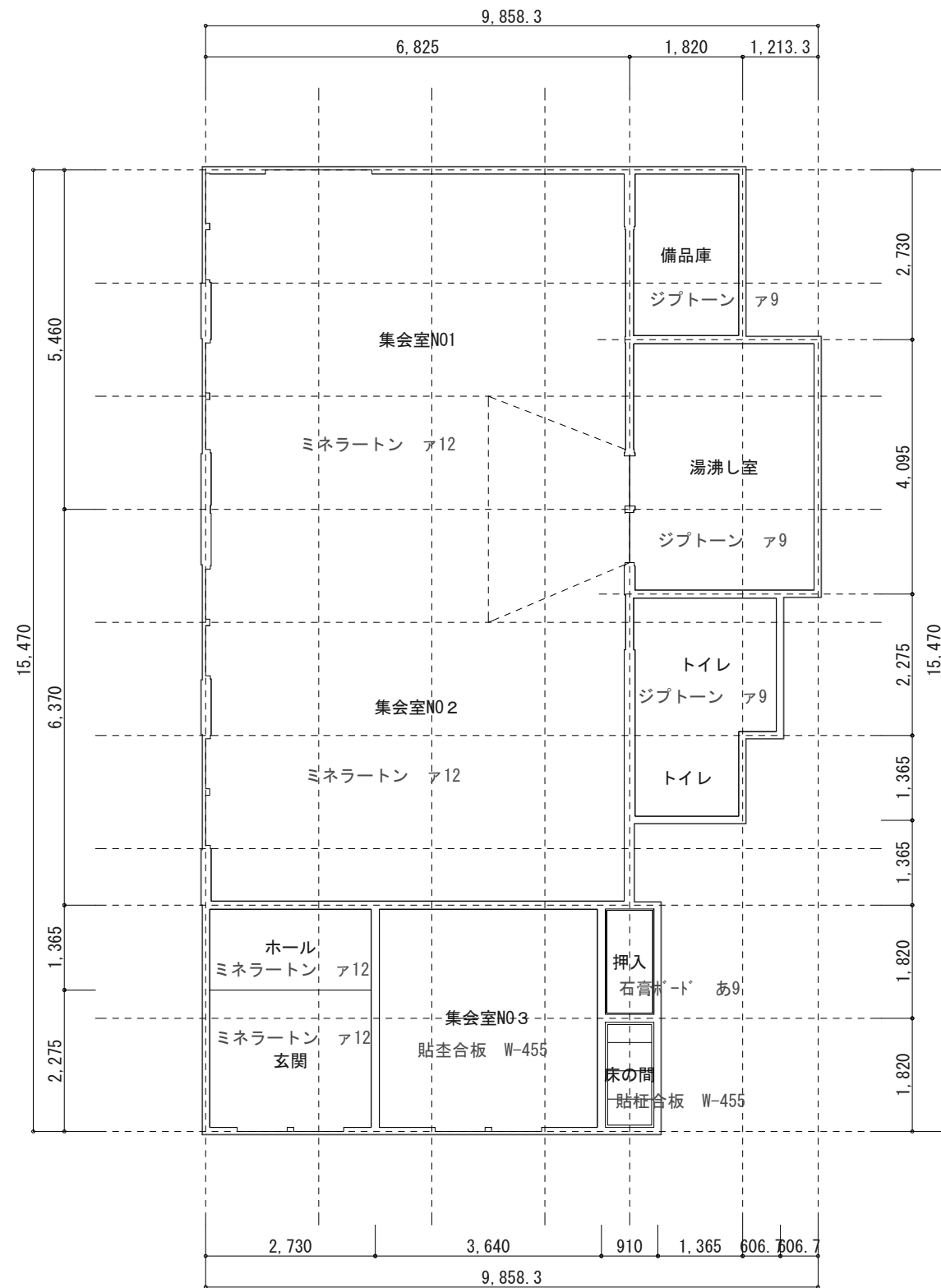
西側 立面図 S:1/100

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	管理者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	設計者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	担当者 	図面名 既存建物 立面図	図面No. A-12
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555</small>	日付	日付	日付	縮尺 1/100	

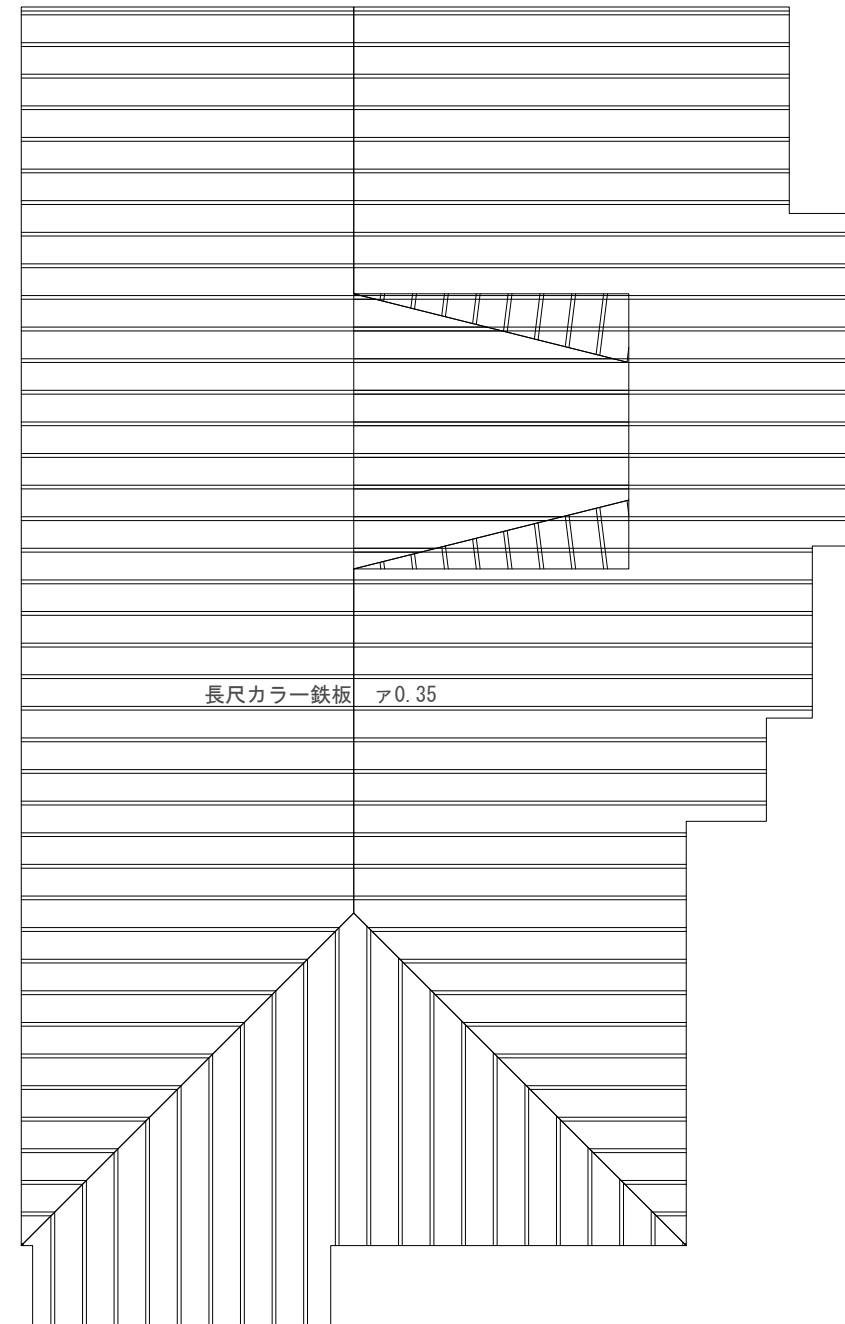


1面 矩計図 S:1/50

<p>工事名 令和3年度とちの木会館改修工事</p>	<p>株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号</p>	<p>管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号</p>	<p>設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号</p>	<p>担当者</p>	<p>図面名 既存建物 矩形図</p>	<p>図面No. A-13</p>
<p>備考</p>	<p>宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555</p>	<p>日付</p>	<p>日付</p>	<p>日付</p>	<p>縮尺 1/50</p>	

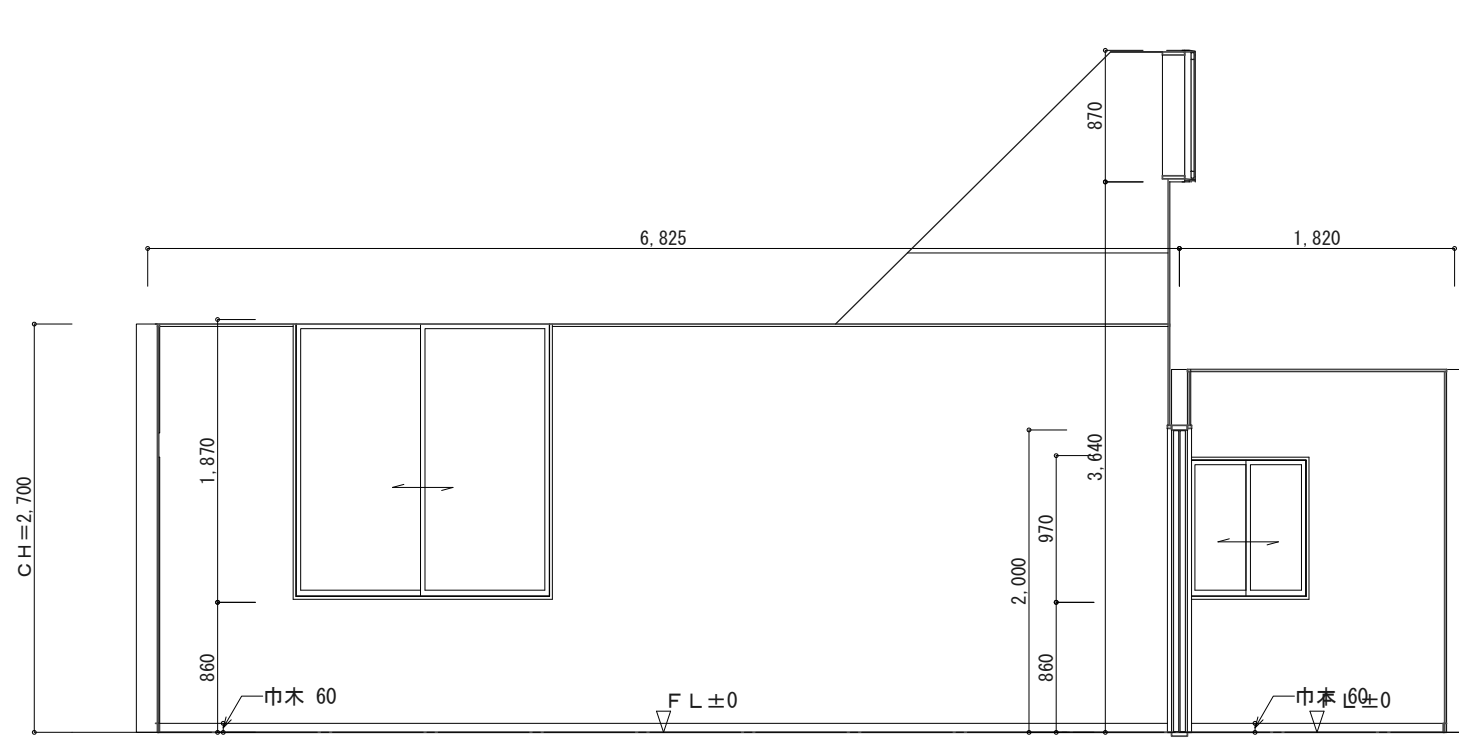


1階 天井伏図 S:1/100



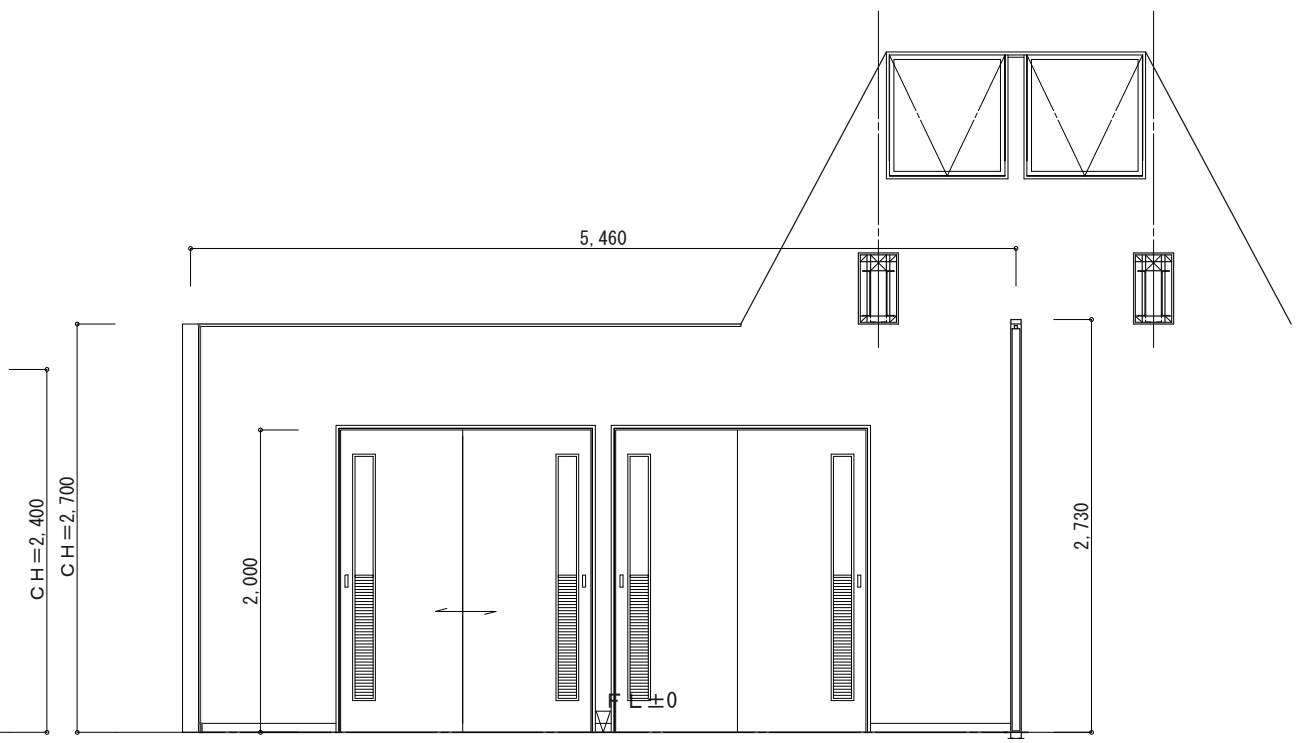
1階 屋根伏図 S:1/100

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	管理者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	設計者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	担当者 	図面名 既存建物 天井・屋根伏図	図面No. A-14
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555</small>	日付	日付	日付	縮尺 1/100	

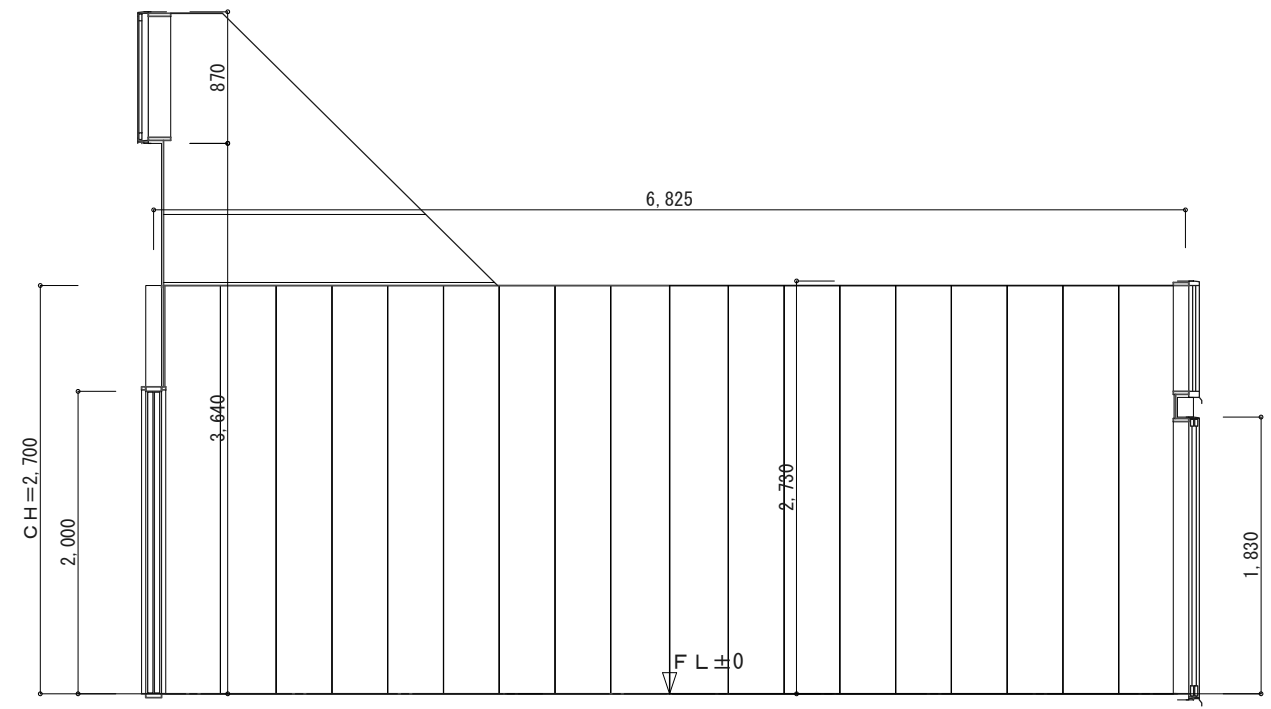


1面

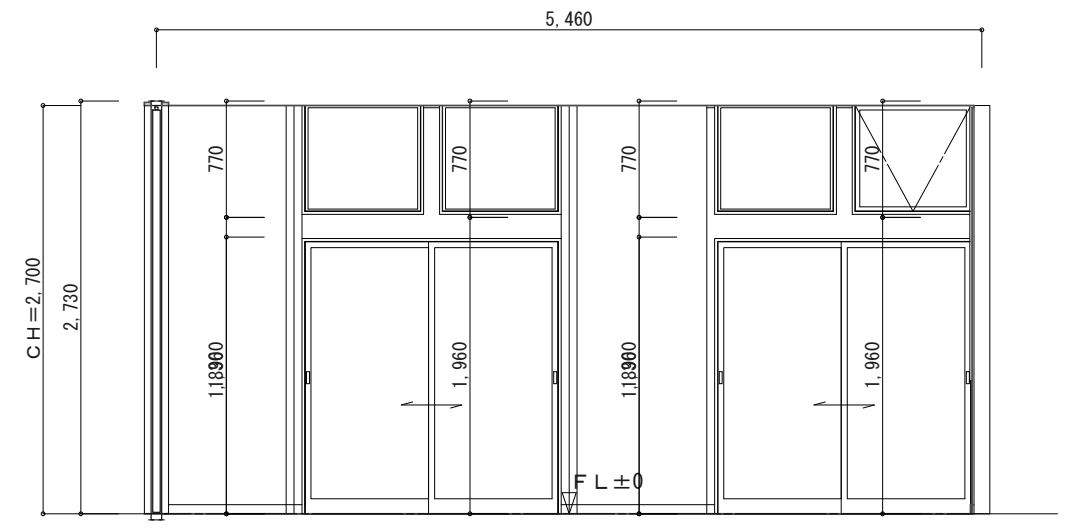
集会室N01・備品庫



2面



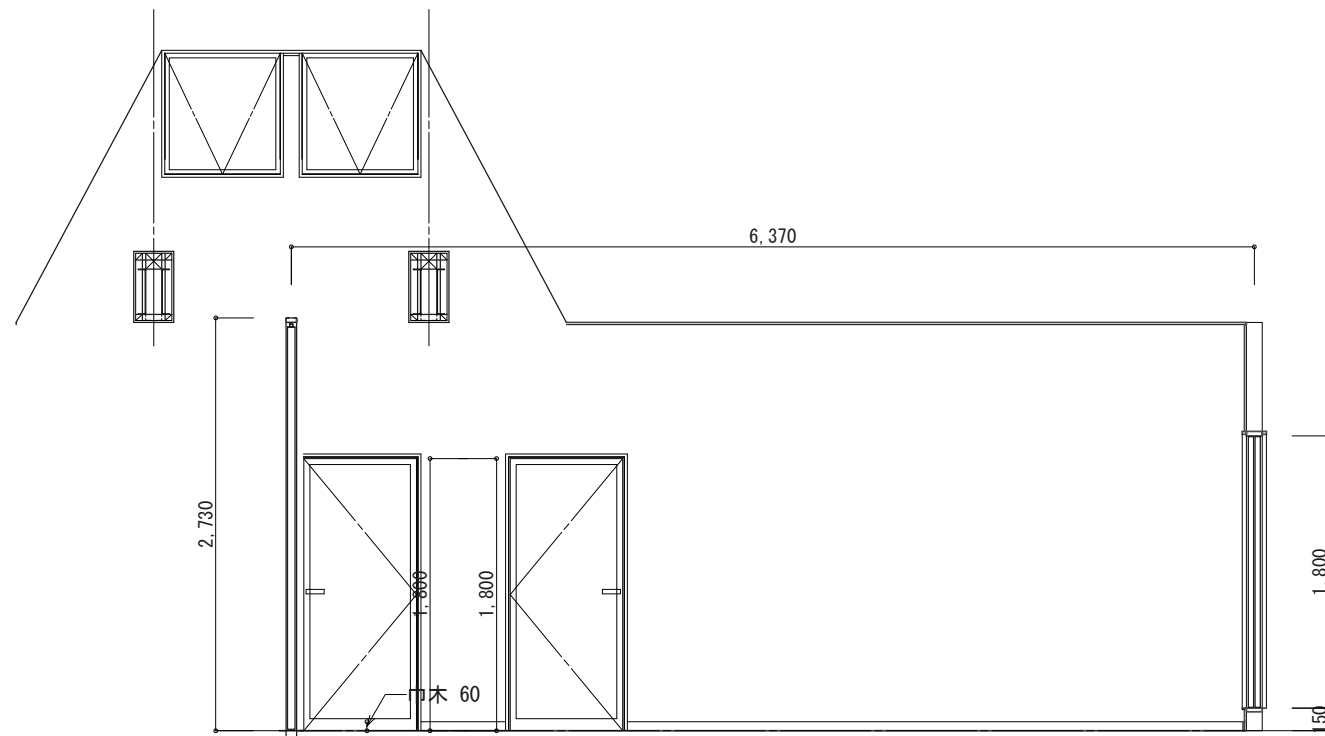
3面



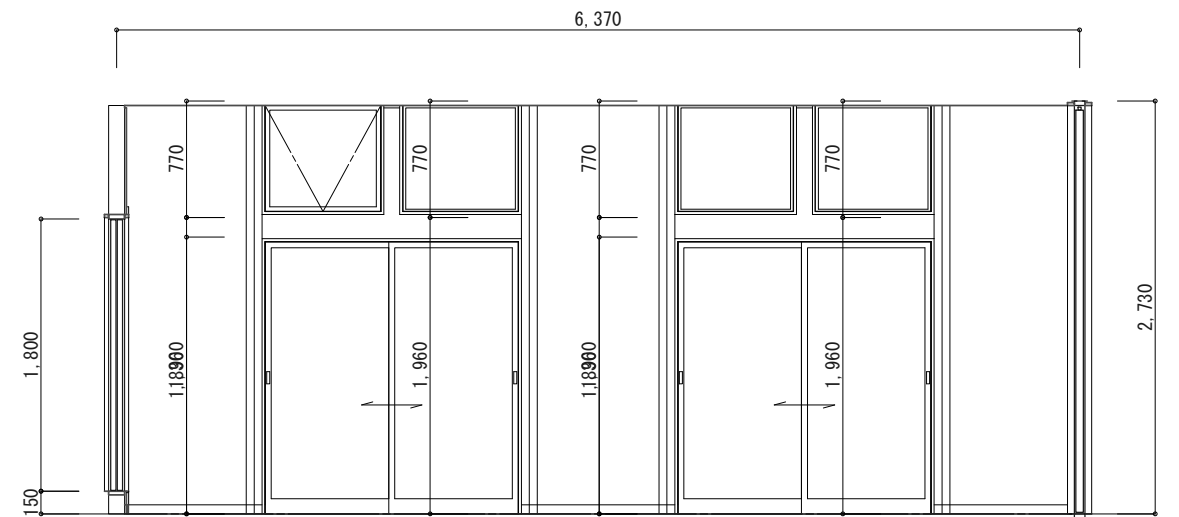
4面

部屋名	集会室N01
床	フローリング 合板 t=12
巾木	木製OP H=70
壁	ビニール張 (石膏ボード t=12下地)
腰壁	
天井	ミナートン t=12
廻縁	プラスチック
備考	

工事名	令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者		図面名	既存建物 展開図①	図面No.	A-15
			日付		日付		日付		縮尺	1/50		
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555											

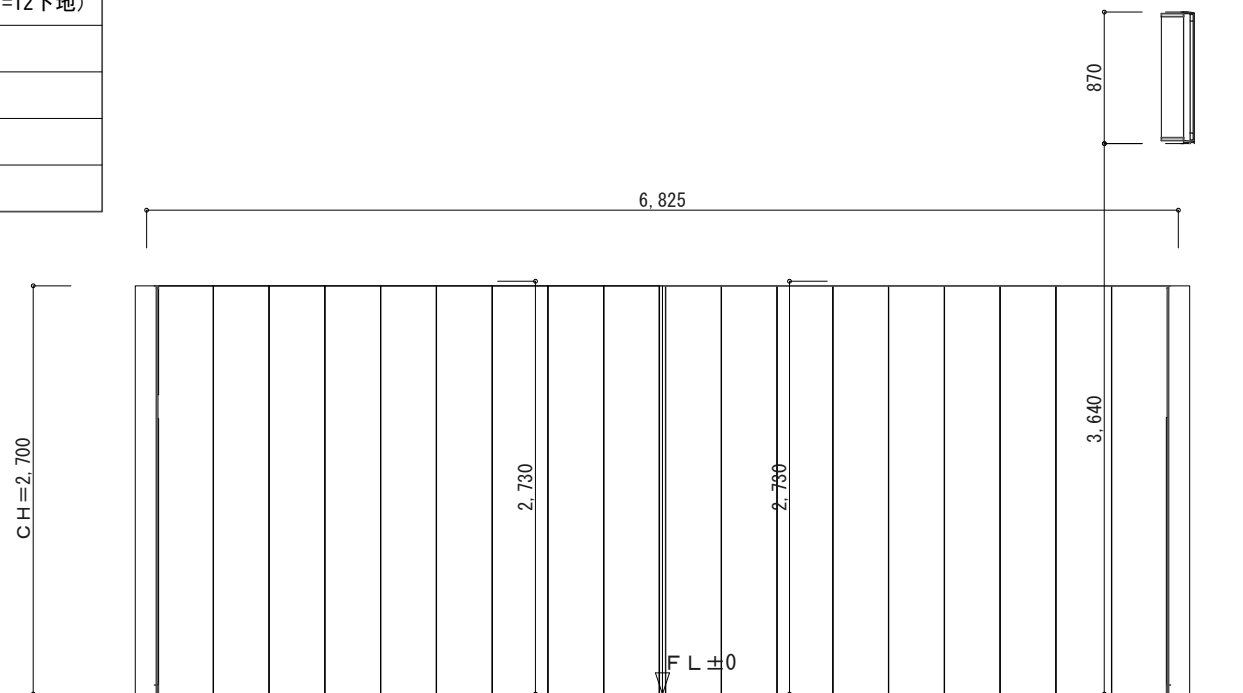


2面



4面

部屋名	集会室N02
床	フローリング 合板 t=12
巾木	木製OP H=70
壁	ビニール張 (石膏ボード t=12下地)
腰壁	
天井	ミネラトシ t=12
廻縁	プラスチック
備考	



1面

集会室N02



3面

工事名	令和3年度とちの木会館改修工事
備考	

株式会社 池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	
宮城県富谷市三関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555</small>	

管理者	池下 久幸 一級建築士 第280837号
日付	

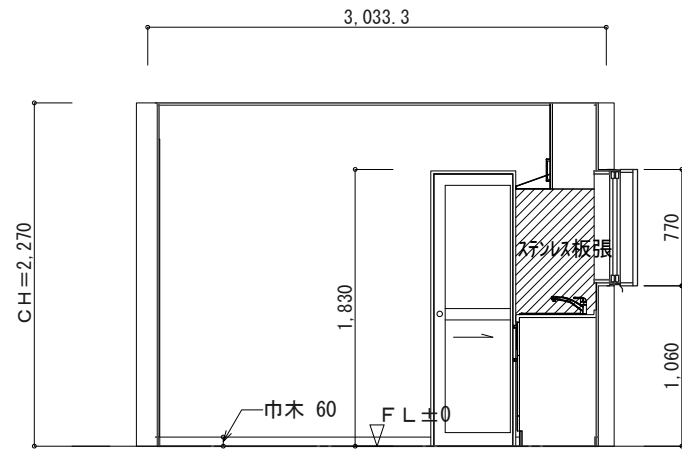
設計者	池下 久幸 一級建築士 第280837号
日付	

担当者	
日付	

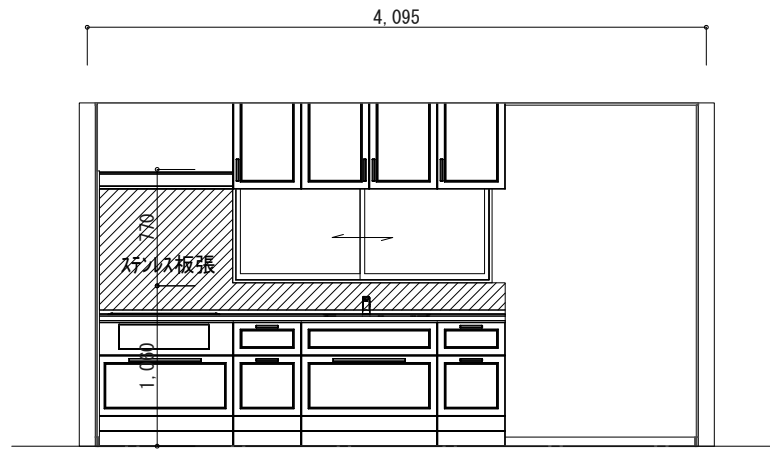
図面名	既存建物 展開図②
縮尺	1/50

図面No.	A-16
-------	------

部屋名	湯沸し室
床	長尺塩ビ t=2.3(合板 t15下地)
巾木	ソト巾木 H=70
壁	ビニル珞取 (石膏ボード t=12下地) 流し前:珞取貼(スレート t6二重下地)
天井	ジブトン t=9
廻縁	プラスチック
備考	床下収納庫 600×1200

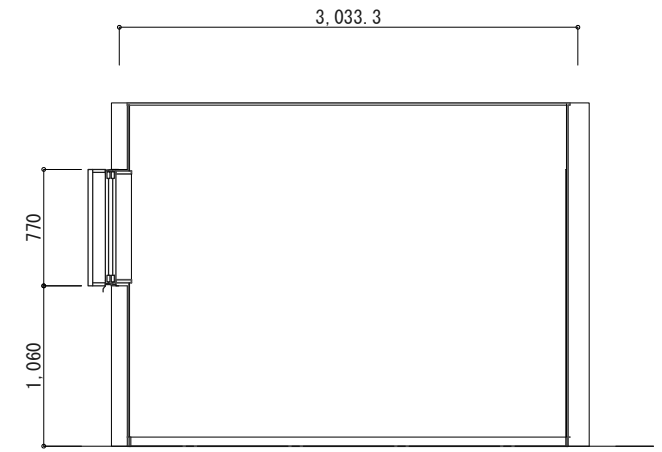


1面

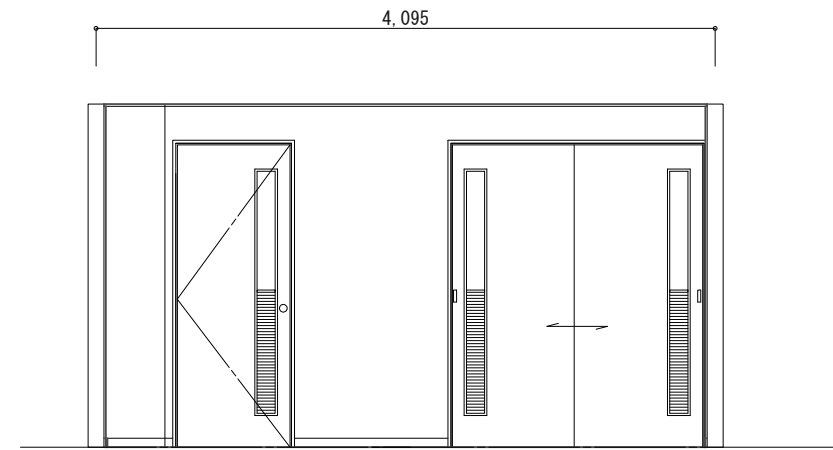


2面

湯沸し室



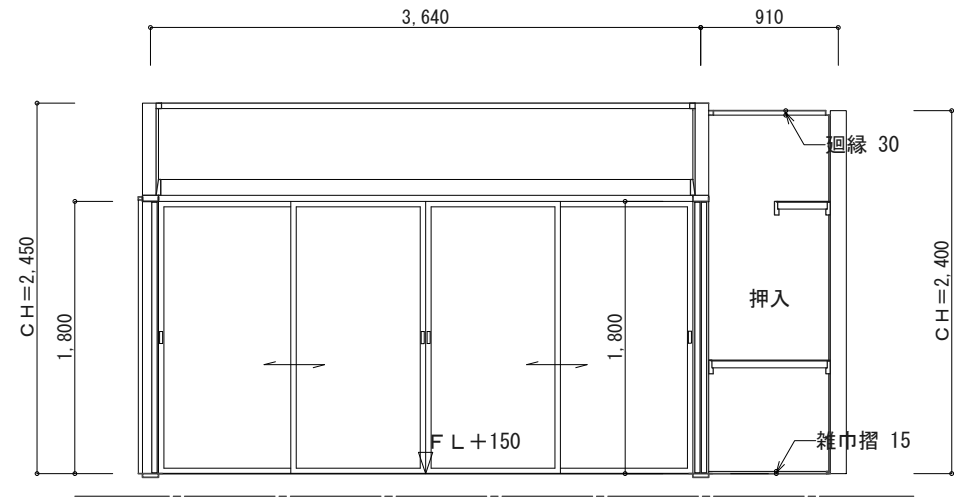
3面



4面

部屋名	床の間
床	竹合板地板
巾木	雑巾摺
壁	ビニル珞取 (石膏ボード t=12下地)
腰壁	
天井	貼珞合板 W-455
廻縁	廻縁
備考	落し掛 床柱

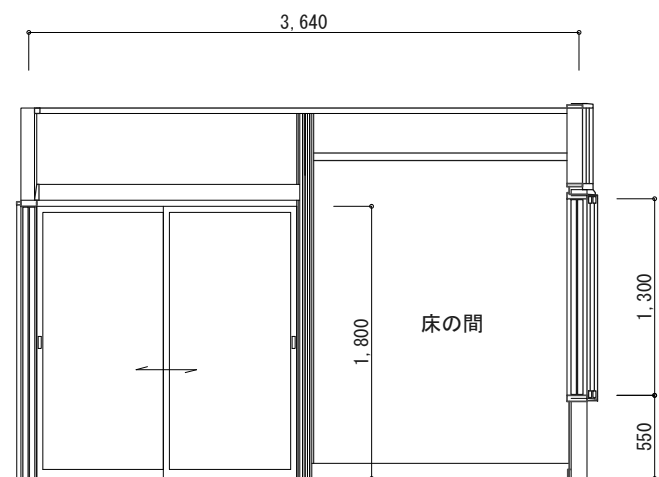
部屋名	和室8帖
床	畳敷 厚55 (荒床 t=15下地)
巾木	畳寄せ
壁	ビニル珞取 (石膏ボード t=12下地)
腰壁	
天井	貼珞合板 W-455
廻縁	廻縁
備考	



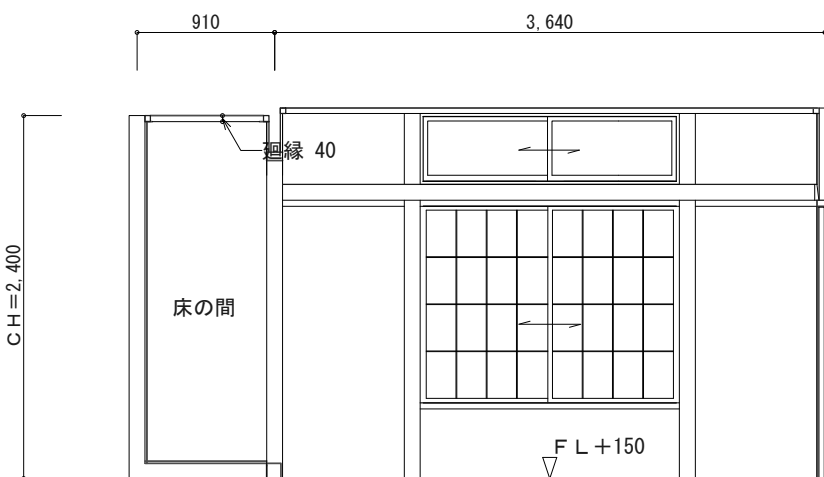
1面

集会室N03・床の間・押入

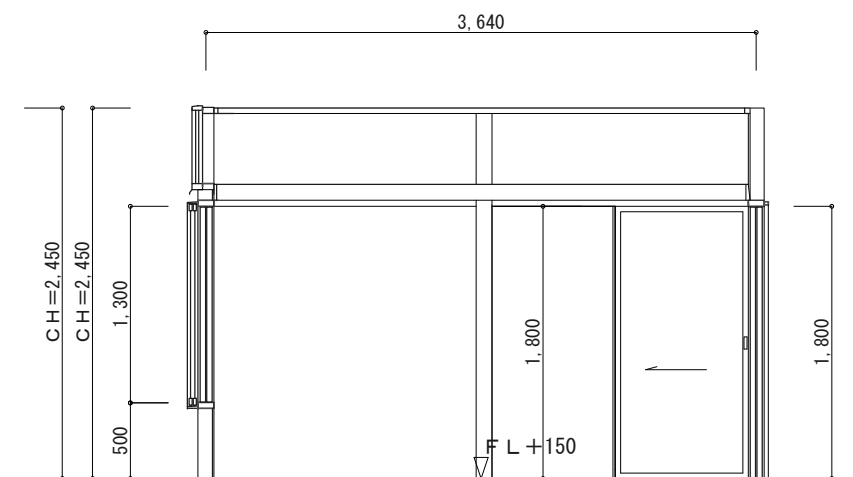
部屋名	押入
床	珞合板 T1 t=5.5
巾木	雑巾摺
壁	石膏ボード t=9
腰壁	
天井	石膏ボード t=9
廻縁	プラスチック
備考	中段



2面



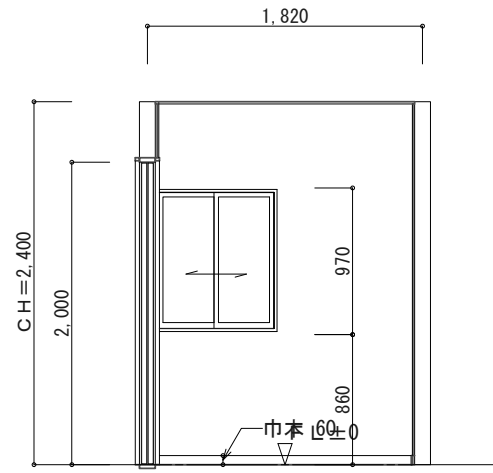
3面



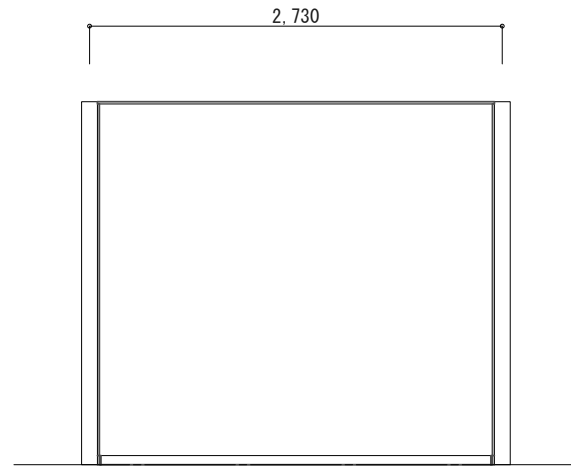
4面

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号 宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 既存建物 展開図③	図面No. A-17
		日付	日付	日付	縮尺 1/50	
備考						

部屋名	備品庫
床	フローリング合板 t=12
巾木	木製OP H=70
壁	プリント合板
腰壁	
天井	ジブトン t=9
廻縁	プラスチック
備考	

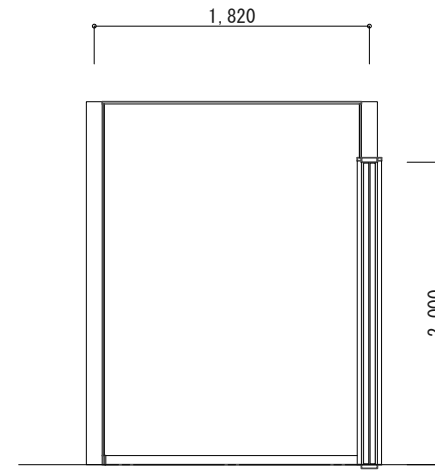


1面

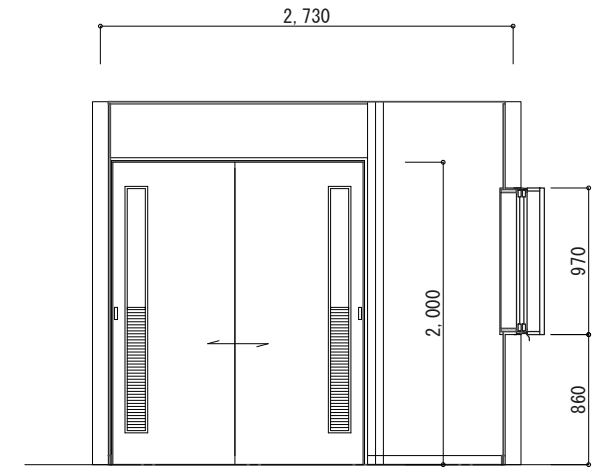


2面

備品庫

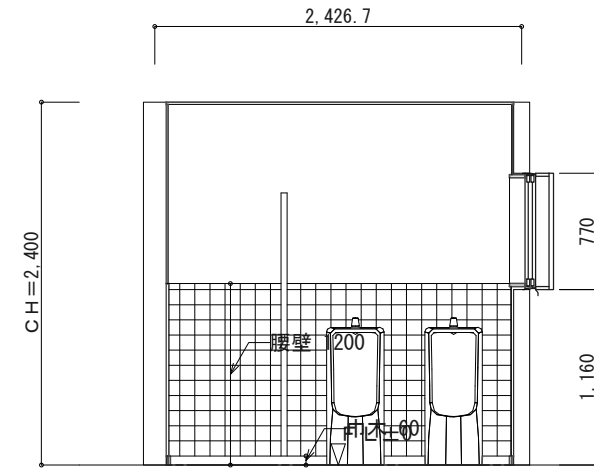


3面

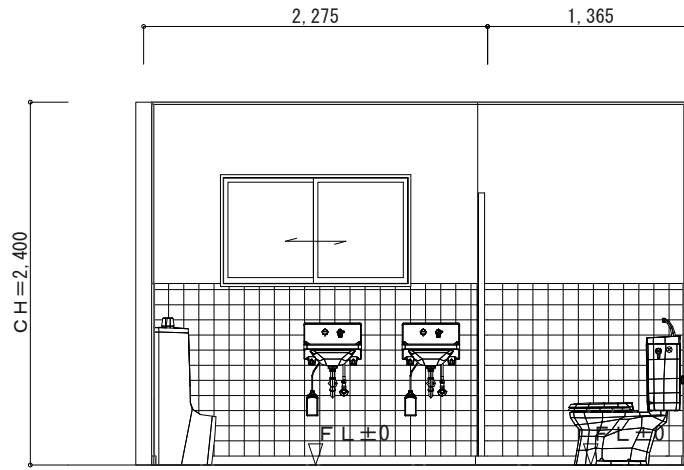


4面

部屋名	トイレ
床	角モザイクタイル 25×25
巾木	
壁	タイル貼100角(合板 t12下地H=1800)
腰壁	
天井	ジブトン t=9
廻縁	プラスチック
備考	紙巻器 トイレキャビネット

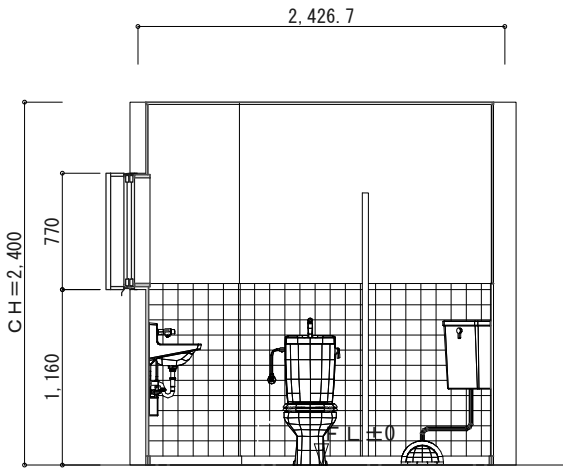


1面

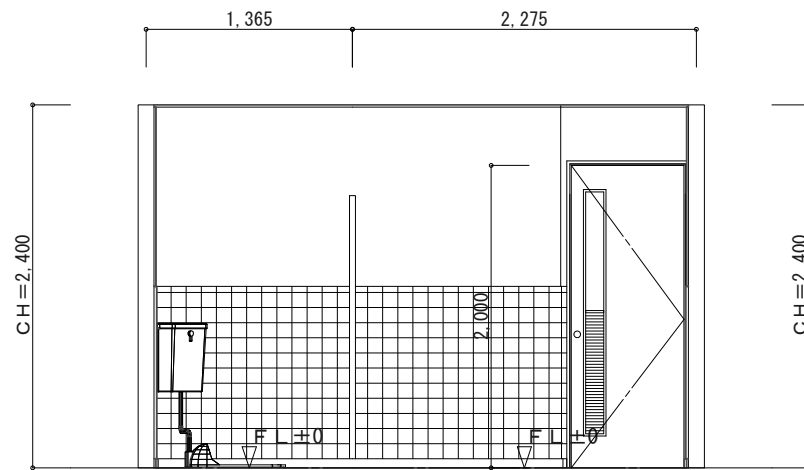


2面

トイレ・トイレ



3面



4面

工事名	令和3年度とちの木会館改修工事
備考	

株式会社 池下建築設計	
<small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	
宮城県富谷市三関三枚橋27-3	
<small>TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555</small>	

管理者	池下 久幸 一級建築士 第280837号
日付	

設計者	池下 久幸 一級建築士 第280837号
日付	

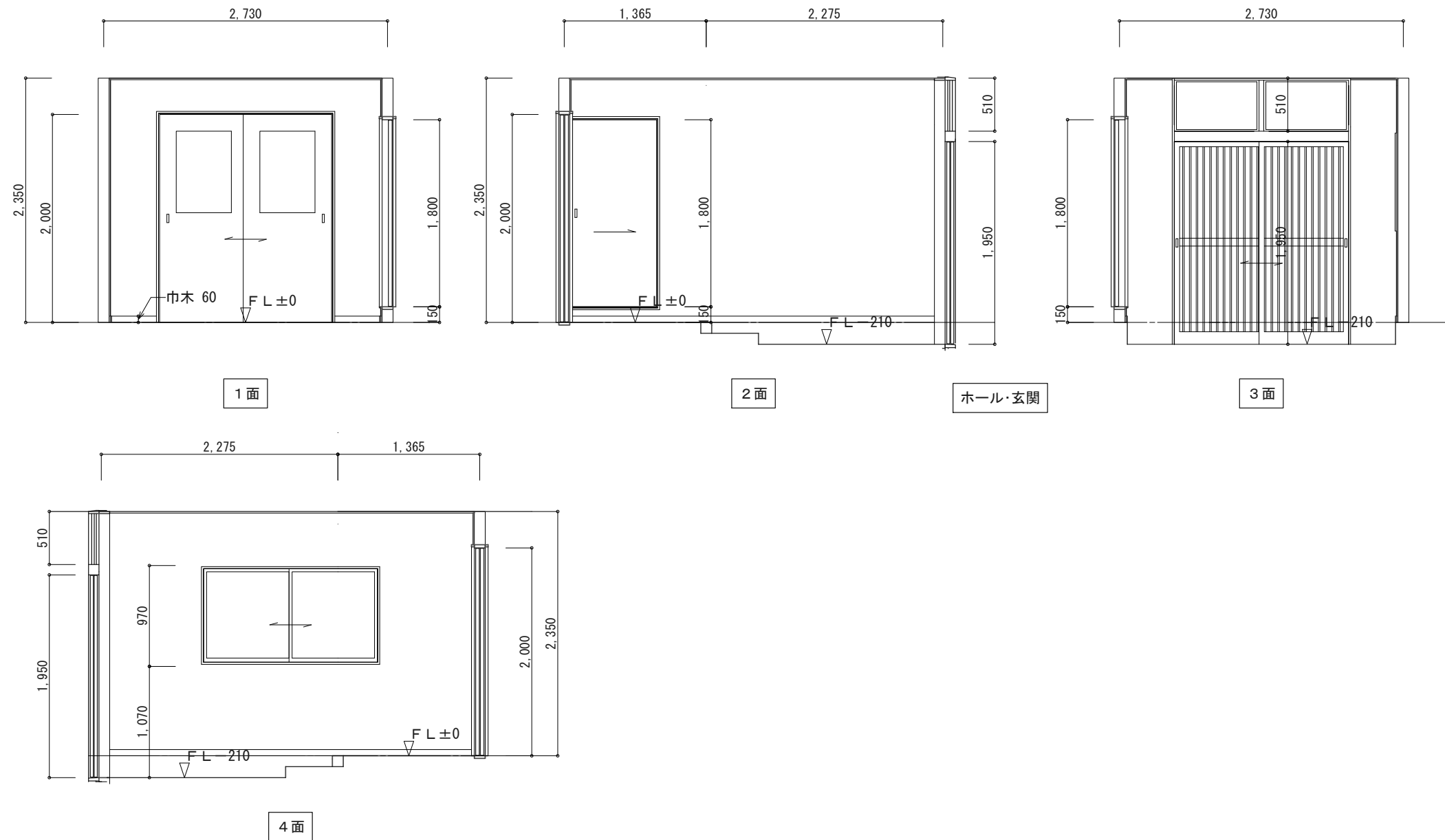
担当者	
日付	

図面名	既存建物 展開図④
縮尺	1/50

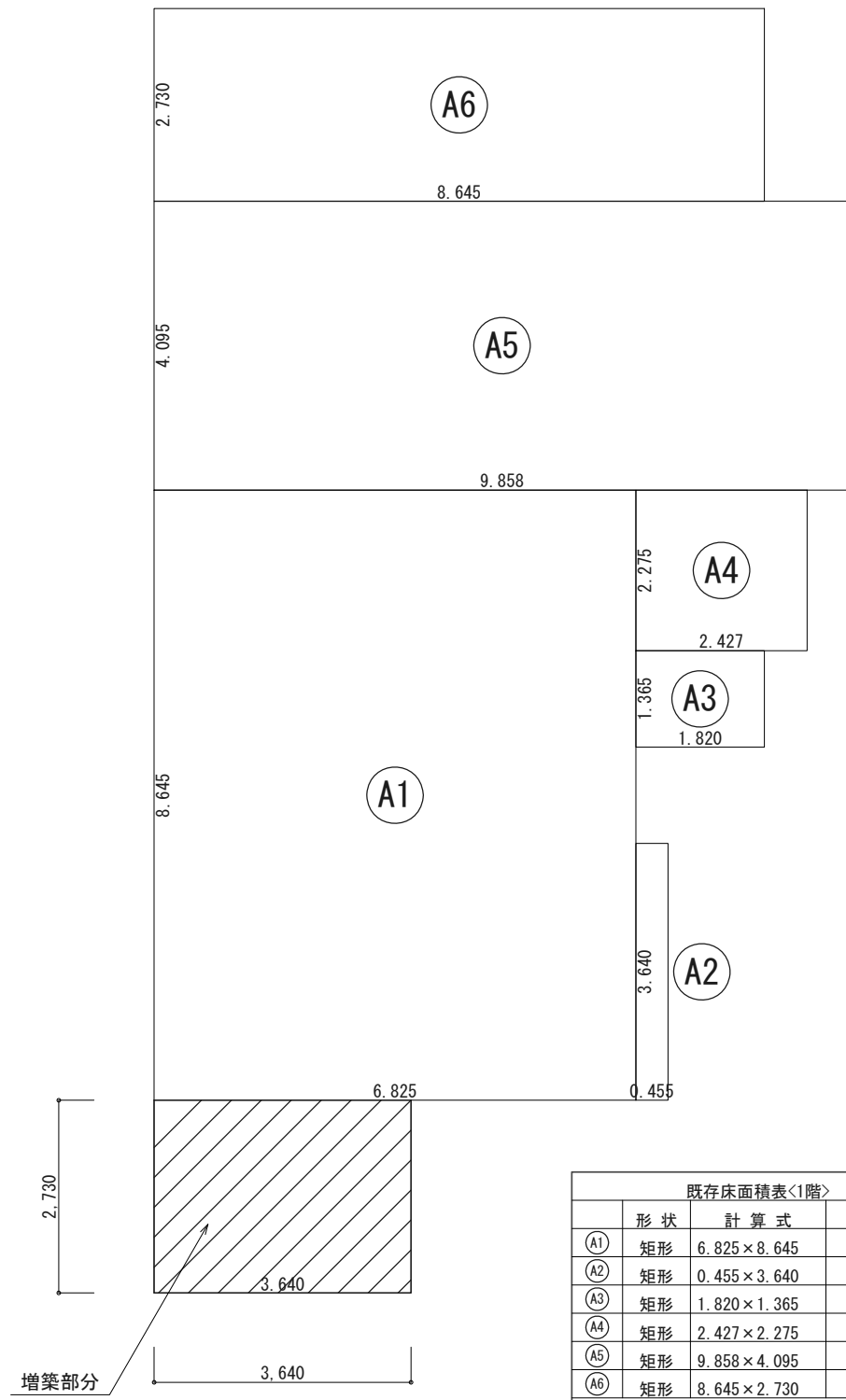
図面No.	A-18
-------	------

部屋名	玄関
床	磁器質タイル 150×150
巾木	磁器質タイル 150×150
壁	ビニルクロス (石膏ボード t=12下地)
腰壁	
天井	ミネラトン t=12
廻縁	プラスチック
備考	下駄箱収納

部屋名	ホール
床	フローリング合板 t=12
巾木	木製OP H=70
壁	ビニルクロス (石膏ボード t=12下地)
腰壁	
天井	ミネラトン t=12
廻縁	プラスチック
備考	



工事名	令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者		図面名	既存建物 展開図⑤	図面No.	A-19
	備考		宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	日付		日付		日付		縮尺	1/50	

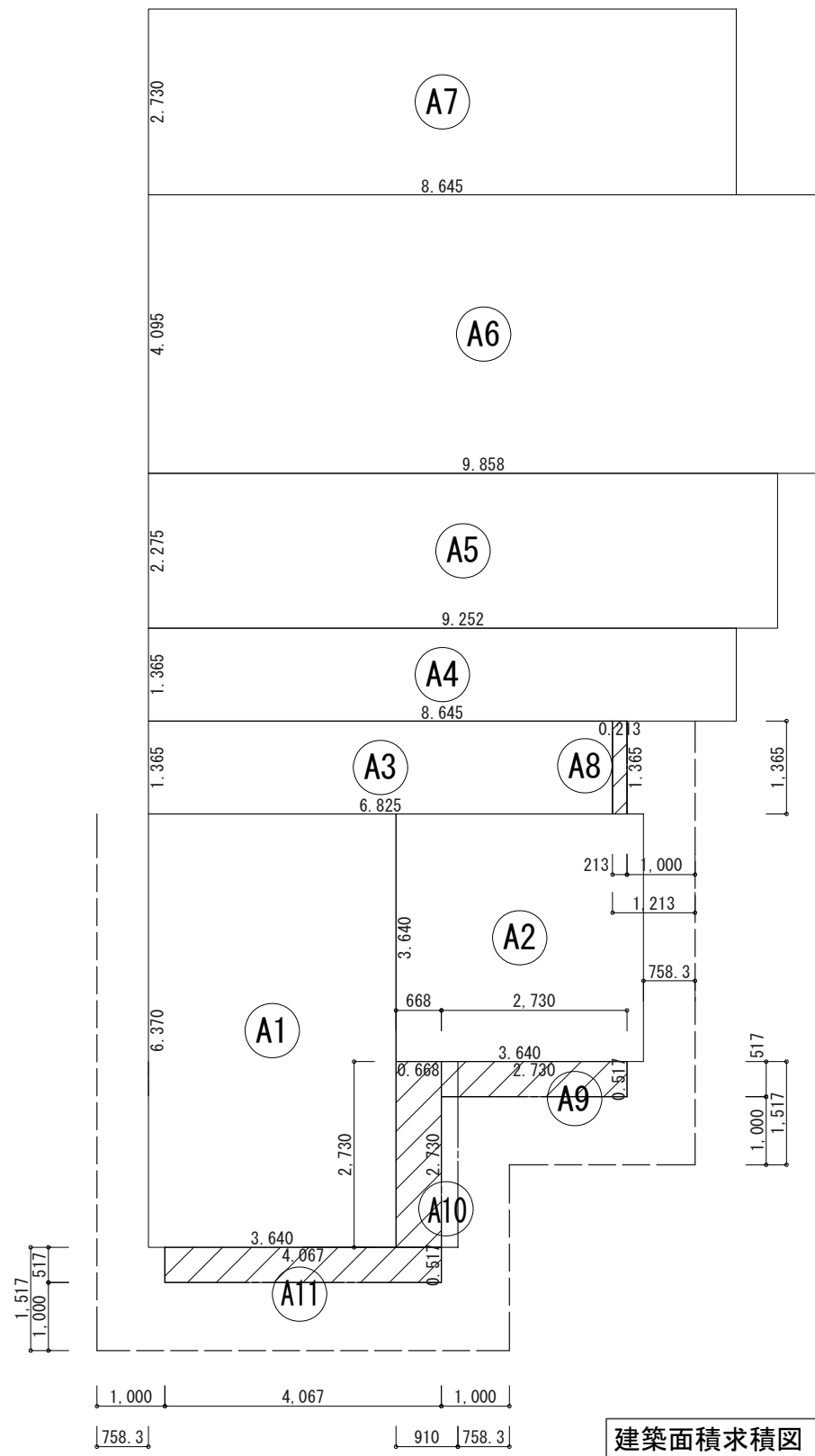


1階 床面積求積図 S:1/100

既存床面積表<1階>			
形状	計算式	面積	
Ⓐ1	矩形 6.825 × 8.645	59.002125	
Ⓐ2	矩形 0.455 × 3.640	1.656200	
Ⓐ3	矩形 1.820 × 1.365	2.484300	
Ⓐ4	矩形 2.427 × 2.275	5.521425	
Ⓐ5	矩形 9.858 × 4.095	40.368510	
Ⓐ6	矩形 8.645 × 2.730	23.600850	
面積	計 (㎡)	132.6333	
		132.63	

増築部分の床面積 : $3.64 \times 2.73 = 9.9372 = 9.93\text{m}^2$

合計 142.56㎡



建築面積求積図 S:1/100

建築面積表		
形状	計算式	面積
Ⓐ1	矩形 3.640 × 6.370	23.186800
Ⓐ2	矩形 3.640 × 3.640	13.249600
Ⓐ3	矩形 6.825 × 1.365	9.316125
Ⓐ4	矩形 8.645 × 1.365	11.800425
Ⓐ5	矩形 9.252 × 2.275	21.048300
Ⓐ6	矩形 9.858 × 4.095	40.368510
Ⓐ7	矩形 8.645 × 2.730	23.600850
Ⓐ8	矩形 0.213 × 1.365	0.290745
Ⓐ9	矩形 2.730 × 0.517	1.411410
Ⓐ10	矩形 0.668 × 2.730	1.823640
Ⓐ11	矩形 4.067 × 0.517	2.102639
面積	計 (㎡)	148.19
	(坪)	44.83

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事
備考

株式会社 池下建築設計
事務所登録 宮城県 第21610219号
宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3
TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555

管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号
設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号
日付

担当者 日付
図面名 増築・改修 面積表
縮尺 1/100

図面No. A-20

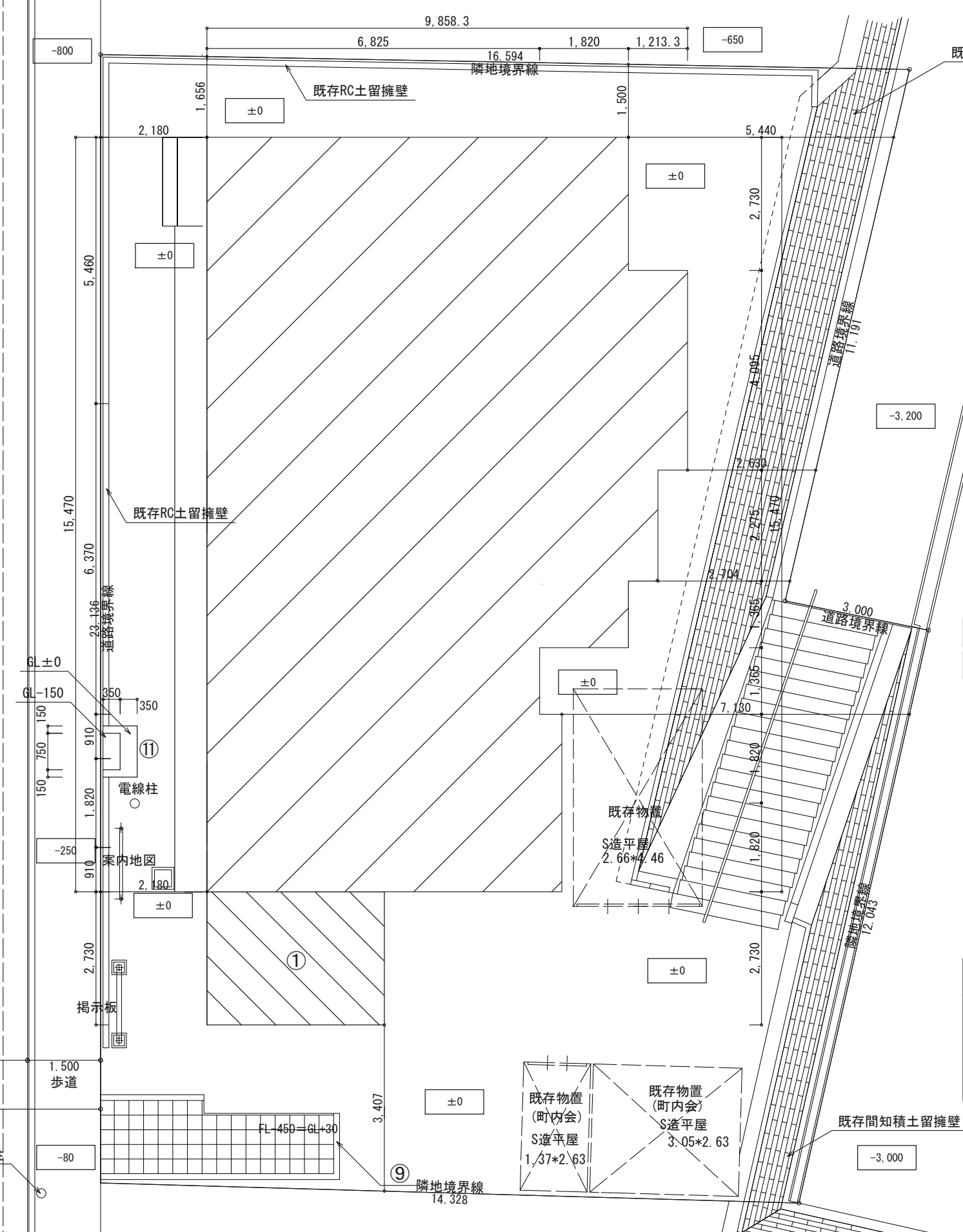
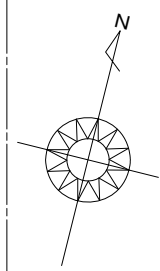
外部仕上表 (増築・改修部)	屋根	ガルバリウム鋼板 70.35 瓦棒葺き 雪止め金物@455	シツクハウス対策	①内装仕上制限：すべて制限を受けない材料（F☆☆☆☆又は規制対象外の材料とする。 （断熱材・調理台・食器棚・建具・その他造作家具を含む。））
	鼻隠し・破風	防火サイディング用破風 塗装品		②換気設備関係：別図参照
	軒裏	繊維混入ケイ酸カルシウム板（一部有孔、ノンアスベスト品）貼り 76 EP		③天井裏等の制限：すべて制限を受けない材料（同上）とする。（下地材、断熱材等）
	外壁	窯業系防火サイディング（NICHIIA：モエンサイディング-W16同等品）		④クロロピリホスは使用しない。
	外部建具	カラーアルミ樹脂複合サッシ		
	雨樋	軒樋：塩ビ丸樋		
	犬走り			
	玄関ポーチ	磁器質100角タイル（段鼻部色違いタイル使用） 手摺		（断熱材）
	基礎	鉄筋コンクリート 布基礎		・木床組部分：押出法木質スチレンフォーム(3種) t=50 ・外気に接する壁：グラスウール 高断熱タイプ t=100 ・外気に接する天井：グラスウール 高断熱タイプ t=100
	足洗い場	新設		土台・軸組外壁面のGL+1000迄は防腐・防蟻処理
スロープ	コンクリート刷毛引き仕上げ 手摺			


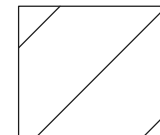
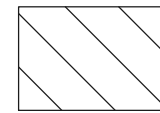
室内名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
増築玄関	ポーチ：磁器質100角タイル（スロープ傾斜付）	木製框、付け框	石膏ボード 712.5 ビニルクロス	石膏ボード 79.5 ビニルクロス	2.460	木製手摺、固定木製腰掛ベンチ、掲示板900*1200
増築玄関ホール	構造用合板 728 + フローリング貼 712	木製（既製品）H60	石膏ボード 712.5 ビニルクロス	石膏ボード 79.5 ビニルクロス	2.350	床・天井点検口（気密断熱口600タイプ） 既存造り付け下駄箱撤去、メガホン・消火器は再利用
改修集会室 （集会室No.1、No.2）	構造用合板 712(又は724) + フローリング貼 712 下地 既存フローリング合板+嵩上げ下地	木製（既製品）H60 胴縁下地施工	既存クロス撤去補修してビニルクロス張替え 胴縁下地改修部分：石膏ボード 712.5 ビニルクロス	石膏ボード 79.5捨貼 ビニルクロス 下地：既存ミネラートン A12	2.700	紅白幕用紐通し金具、ビクチャーレール、額受材、 天井点検口（気密断熱口600タイプ） 既存カーテンボックス・ブラインド、消火器2台は再利用
改修備品庫	構造用合板 712(又は724) + フローリング貼 712 下地 既存フローリング合板+嵩上げ下地	木製（既製品）H60 胴縁下地施工	既存クロス撤去補修してビニルクロス張替え 胴縁下地改修部分：石膏ボード 712.5 ビニルクロス	石膏ボード 79.5捨貼 ビニルクロス 下地：既存ジブトーン A9	2.400	中棚
改修湯沸室	クッションフロアー A2.3 下地 構造用合板 712(又は724) + 耐水合板 A9 既存長尺塩ビ床材+嵩上げ下地	木製（既製品）H60 胴縁下地施工	既存クロス撤去補修してビニルクロス張替え 胴縁下地改修部分：石膏ボード 712.5 ビニルクロス 流し前は既存ステンレス撤去、キッチンバネ張り	石膏ボード 79.5捨貼 ビニルクロス 下地：既存ジブトーン A9	2.270	室名札（平）・造り付け食器棚 システムキッチンセット、業務用流し、 床点検口（気密断熱口600タイプ） 既存流しセット、吊戸棚、LPGガスコンロ撤去
改修集会室 （集会室No.3）	構造用合板 728 + フローリング貼 712	木製（既製品）H60 胴縁下地施工	既存クロス撤去補修してビニルクロス張替え 胴縁下地改修部分：石膏ボード 712.5 ビニルクロス	石膏ボード 79.5 ビニルクロス	2.700	紅白幕用紐通し金具 既存カーテンボックス・ブラインド
改修収納	構造用合板 728 + フローリング貼 712	木製（既製品）H60 胴縁下地施工	既存クロス撤去補修してビニルクロス張替え 胴縁下地改修部分：石膏ボード 712.5 ビニルクロス	石膏ボード 79.5 ビニルクロス	2.400	中棚、枕棚、床点検口（気密断熱口600タイプ） 既存中棚、床の間セット撤去
改修男子洗面トイレ	クッションフロアー 72.3 下地 構造用合板 728 + 耐水合板 A9	木製（既製品）H60 胴縁下地施工	耐水石膏ボード 712.5 ビニルクロス	石膏ボード 79.5 ビニルクロス	2.350	新設各便器、新設洗面化粧台、新設換気扇 室名札（平）、各手摺 新設ペーパーホルダー、新設トイレフタSH=2.0m
改修女子洗面トイレ	クッションフロアー 72.3 下地 構造用合板 728 + 耐水合板 A9	木製（既製品）H60 胴縁下地施工	耐水石膏ボード 712.5 ビニルクロス	石膏ボード 79.5 ビニルクロス	2.350	新設各便器、新設洗面化粧台、新設換気扇 室名札（平）、各手摺 新設ペーパーホルダー、新設トイレフタSH=2.0m
	※フローリングはキズ付き難いものを使用する。					

特記事項

(防火材料認定番号)			
窯業系防火サイディング 716 (不燃材料)NM-9331 (防火構造)PC030BE-9201	石膏ボード 712.5 NM-8619	石膏ボード 79.5 QM-9828	ビニルクロス 不燃 NM-1077
ケイ酸カルシウム板 76 NM-8578	耐水石膏ボード 712.5 QM-9826		ビニルクロス 準不燃 QM-0395

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 増築・改修 仕上表	図面No. A-21
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	日付	日付	日付	縮尺	



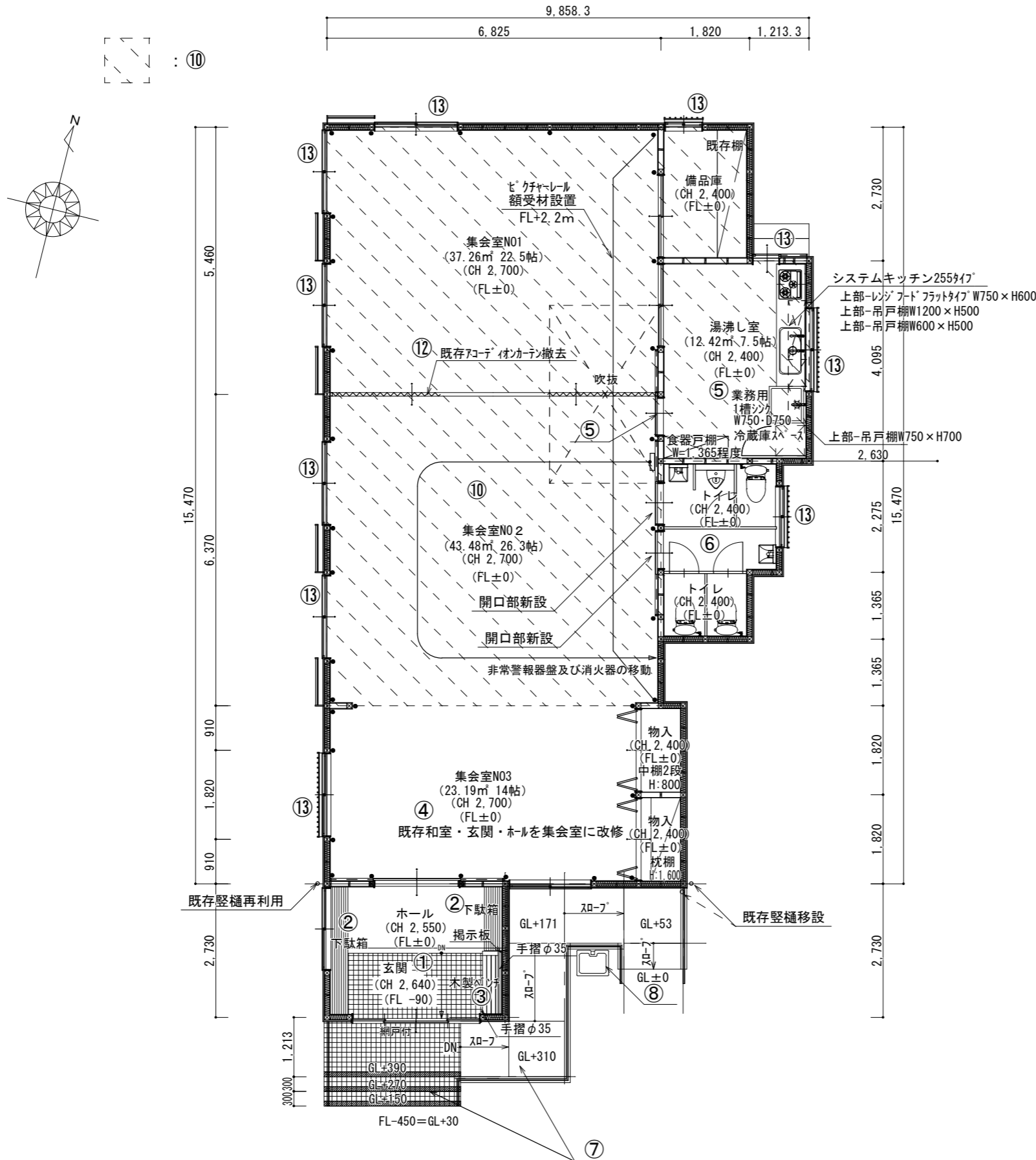
-  町内会所有の物置を示す
-  既存集会所
-  増築部分 (玄関・ホール)

- 増築工事** ①玄関・ホール(床面積9.93㎡)及びホーチ・フロア屋根含む
- その他工事 (外構工事)**
- ⑨平板及び地先ﾌﾞｯｸ新設
 - ⑩西道路面既存間知積土留撤去しｺﾝｸﾘｰﾄ階段W750設置

配置図 S:1/100

1階 平面詳細図 S:1/100

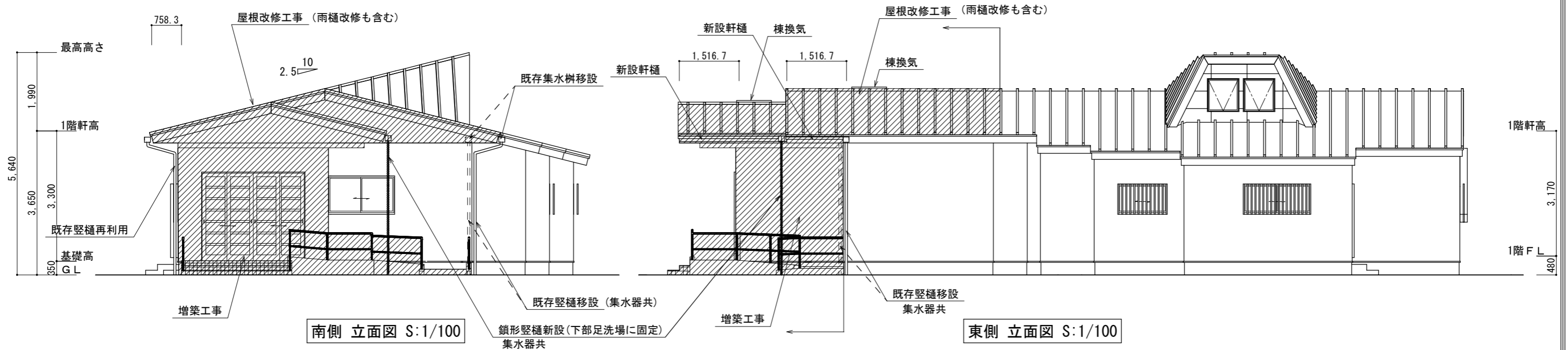
工事名	令和3年度	とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者		図面名	増築・改修 配置図	図面No. A-22-1
	備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555		日付		日付		日付		縮尺	1/100	



- 増築工事** ①玄関・ホール(床面積9.93㎡)及びホーチロフ屋根含む
- 新設工事** ②下駄箱 W2.59m×H1.5m (消火器・ハンドマイク収納棚付)
下駄箱 W1.1m×H1.2m 合計47名以上収納可能
- ③腰掛ベンチ W1.29m+手摺
- 改修工事** ④既存和室・玄関・ホール部分を集会室No.3に変更
上記に伴う付帯工事
既存対象柱・壁・床・天井・建具等撤去
補強梁・柱・壁(耐力壁仕様)の設置
新設床組+断熱材+合板+フローリング
玄関戸、和室窓の撤去、新設内外壁設置(下地・断熱材込み)、天井新設・LED照明器具等新設
既存押入・床の間を収納に変更(折戸H=2.3m程度、棚板新設=図示)
- ⑤既存湯沸室改修工事
ドアを片引戸に変更し、沓摺敷居を撤去金具止め
非常警報装置盤をトイレ脇壁に移設
床をCFシートに貼り替え
システムキッチン255タイプに交換 レンジフードフラットタイプ設置
シングルバ-水栓を2カ所設置、LPGガスコンロ一体型
流し前壁はキッチンパネル壁仕上、業務用1槽シンクW75設置
造り付食器戸棚新設
- ⑥既存トイレを男・女トイレに改修
トイレ-ス、パ-ティション間仕切り壁の新設
小便器・手摺・自動水栓手洗器新設(男・女)
洋式便器+ウォシュレット便座新設(自動開閉式・オート洗浄)(男1、女2)
新設木製片引フラッシュ戸 外付タイプ 2ヶ所
既存土間床撤去、床組+CFシート施工
- ⑦玄関ホーチロフ改修工事
新設ホーチロフ及び階段2段(両側手摺付)設置、段鼻色
違いタイル使用、新設フロー片側手摺設置
- ⑧新設足洗い場
- ⑩既存床に嵩上げ下地施工(調整根太、合板)により水平に補修(集会室No.1、No.2、備品庫、湯沸室)
(高低差 南西角±0~北東角-70mm程度:既存建物にて)
床:WPCフロー(同等品)張り仕上(集会室No.1、No.2、備品庫)
CFシート張り仕上(湯沸室)
新設巾木及び胴縁下地設置
- ⑫集会室No.1、No.2の既存アコーディオンカーテンの撤去
既存額受材撤去し同所にビクチャレール及び額受材を新設。
集会室No.1、2、3の四方壁面に紅白幕受金物を新設。・印32個
- ⑬既存サッシ・雨戸・ブラインドは再利用。

1階 平面詳細図 S:1/100

工事名	令和3年度 とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 増築・改修 平面図	図面No. A-22-2
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555		日付	日付	日付	縮尺 1/100	



南側 立面図 S:1/100

東側 立面図 S:1/100

⑦玄関ホーチ改修工事
 新設ホーチ及び階段2段 (両側手摺付) 設置、段鼻色
 違いタイル使用、新設ホーチ片側手摺設置

増築工事 ①玄関・ホール(床面積9.93㎡)及びホーチ・スロフ屋根含む

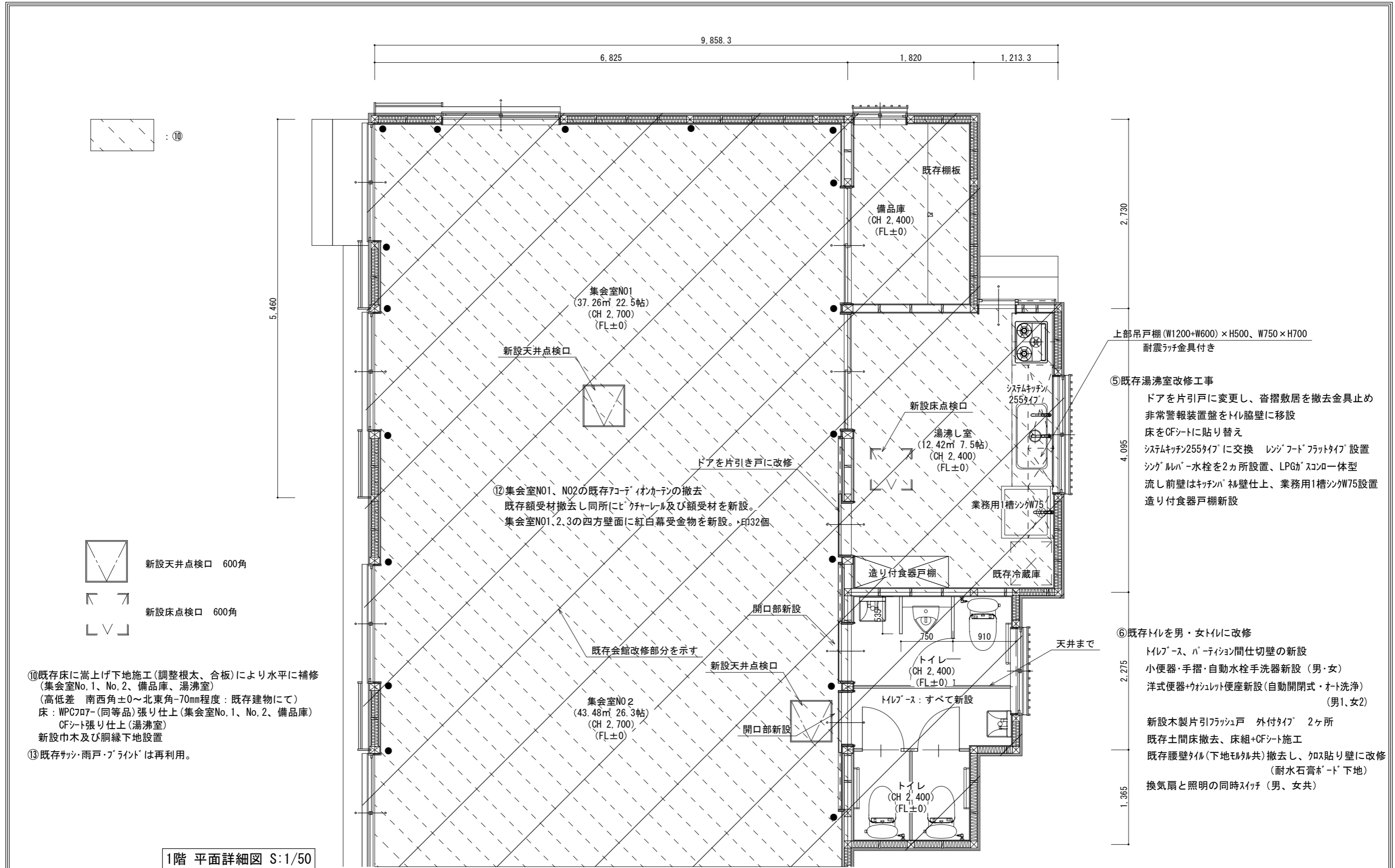


北側 立面図 S:1/100

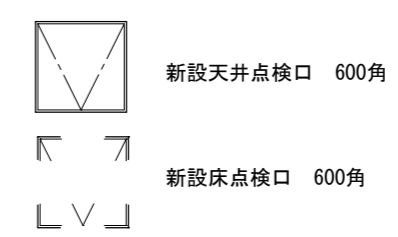
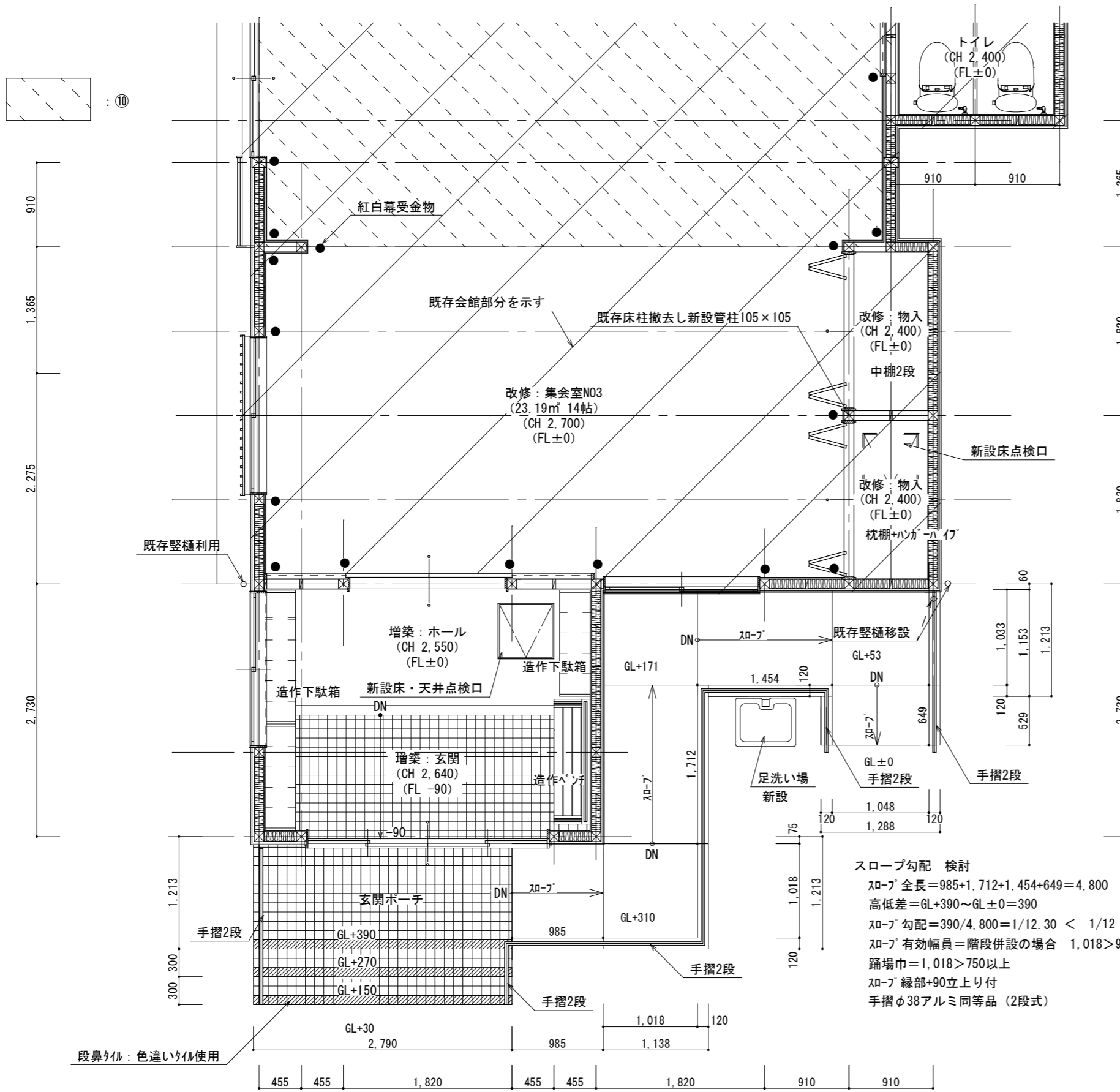
西側 立面図 S:1/100

⑬既存サッシ・雨戸・フ・ライトは再利用。

工事名	令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名	増築・改修 立面図	図面No.	A-23
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555		日付	日付	日付	縮尺	1/100		



工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 増築・改修 平面詳細図①	図面No. A-24
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	日付	日付	日付	縮尺 1/50	

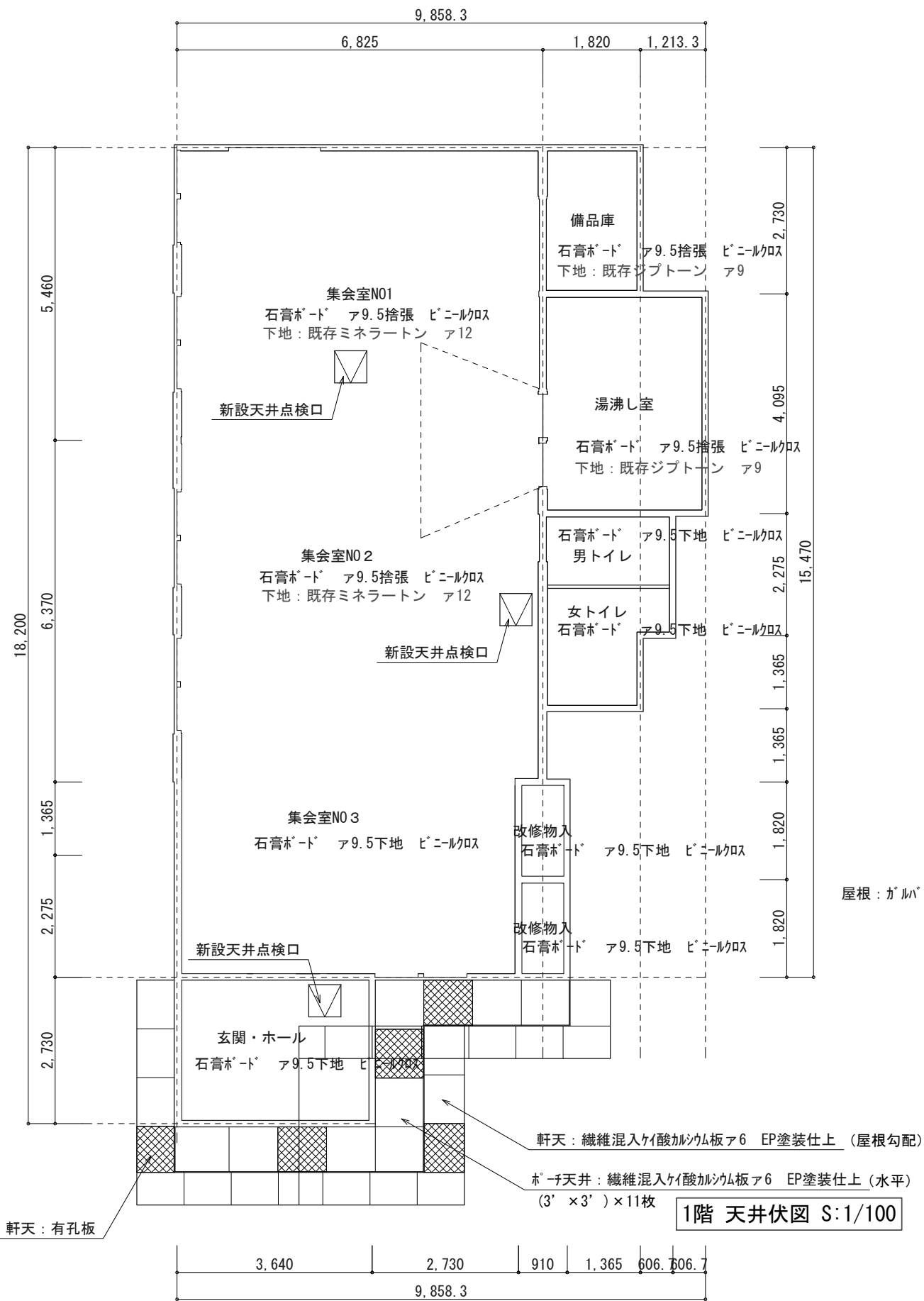


- 増築工事**
- ① 玄関・ホール(床面積9.93㎡)及びホーチスロップ屋根・軒樋・壁樋含む
 - ② 下駄箱 W2.58m×H1.5m (消火器・ハンドマイク収納棚付)
下駄箱 W1.2m×H1.2m 合計47名以上収納可能
 - ③ 腰掛ベンチ W1.35m+手摺
- 新設工事**
- ④ 既存和室・玄関・ホール部分を集会室N03に変更
上記に伴う付帯工事
既存対象柱・壁・床・天井・建具等撤去
補強梁・柱・壁(耐力壁仕様)の設置
新設床組+断熱材+合板+フローリング
玄関戸、和室窓の撤去、新設内外壁設置(下地断熱材込み)、天井新設・LED照明器具等新設
既存押入・床の間を収納に変更(折戸H=2.3m程度、棚板新設=図示)
 - ⑦ 玄関ホーチ改修工事
新設ホーチ及び階段2段(両側手摺付)設置、段鼻色違いタイル使用、新設スロップ片側手摺設置
 - ⑧ 新設足洗い場
 - ⑨ 平板及び地先ブロック新設
 - ⑩ 既存床に嵩上げ下地施工(調整根太、合板)により水平に補修(集会室No.1、No.2、備品庫、湯沸室)
(高低差 南西角±0~北東角-70mm程度:既存建物にて)
床:WPCフロア(同等品)張り仕上(集会室No.1、No.2、備品庫)
CFシート張り仕上(湯沸室)
新設巾木及び胴縁下地設置
 - ⑪ 西道路面既存間積土留撤去しコンクリート階段W750設置
 - ⑫ 既存額受材撤去し同所にビクチャレル及び額受材を新設。
集会室N01、2、3の四方壁面に紅白幕受金物を新設。●印32個
 - ⑬ 既存サッシ・雨戸・ブラインドは再利用。

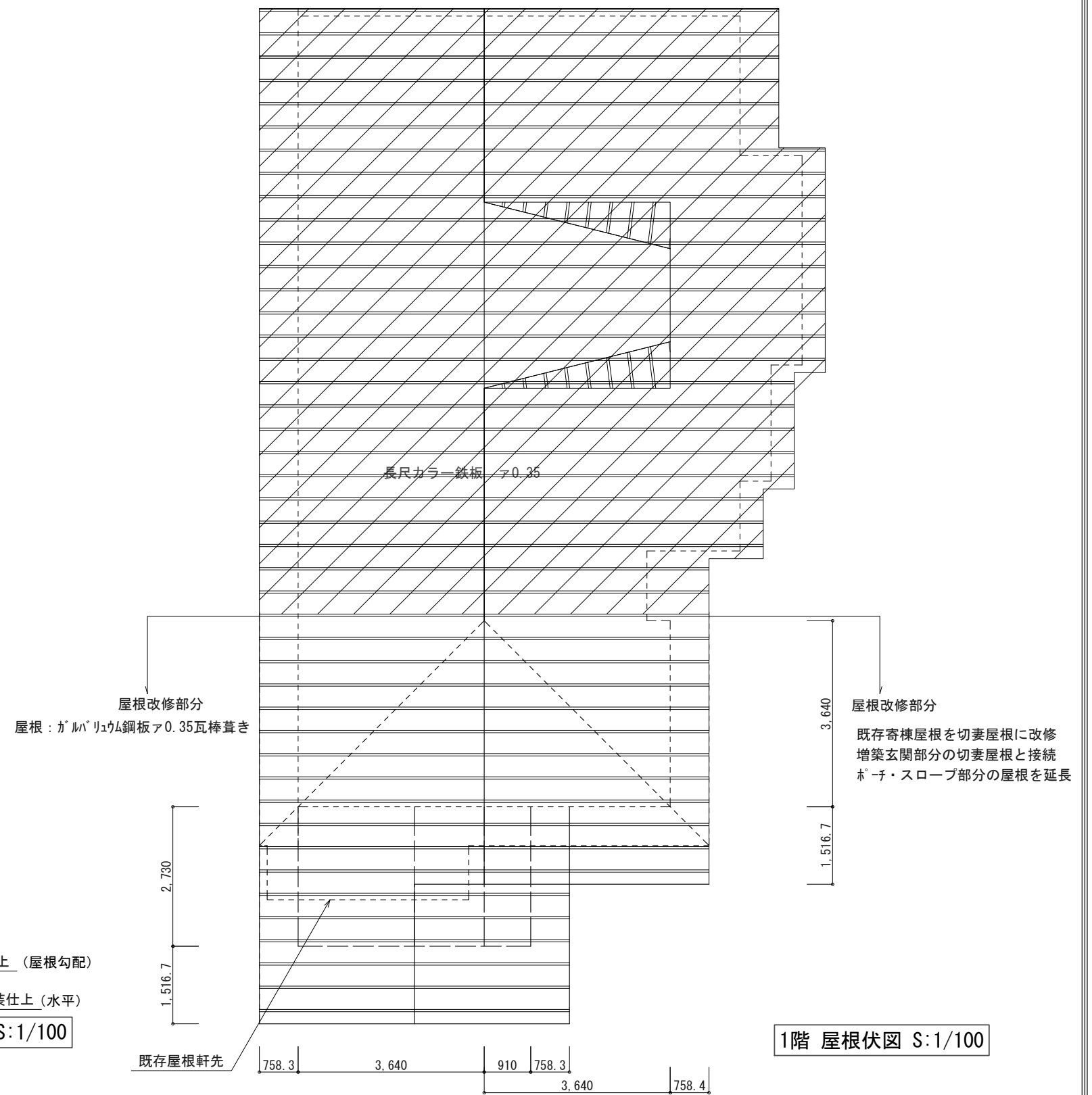
スロップ勾配 検討
 スロップ 全長=985+1,712+1,454+649=4,800
 高低差=GL+390~GL±0=390
 スロップ 勾配=390/4,800=1/12.30 < 1/12
 スロップ 有効幅員=階段併設の場合 1,018 > 900以上
 踊場巾=1,018 > 750以上
 スロップ 縁部+90立上り付
 手摺φ38アルミ同等品 (2段式)

1階 平面詳細図 S:1/50

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 増築・改修 平面詳細図②	図面No. A-25
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	日付	日付	日付	縮尺 1/50	

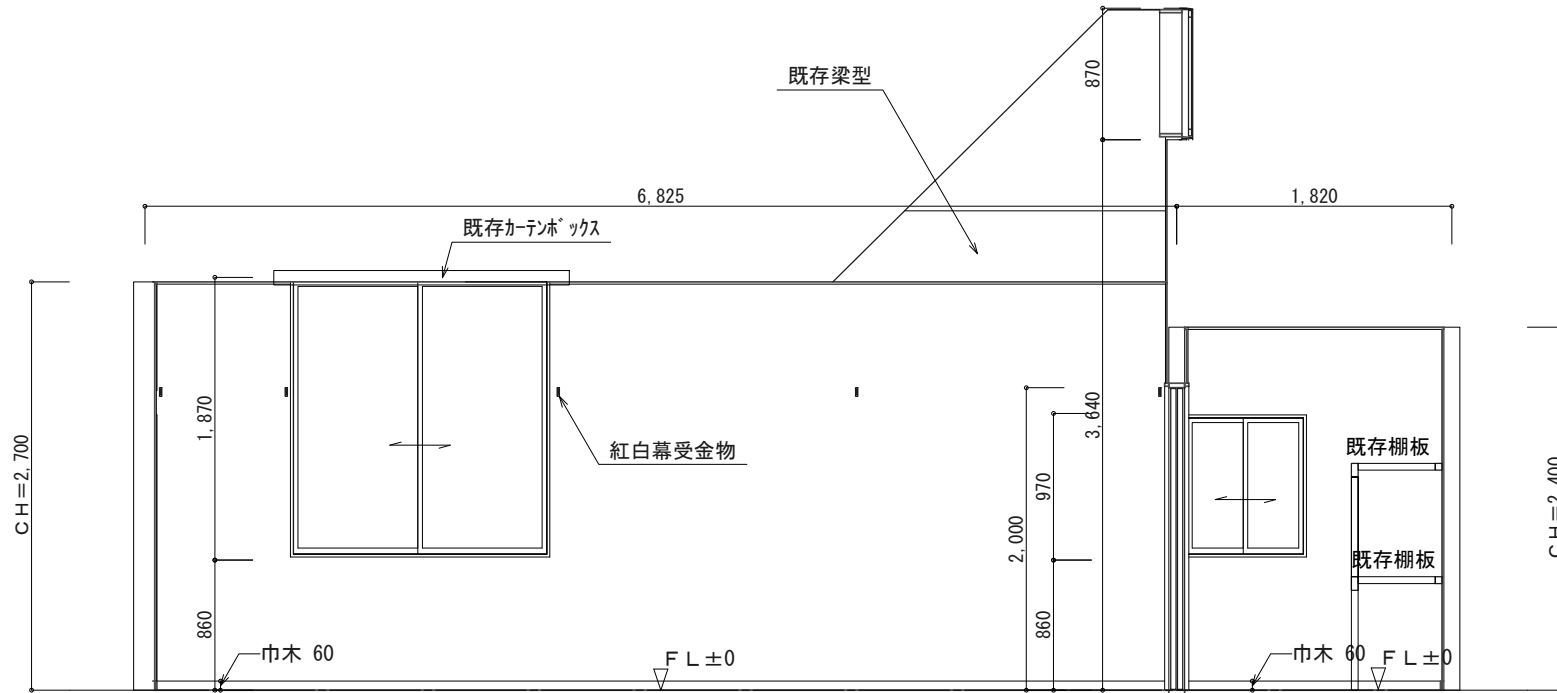


1階 天井伏図 S:1/100



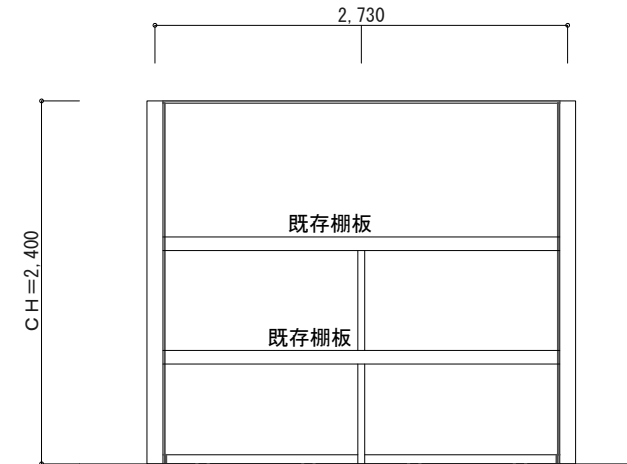
1階 屋根伏図 S:1/100

<p>工事名 令和3年度とちの木会館改修工事</p>	<p>株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号</p>	<p>管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号</p>	<p>設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号</p>	<p>担当者 日付</p>	<p>図面名 増築・改修 天井・屋根伏図</p>	<p>図面 No. A-26-2</p>
<p>備考</p>	<p>宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555</p>	<p>日付</p>	<p>日付</p>	<p>日付</p>	<p>縮尺 1/100</p>	



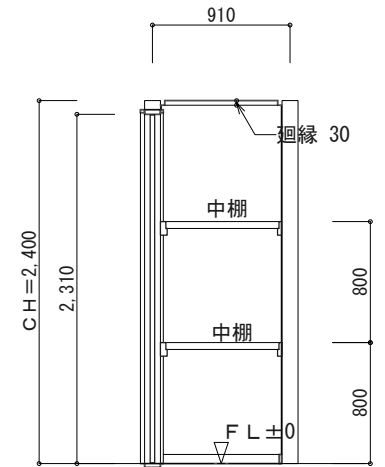
1面

集会室N01・備品庫

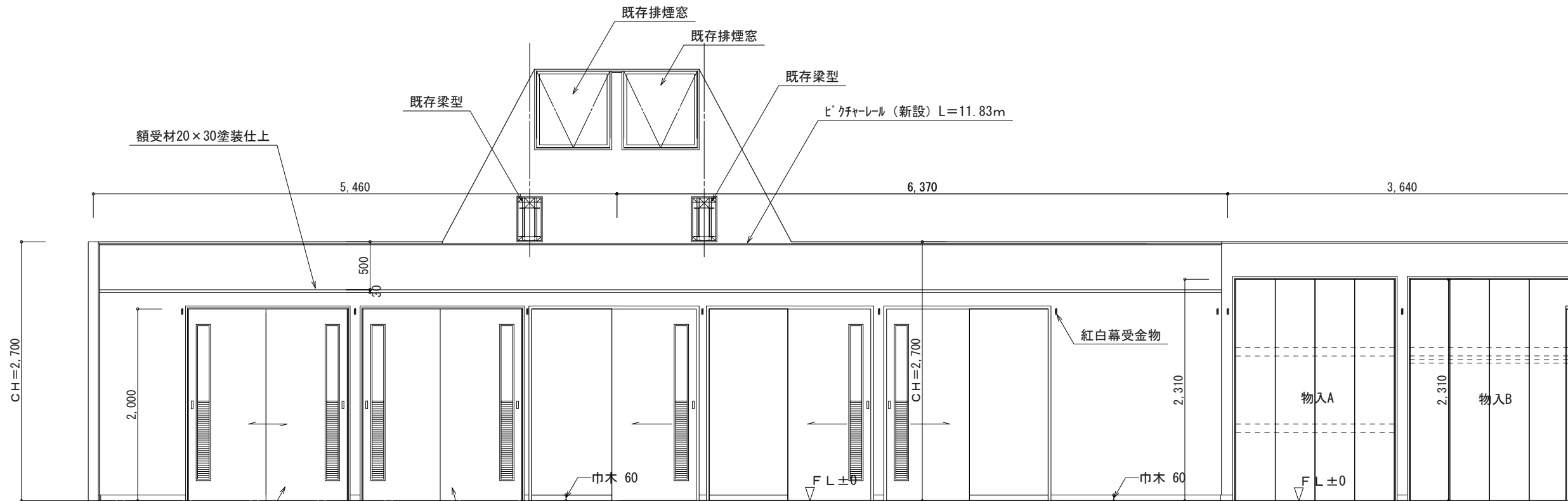


2面

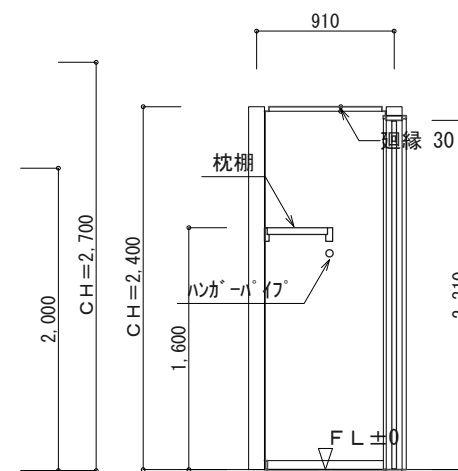
部屋名	物入
床	WPCフローリング 合板 t=12
巾木	既製品 H=60
壁	石膏ボード 厚12.5 ビニールクロス
腰壁	
天井	石膏ボード 厚9.5 ビニールクロス
廻縁	木製
備考	



1面 物入A



2面



3面 物入B

工事名	令和3年度とちの木会館改修工事
備考	

株式会社 池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	
宮城県富谷市三関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555</small>	

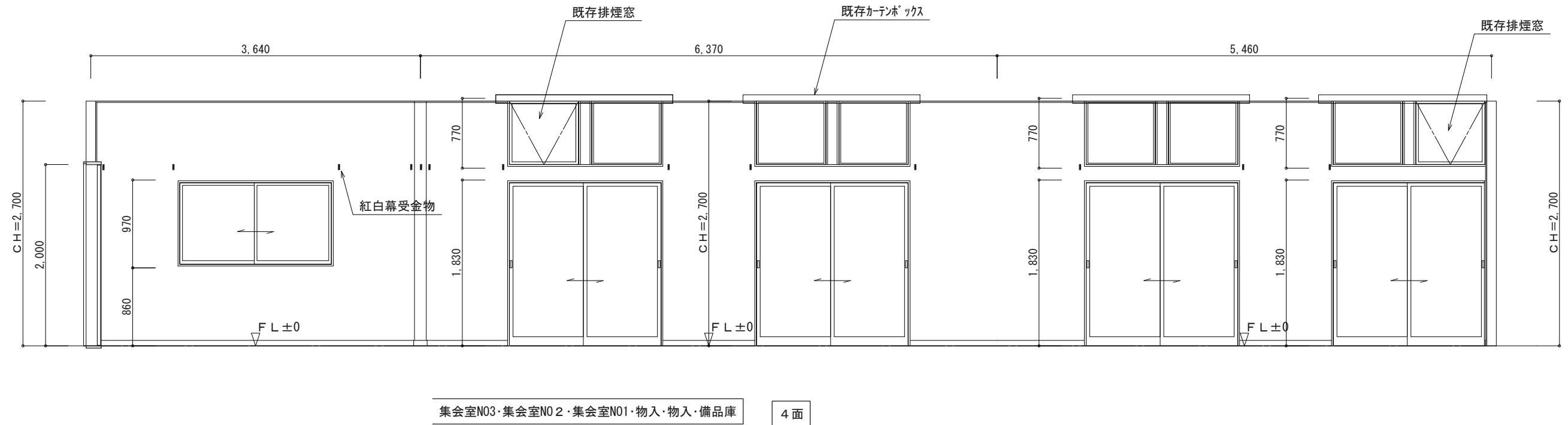
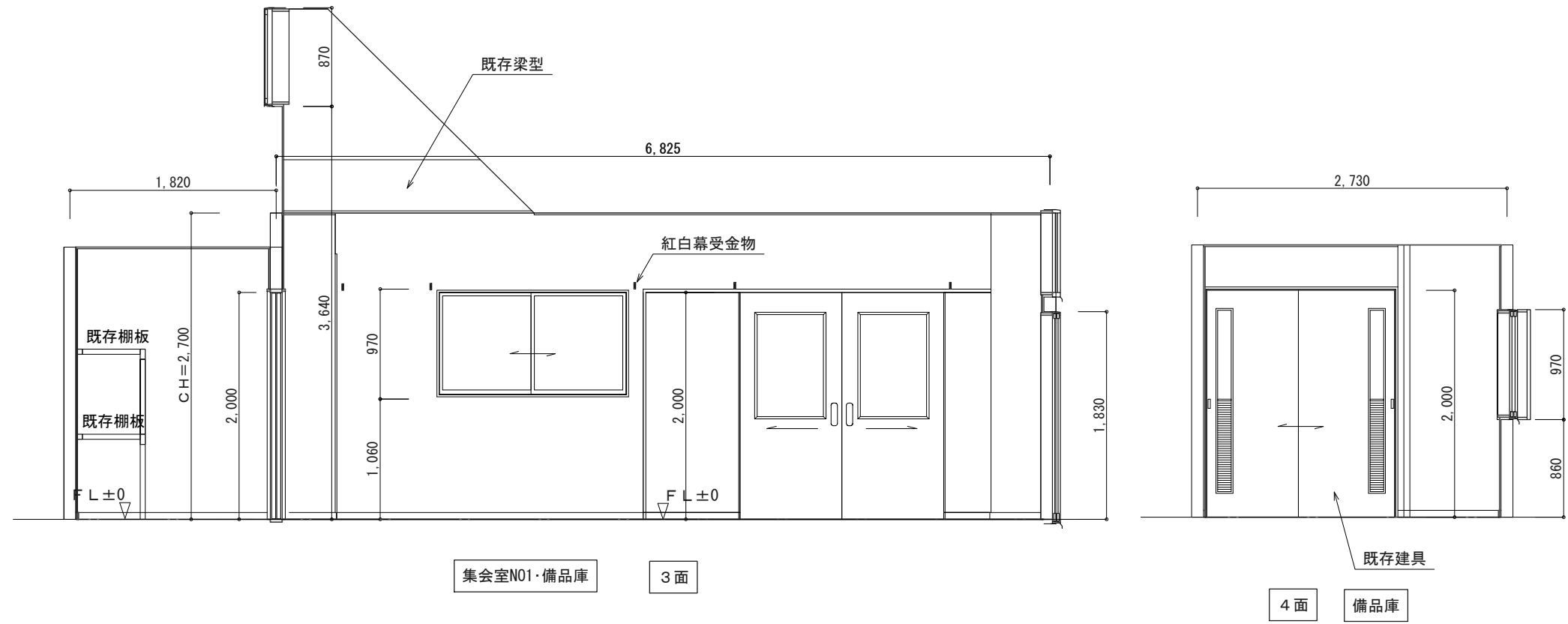
管理者	池下 久幸 一級建築士 第280837号
設計者	池下 久幸 一級建築士 第280837号
担当者	
日付	

図面名	増築・改修 展開図①
縮尺	1/50

図面No.	A-27
-------	------

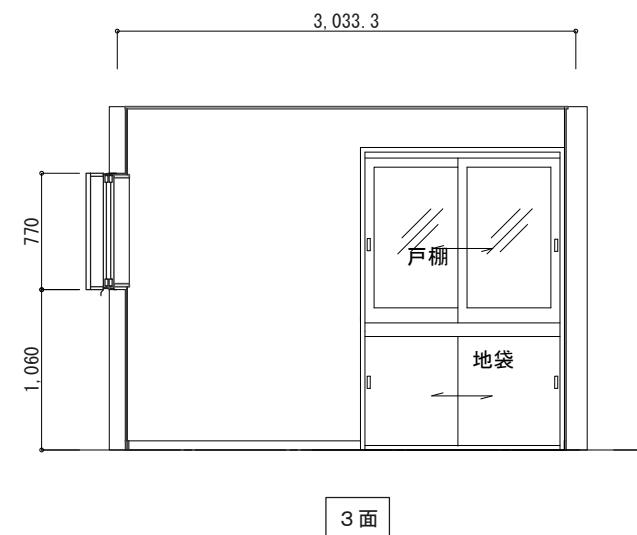
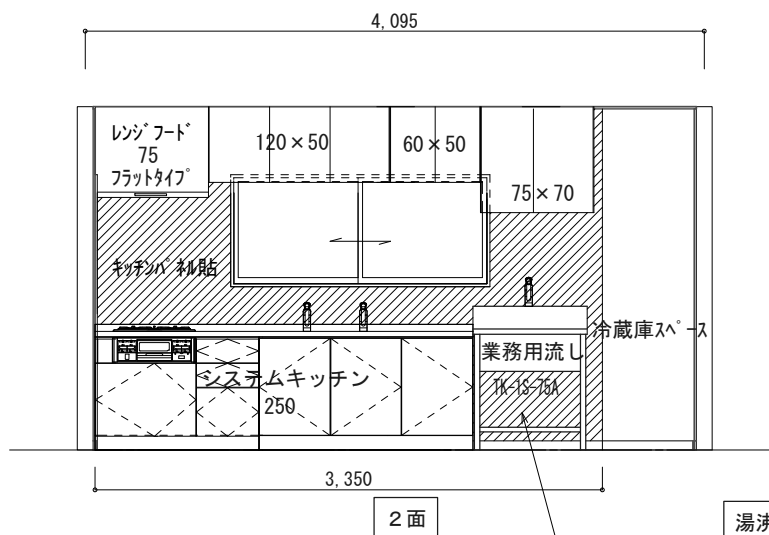
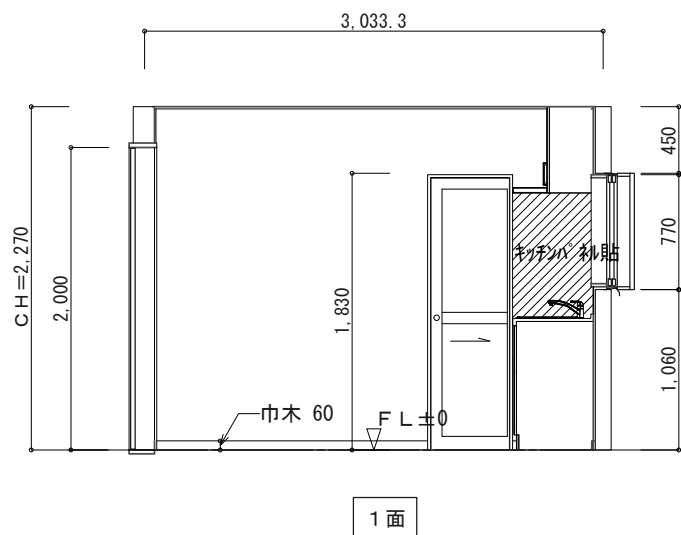
部屋名	備品庫
床	フローリング 合板 t=12
巾木	既製品 H=60
壁	ビニルクロス
腰壁	
天井	石膏ボード ア9.5捨貼 ビニルクロス 下地: 既存ジブトーン ア9
廻縁	プラスチック
備考	

部屋名	集会室
床	フローリング 合板 t=12
巾木	既製品 H=60
壁	ビニルクロス
腰壁	
天井	石膏ボード ア9.5捨貼 ビニルクロス 下地: 既存ミネラトーン ア12
廻縁	既製品(既製品)
備考	

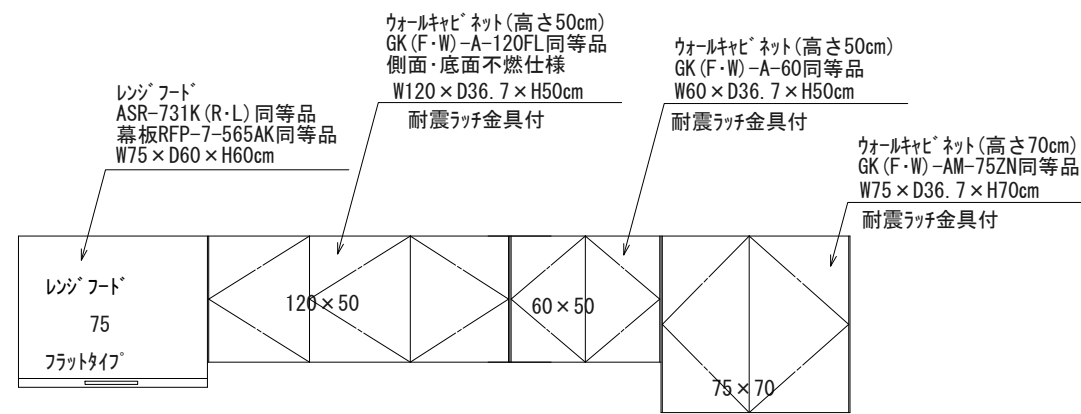
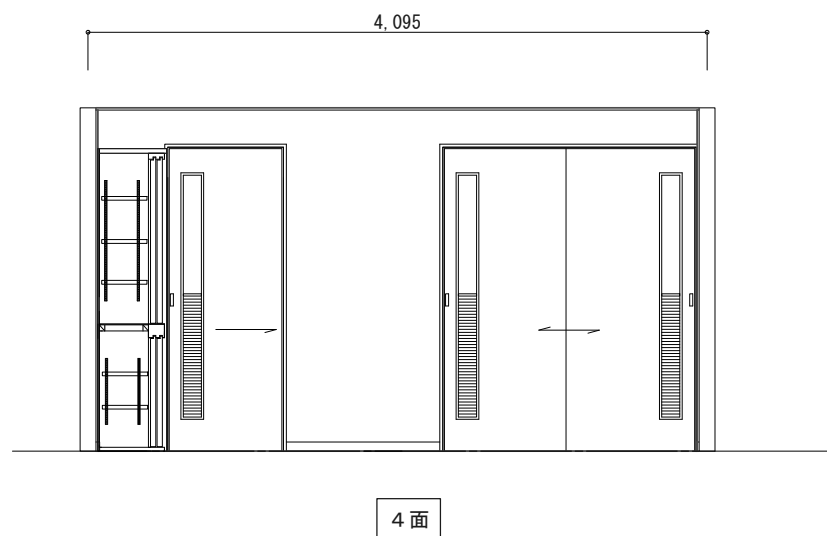


工事名	令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名	増築・改修 展開図②	図面No. A-28
	備考		宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	日付	日付	日付	縮尺 1/50	

部屋名	湯沸し室
床	クッションフロア t=2.3
巾木	木製既製品
壁	ビニルクロス 流し前壁：キッチンパネル
腰壁	
天井	石膏ボード ア9.5捨貼 ビニルクロス 下地：既存シフトン ア9
廻縁	既製品廻縁
備考	



バックハート H150×60
一槽シンク 槽深280
間口750奥行750高さ800
オーバーフロー、排水トラップ 180φ付

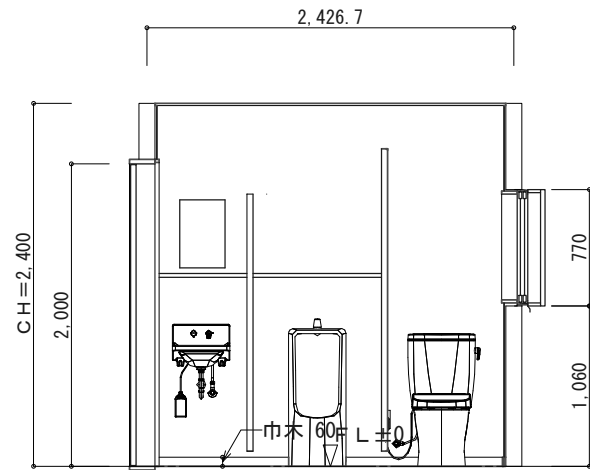


レンジフード・ウォールキャビネット詳細図 S=1/30

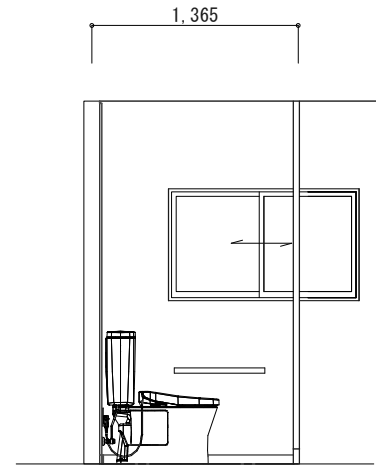
Lixil取り替えキッチン パットりくん同等品

工事名	令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 増築・改修 展開図③	図面No. A-29
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555		日付	日付	日付	縮尺 1/50、1/30	

部屋名	男子 トイレ
床	クッションフロア t=2.3
巾木	木製既製品
壁	耐水ビニルクロス
腰壁	
天井	石膏ボード 9.5 ビニルクロス
廻縁	木製既製品
備考	紙巻器 トイレキャビネット

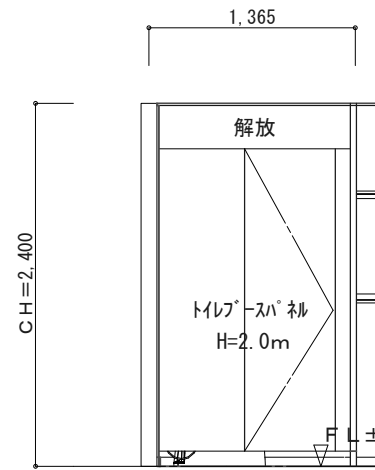


1面

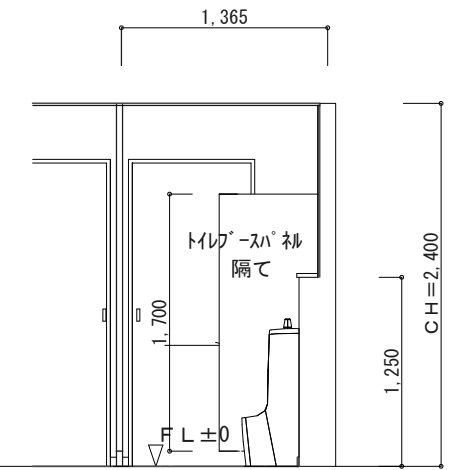


2面

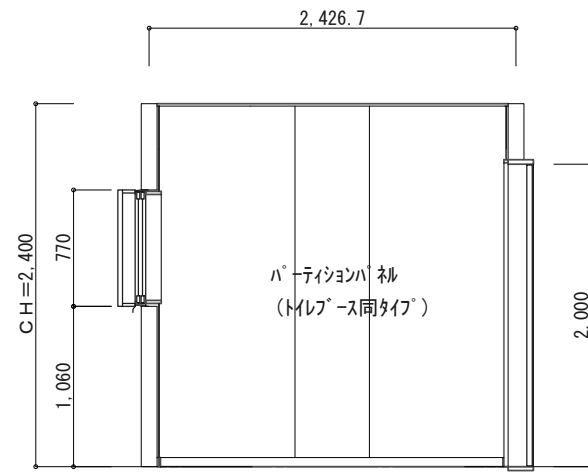
男子トイレ



2面

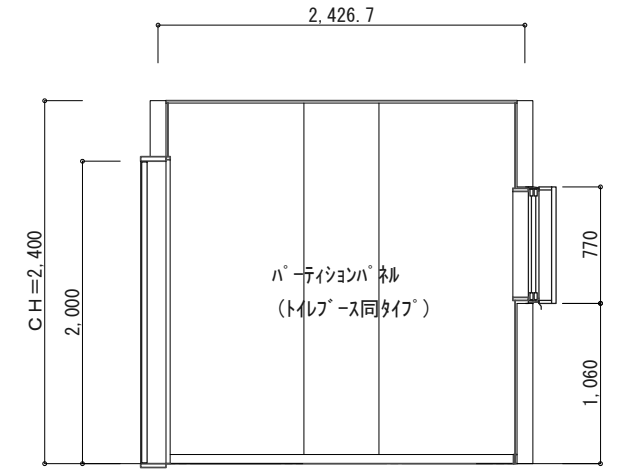


4面

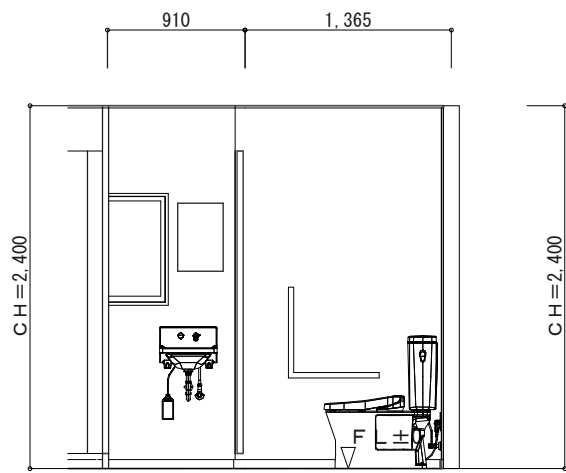


3面

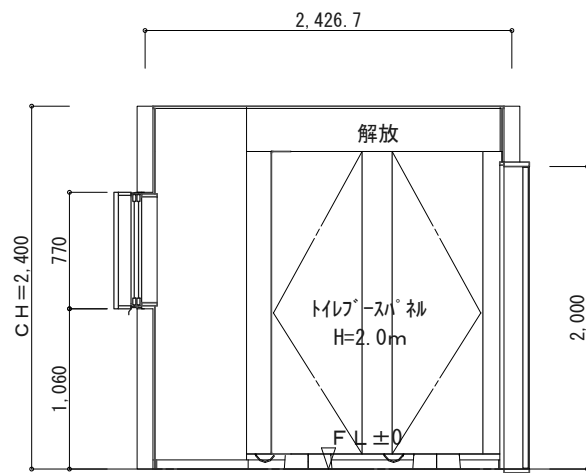
部屋名	女子 トイレ
床	クッションフロア t=2.3
巾木	木製既製品
壁	耐水ビニルクロス
腰壁	
天井	石膏ボード 9.5 ビニルクロス
廻縁	木製既製品
備考	紙巻器 トイレキャビネット



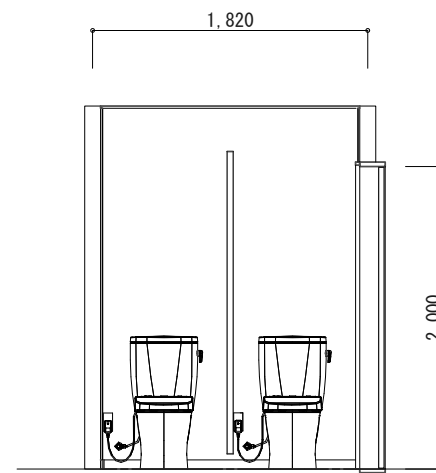
1面



2面

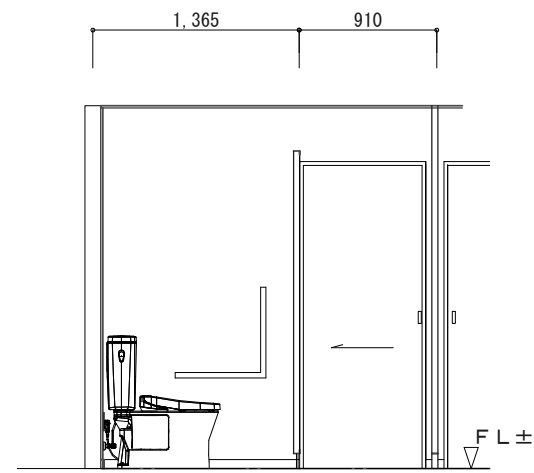


3面



3面

女子トイレ



4面

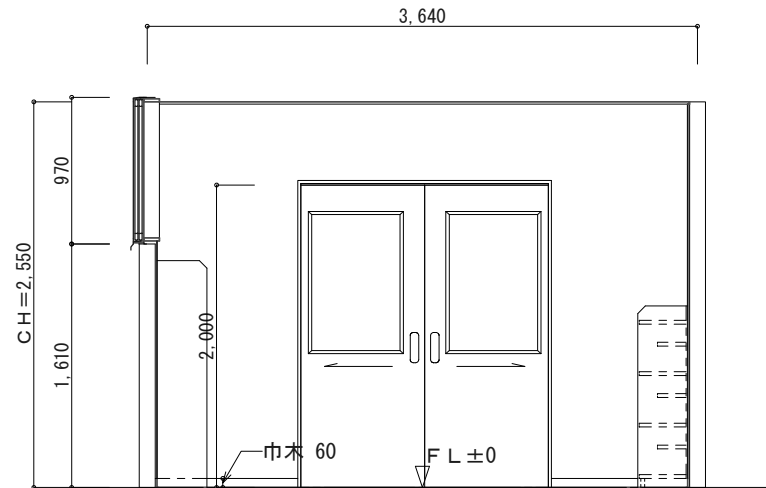
工事名	令和3年度とちの木会館改修工事
備考	

株式会社 池下建築設計	
事務所登録 宮城県 第21610219号	
宮城県富谷市三関三枚橋27-3	
TEL 022-348-8555	FAX 022-348-8555

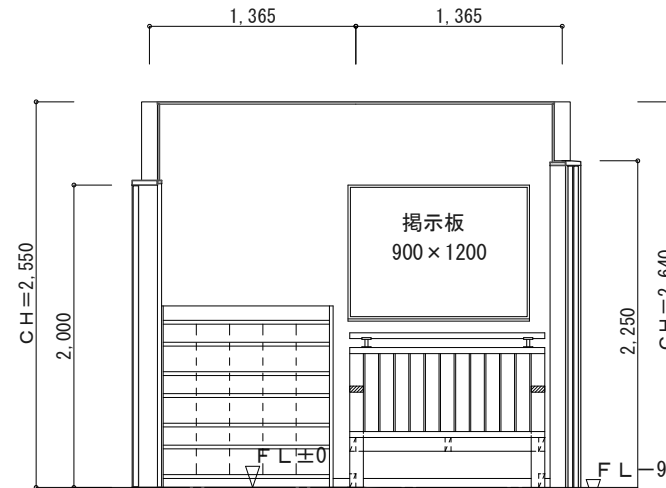
管理者	池下 久幸	設計者	池下 久幸	担当者	
	一級建築士 第280837号		一級建築士 第280837号		
日付		日付		日付	

図面名	増築・改修 展開図④	図面No.	A-30
	縮尺 1/50		

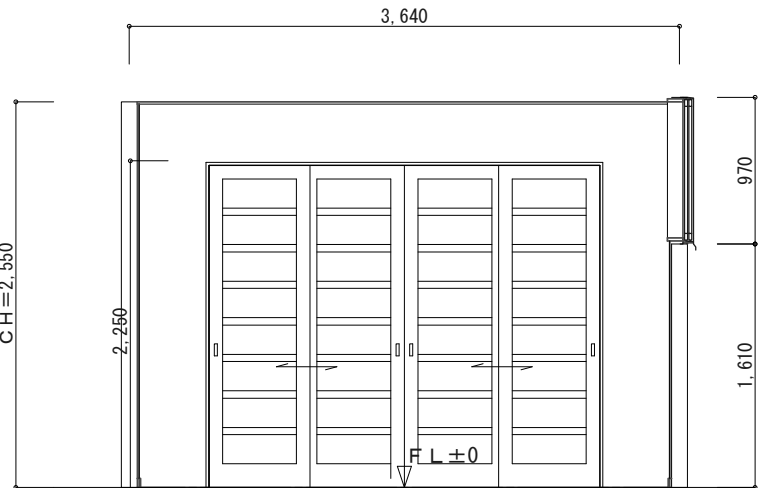
部屋名	ホール・玄関
床	フローリング 合板 t=12、磁器タイル100角
巾木	木製既製品
壁	ビニール張
腰壁	
天井	ビニール張
廻縁	木製既製品
備考	



1面

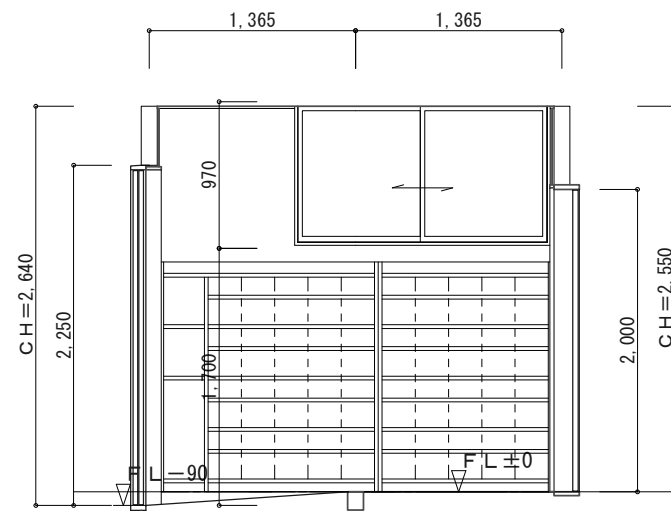


2面



3面

ホール・玄関



4面

工事名	令和3年度とちの木会館改修工事
備考	

株式会社 池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	
宮城県富谷市三関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555</small>	

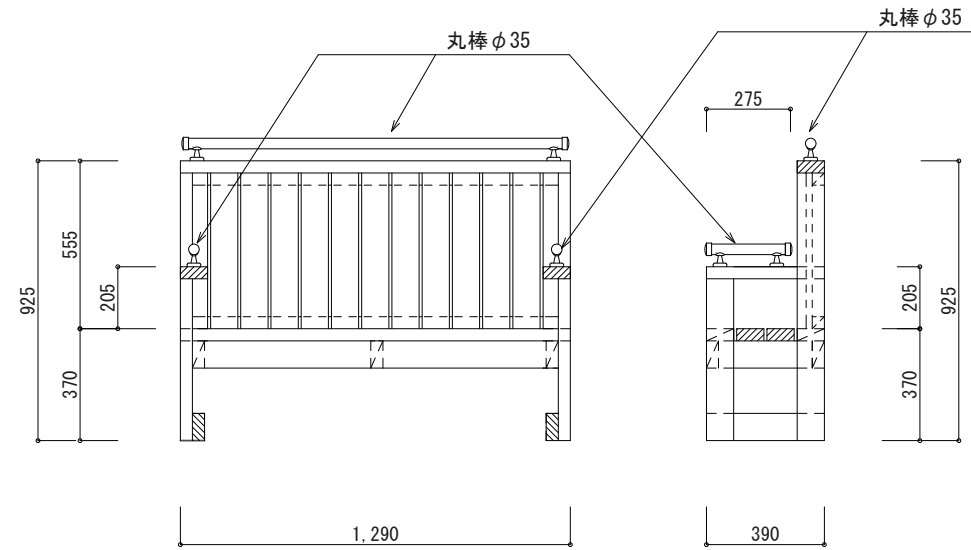
管理者	池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>
日付	

設計者	池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>
日付	

担当者	
日付	

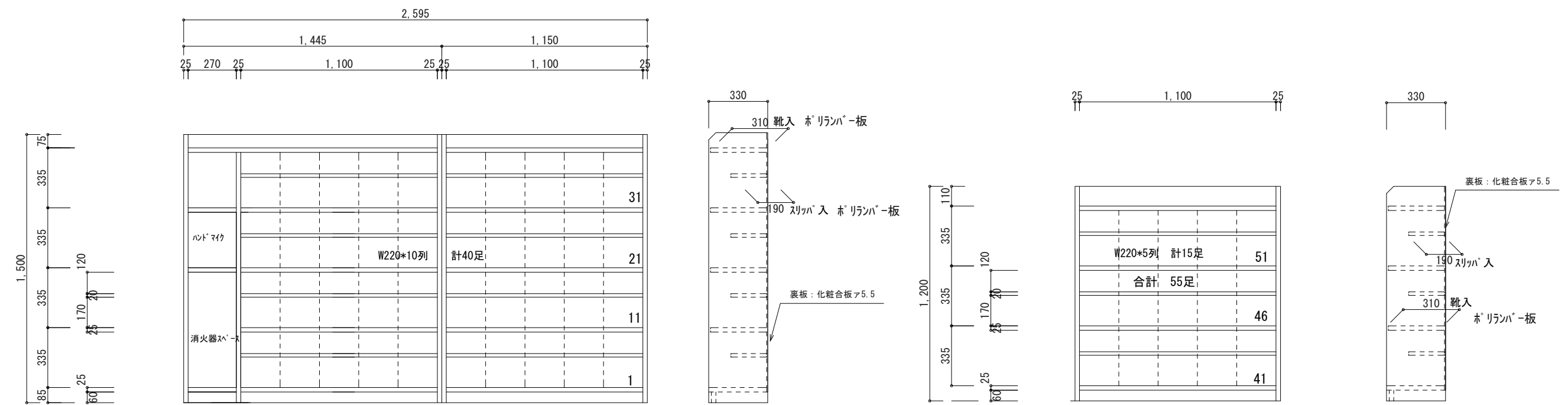
図面名	増築・改修 展開図⑤
縮尺	1/50

図面 No.	A-31
--------	------



木製ベンチ 詳細図 S=1/25

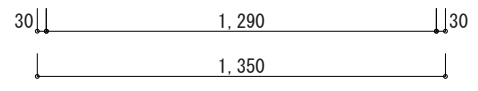
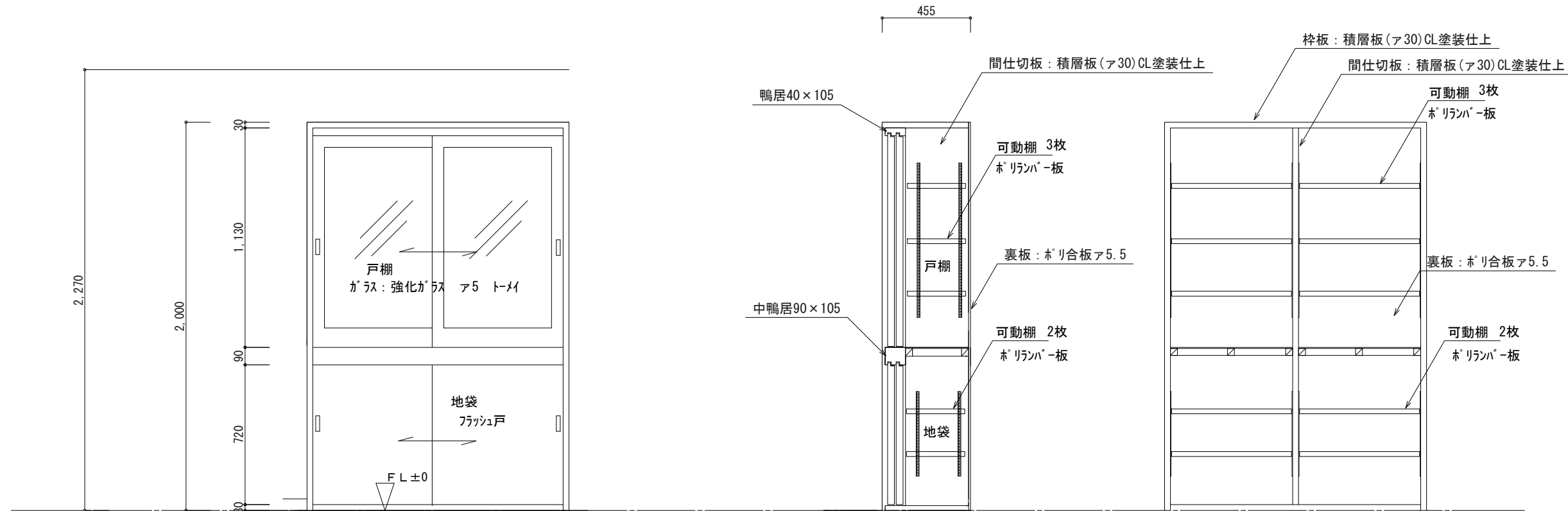
材質：2' × 4' 材 CL塗装仕上
 背もたれ板：1' × 4' 材 CL塗装仕上（受材2' × 2' 材）



下駄箱 詳細図 S=1/25

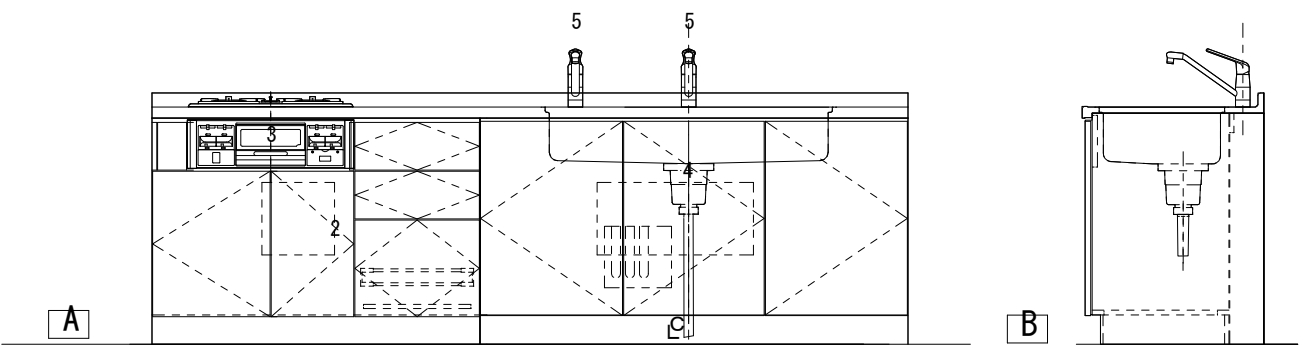
材質：積層板（スリッパ棚ア20、側板ア25）CL塗装仕上
 靴入れ棚板材質：ホーリソナー板（ア25）

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者 日付	図面名 下駄箱・木製ベンチ 詳細図	図面No. A-32
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	日付	日付	日付	縮尺 1/25	A-32



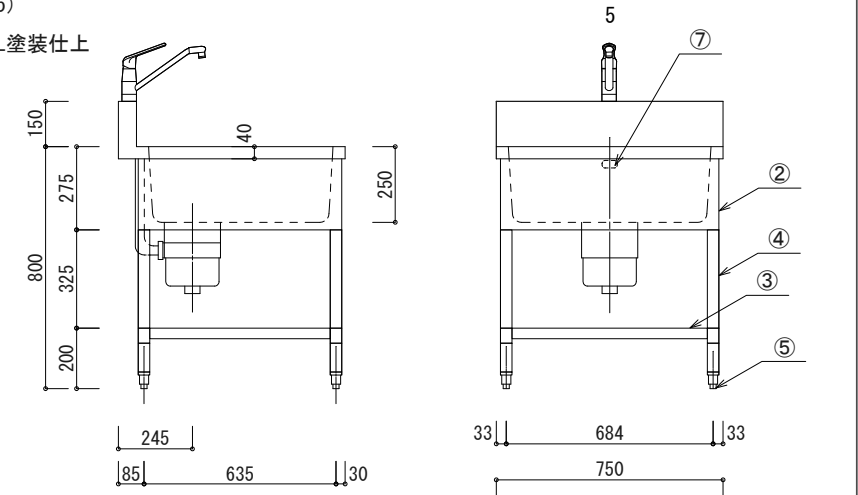
食器戸棚 詳細図 S=1/25

棚材質:ホリ合板(棚板ア25)
戸棚枠材質:積層板(ア30)CL塗装仕上



業務用シンク

部番	品名	材質	備考
①	トップ(シンク)	SUS430	t 1.0 No. 4仕上
②	化粧板	SUS430	t 0.6 No. 4仕上
③	スノコ板	SUS430	t 1.0 No. 4仕上 排水口ゴムリング付
④	脚	SUS304	t 1.0 φ38
⑤	アジャスト	SUS304	
⑥	排水金具	ホリ合板	50A φ186キングドレン
⑦	オーバーフロー	塩ビ	金具: SUS304
⑧	水栓		シングルレバーエコ栓 TKG631EC2同等品



システムキッチン

レンジフード・ウォールキャビネットの詳細は展開図A-29参照

参考品名	リクシル パットりくん 同等品		
シリーズ	GXシリーズ : GXI-U-25ORNAGP (R) 同等品		
扉カラー	木製扉 (DAP化粧板又は特殊樹脂化粧板) 7体リ		
トップ	ステンレス/シルクエンボス		
部材リスト			
品名	品番	数	備考
1 ステンレスカウンタートップ		1	シルクエンボス フレンジ付ジャンボシンク
3 ホーロートップタイプ (ハマン製)	H1633BORHK同等品	1	無水片面焼グリル・ブラック
5 シングルレバーエコ水栓	TKG631EC2同等品	2	寒冷地用
6 側板フィルター		1	

業務用シンク S=1/25

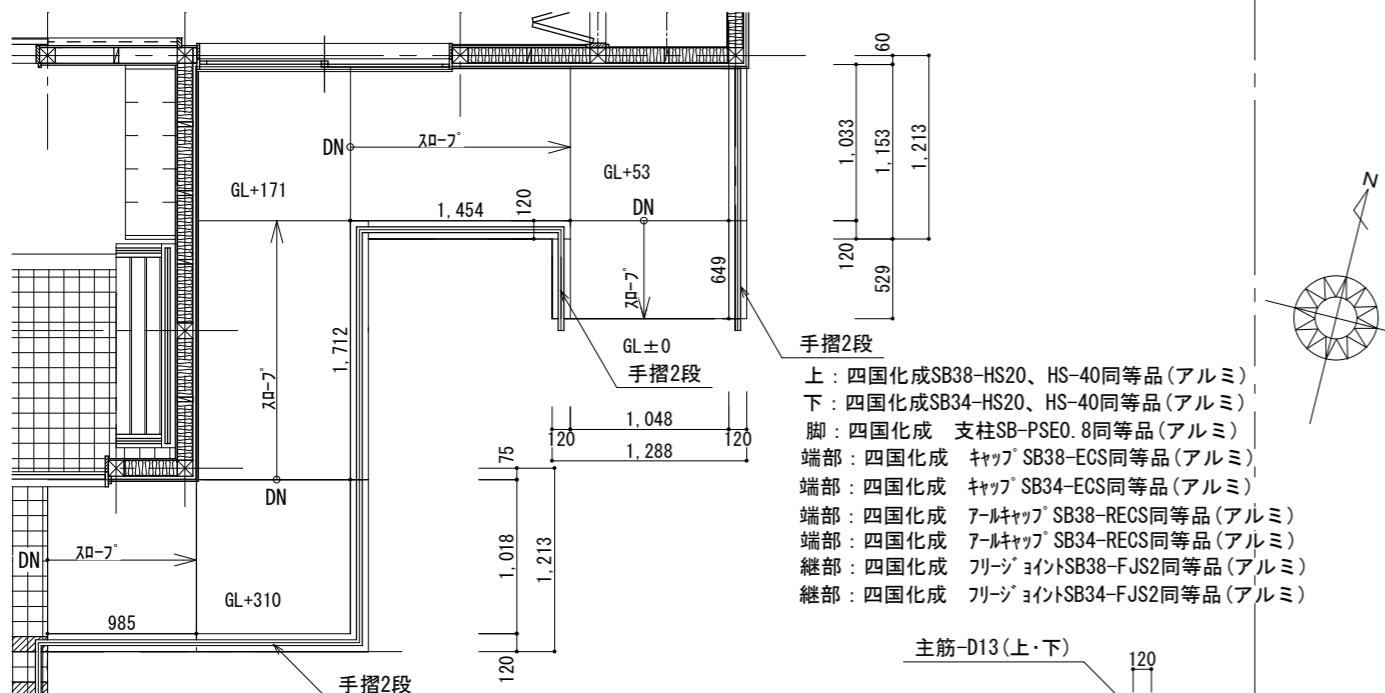
工事名 令和3年度とちの木会館改修工事
備考

株式会社 池下建築設計
事務所登録 宮城県 第21610219号
宮城県富谷市三関三枚橋27-3
TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555

管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号
設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号
担当者 日付

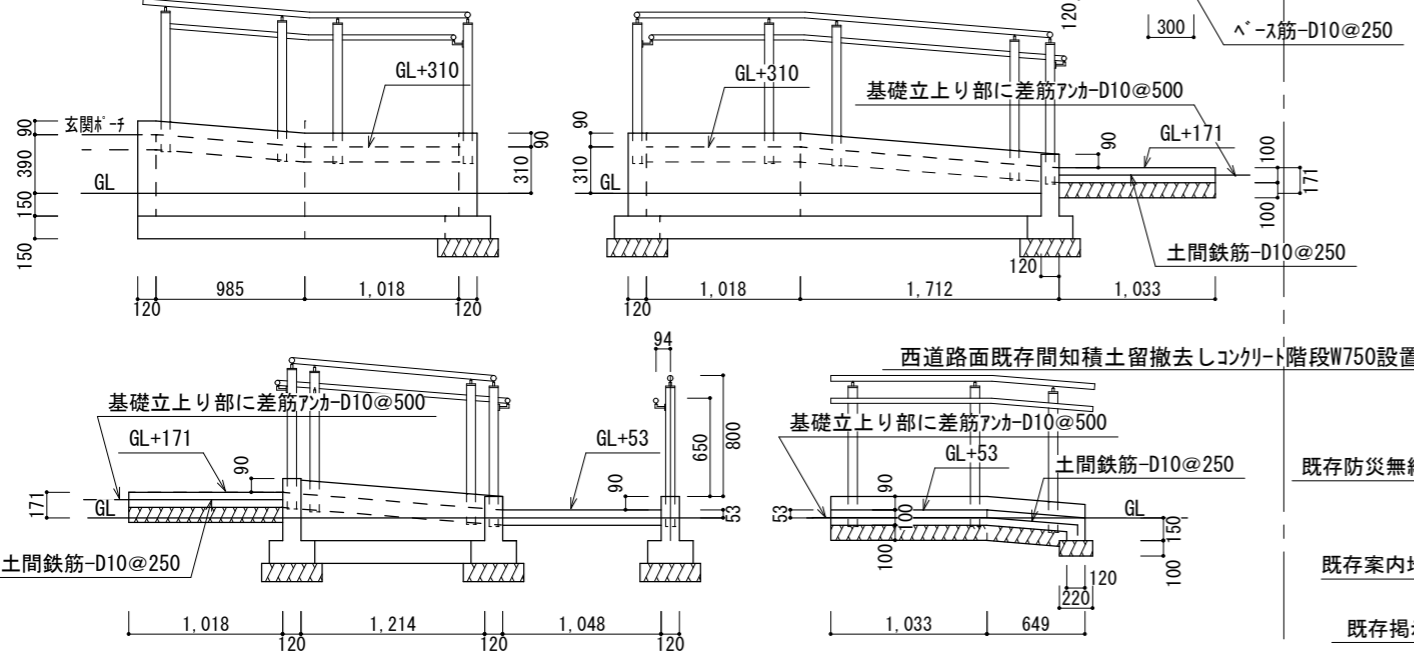
図面名 食器戸棚・システムキッチン 詳細図
縮尺 1/25

図面No. A-33



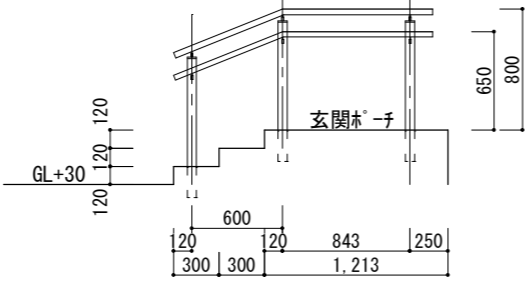
玄関スロープ詳細図 S:1/50

スロープ 縁部+90立上り付
手摺φ38アルミ同等品(2段式)

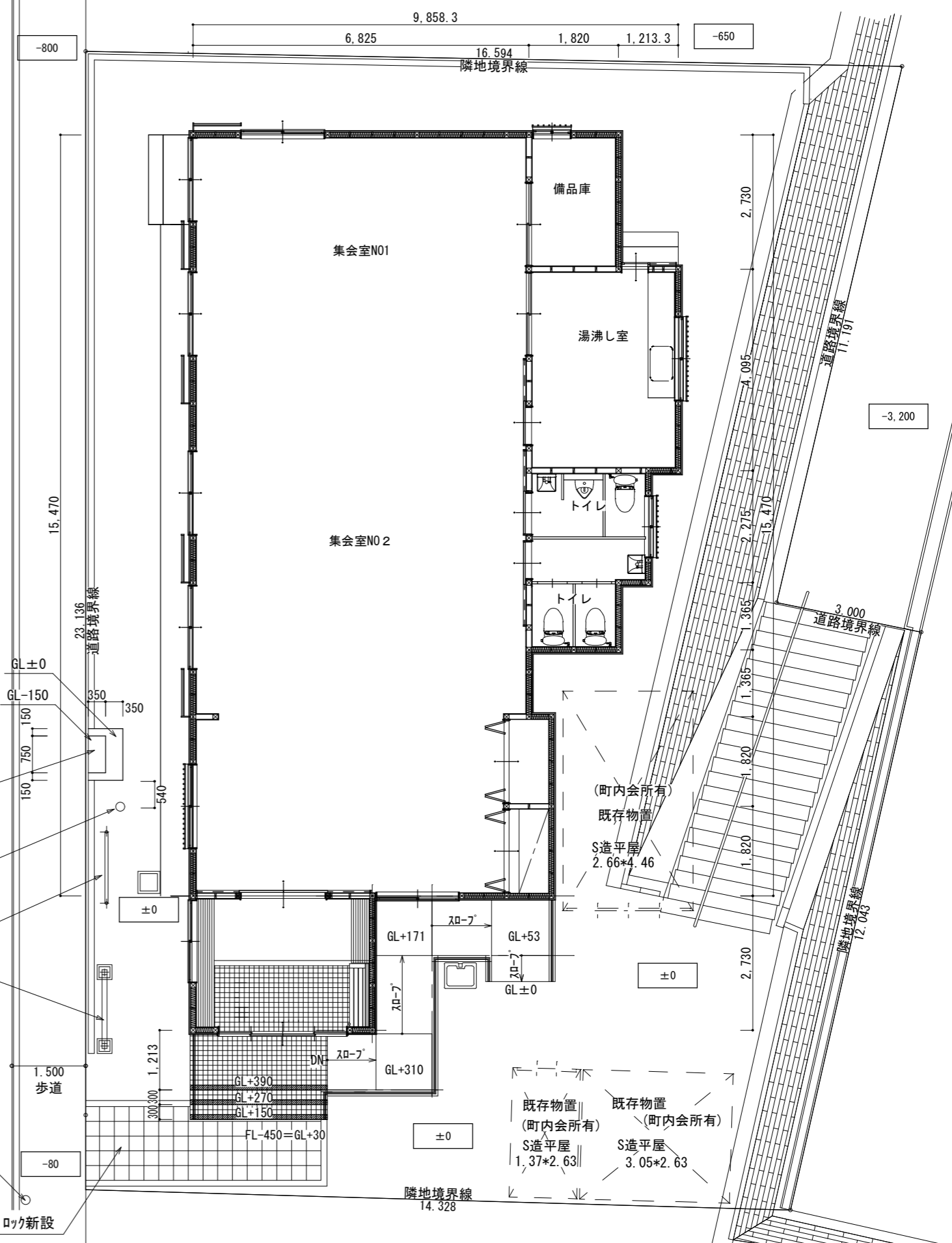
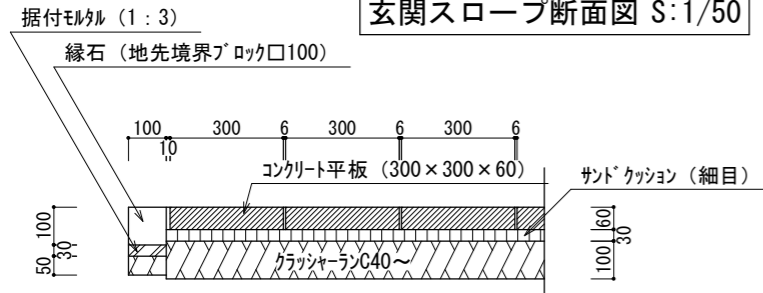


玄関スロープ断面図 S:1/50

玄関ホーチ西側手摺 S=1/50



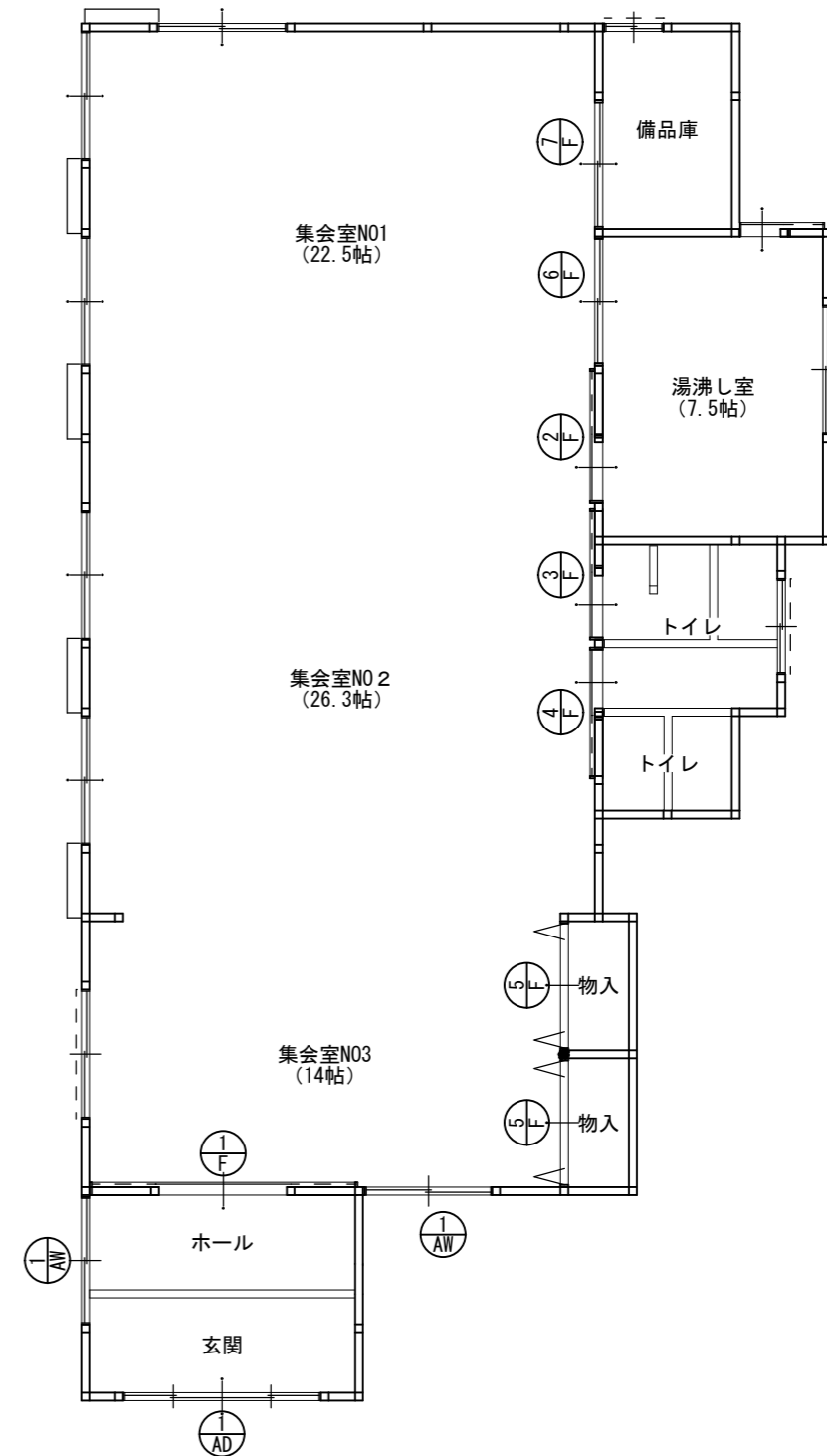
アプローチコンクリート平板敷き舗装 S=1/20



工事名	令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計	管理者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	日付	図面名	外構図	図面No.	A-34
備考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	日付	日付	日付	日付	縮尺	1/100				

記号	①AD 1ヶ所	①AW 2ヶ所	①F 1ヶ所
姿 図			
部 屋 名	1階玄関	1階ホール, 集会室N03	1階ホール
型 式	4枚引違い(半外)	2枚引違い(半外)	引分け
材 質	アルミ製	アルミ+樹脂製	フラッシュ
見 込	100	70	
仕 上	ブロンズ	ブロンズ/ホワイト	
ガ ラ ス	トメイ	トメイ ヘアガラス	アクリル板
金 物	附属金物一式、網戸	附属金物一式、網戸	附属金物一式
備 考	既製品建具対応可能	既製品建具対応可能	既製品建具対応可能
記号	②F 1ヶ所	③F 1ヶ所	④F 1ヶ所
姿 図			
部 屋 名	1階湯沸し室	1階トイレ	1階トイレ
型 式	片引き	片引き	片引き
材 質	フラッシュ	フラッシュ	フラッシュ
見 込			
仕 上			
ガ ラ ス	アクリル板	アクリル板	アクリル板
金 物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備 考	既製品建具対応可能	既製品建具対応可能	既製品建具対応可能
記号	⑤F 2ヶ所	⑥F 1ヶ所	⑦F 1ヶ所
姿 図			
部 屋 名	1階物入	1階湯沸し室	1階備品庫
型 式	両折戸(内芯)	2枚引違い(内芯)	2枚引違い(内芯)
材 質	フラッシュ	フラッシュ	フラッシュ
見 込			
仕 上			
ガ ラ ス		アクリル板	
金 物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備 考	既製品建具対応可能	既製品建具対応可能	既製品建具対応可能

※新設建具について
床を水平に補修することに伴い、段差や傾斜が生じないように
建具枠下地を調整の上施工すること。



1階 建具配置図 S:1/100

工事名	令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 建具表	図面No. A-35
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555		日付	日付	日付	縮尺 1/75	

電気設備改修工事特記仕様書

- I. 工事概要
1. 工事名 _____
2. 工事場所 _____
3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(m ²)	建築面積(m ²)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考

4. 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工事種目	建物別及び屋外	工 事 種 別	屋 外	備 考
・電灯設備				
・動力設備				
・電熱設備				
・雷保護設備				
・受変電設備				
・電力貯蔵設備				
・発電設備				
・構内情報通信網設備				
・構内交換設備				
・情報表示設備				
・映像・音響設備				
・拡声設備				
・誘導支援設備				
・テレビ共同受信設備				
・監視カメラ設備				
・駐車場管制設備				
・防犯・入室管理設備				
・自動火災報知設備				
・中央監視制御設備				
・構内配電線路				外灯設備を含む
・構内通信線路				
・テレビ電波障害防除				
・その他工事	別紙仕様書による			

5. 指定部分 ※ なし ・ あり (工 期: 令和 年 月 日) (対象部分: _____)
6. 概成工期 ※ なし ・ あり (工事工期より _____ 日前)

II. 特記仕様書

1. 一般事項
- (1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編、平成31年版)」、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編、平成31年版)、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編、平成31年版)」による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は(/)図、建築工事の特記仕様書は(/)図による。
2. 特記事項
- (1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章	項	目	特 記 事 項
---	---	---	---------

1	① 適用基準等	※ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ※ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱(最新版) ※ 宮城工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成31年版) ・ 宮城県建築工事写真撮影要領(宮城県土木部制定 平成12年版)及び工事写真撮影ガイドブック<電気設備工事編>(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成30年版)
2	② 機 材 等	※ 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本産業規格及び日本農林規格のF☆☆☆☆規格品、塗装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
3	機材の品質・性能証明	本工事着手前に機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」(一社)公共建築協会)によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
4	保 険	本工事着手前に工事目的及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出する。
5	雇 用	本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
6	施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。
7	手続き	工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上、受注者が滞滞なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。
8	施工条件	別添の施工条件明示書による。
9	工事の一時中止	工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、工事の続行に備え中止期間中における工事現場の管理計画書を提出すること。本計画書には、中止時点における工事の出来高、搬入材料及び建設機械器具等の調査、中止期間中の体制及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。
10	工事実績情報の登録(CORINS)	請負額が500万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を、監督職員に提出のこと。
11	事故報告	施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
12	電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。
13	工用電力、水、他	本工事に必要な工用電力、水などの費用は引渡まですべて受注者の負担とする。
14	工用仮設物	構内につくることが ※ できる ・ できない
15	監督職員事務所	※ 設けない ・ 設ける(号・・・建築工事)
16	足場、さん橋類	・ 別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 なお、枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月改訂)によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならぬ。
17	工事表示板	※ 設置する 設置枚数 1枚 当繕工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部宮城編・設備室制定)により設置する。 ・ 設置しない

18. 工用通路 ※ 指定しない ・ 指定する(図示)
19. 発生材の処理等
- 発生材の処理
- ・ 引渡しを要するもの (_____)
 - ・ 特別管理産業廃棄物 (・ PCB使用機器 _____)
 - ・ 受入施設名・所在地: _____
 - ・ 現場において再利用を図るもの (_____)
 - ・ 再資源化を図るもの (_____)
- | 種 類 | 受 入 施 設 名 | 所在地 (km) | 備 考 |
|-----|-----------|----------|-----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
- ・ その他安定型廃棄物 (_____)
- ・ 受入施設名・所在地: _____
- ・ その他管理型廃棄物 (_____)
- ・ 受入施設名・所在地: _____
- PCBを含有する機器等については飛散、流出がないように適切な場所に保管し、工事完了後監督職員に引き渡す。
20. 残土処理 ※ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構外搬出
21. 耐震施工
- 耐震施工における設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」((独) 建築研究所監修) による。本工事の施設分類は(_____ 特定の施設 _____ 一般の施設 _____)で地域係数は1とし、設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお、()内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。
- | 設置場所 | 設計用標準震度 | | 特定の施設 | | 一般の施設 | |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 重要機器 | 一般機器 | 重要機器 | 一般機器 | 重要機器 | 一般機器 |
| 上層階、屋上及び塔屋 | 2.0 (2.0) | 1.5 (2.0) | 1.5 (2.0) | 1.0 (1.5) | 1.5 (2.0) | 1.0 (1.5) |
| 中層階 | 1.5 (1.5) | 1.0 (1.5) | 1.0 (1.5) | 0.6 (1.0) | 1.0 (1.5) | 0.6 (1.0) |
| 一階及び地下層 | 1.0 (1.0) | 0.6 (1.0) | 0.6 (1.0) | 0.4 (0.6) | 1.0 (1.5) | 0.6 (1.0) |
- 重要機器類
- ・ 配電盤 ・ 発電装置 ・ UPS装置 ・ 直流電源装置
 - ・ 交換機 ・ 受信機(自立型) ・ 中央監視装置 ・ 情報通信ラック
- 重量が100kg以下の軽量な機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)においても、耐震を考慮し、据付等を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。
22. 風圧加重 ※ 風速60m/s ・ _____ m/s
- ・ 雷保護設備受雷部 ・ 照明ポール・基礎 ・ テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト
23. 他工事との工事区分 他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。
24. 保温、結露防止 外部に面する壁、天井でF P板(スタイロホーム等)打込み箇所に取り付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。
25. 電線類 本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。
26. 合成樹脂製可とう管 合成樹脂製可とう管は、P F管(一重管)とし、温度による分類はタイプ-25とする。
27. 二種金属製可とう管 露出箇所 ・ ビニル被覆あり ・ ビニル被覆なし
いんべい箇所 ・ ビニル被覆あり ・ ビニル被覆なし
28. 電線本数、管路など 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受け変更してもさしつかえない。
29. インサート 鋼鉄製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート(亜鉛めっき製品)を使用する。
30. 呼び線 長さ1m以上の通線しない電線管には、1. 2mm以上のビニル被覆鉄線を通線する。
31. フラッシュプレート 図面に特記なき場合、(※ 金属製(ステンレス・新金属も含む) ・ 樹脂製)とする。
32. フロアプレート・ベース ※ 水平高低調節付(空転防止リング付) ・ 銅合金製 ・ アルミ合金製
33. ハンドホール蓋 県章およびチェーン(ステンレス製)付のものとする。
34. 支持金物、固定金物 屋外の機器及び配管に使用する支持金物(ボルト類)はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ(樹脂製)を取り付ける。
また、振動をとらぬ機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。
35. あと施工アンカー
- 施工方法
- ・ 接着系 (※ 有機系 ・ 接着剤)
 - ・ 金属拡張系 (※ 本体打込式 _____)
- 性能・施工確認 ※ 行わない ・ 行う
36. 接地極の種類・表示等
- 接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、EBの長さは1, 500mmとする。ただし、D=10は1, 000mm、W=30は1, 200mmとする。
- 該柱機器及び屋外灯用接地極の埋設は不要とする。
- | 接 地 の 種 別 | 記 号 | 接地抵抗値 | 接地極の規格、数量 |
|------------|--------------|--------|----------------------------|
| 雷保護設備用接地 | E LA | Ω以下 | E P × 2 |
| 雷保護設備用接地 | E LA | Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 連一 組 |
| 共同接地 | E A・E D・E LH | 10Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 3 連一 2組 |
| 共同接地 | E A・E C・E D | 10Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 3 連一 2組 |
| A種 | E A | 10Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 3 連一 2組 |
| B種 | E B | Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 2 |
| C種 | E C | 10Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 3 連一 2組 |
| D種 | E D | 100Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 1 |
| | | | |
| 構内交換機(隠極)用 | E t | Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 3 連一 組 |
| 本配線盤の保安装置 | E A t | 10Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 3 連一 2組 |
| 電話引込口の保安器 | E D t | 100Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 1 |
| 拡声増幅器 | E D a | 100Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 1 |
| 防犯装置用 | E S | Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 3 連一 組 |
| | | | |
| 測定用 | E o | _____ | E B (D=10又はW=30) × 1 |
| 避雷器用(低任用) | E LL | 10Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 3 連一 2組 |
| 避雷器用(高任用) | E LH | 10Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 3 連一 2組 |
| 避雷器用(モテム用) | E MD | 100Ω以下 | E B (D=14又はW=40) × 1 |
| 構造体接地 | | | 建築構造体利用(通信用も含む) |
37. 総合調整 各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。
・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 照明装置 ・ 構内交換設備
38. 塗装工事 下部部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
※ 屋外 ※ 居室
39. 山留め 切り取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。

40. 舗装工事 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 2 2 章(舗装工事)及び建築工事監理指針(下巻) 2 2 章(舗装工事)による。
41. はつり 既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。
42. 再使用機器 再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定のうえ、取り付ける。
43. 撤去後の補修等 機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は、既存仕上げと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は、原状に復旧する。
44. アスベスト アスベストについては、労働安全衛生法(石綿障害予防規則)・廃棄物処理法等に則り処理を行うこと。
アスベスト使用状況(_____)
45. 有害物質の取り扱い P C B (変圧器、コンデンサ、安定器等)、鉛・カドミウム(鉛蓄電池、小形二次電池等)、水銀、放射性物質(イオン化式感知器等)の有害物質の含有を搬出前に確認し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処理方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。

電 灯 設 備

1. 工事範囲

- ・ 配管 ・ 配線 ・ 分電盤類 ・ 機器類

2. 電気方式

- ・ 幹線 単相3線式 100/200V 50Hz
- ・ 分岐 単相3線式 100/200V
- ・ 分岐 単相2線式 100V

幹線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線

3. 施工方法

分岐 電灯 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他(_____)

コンセント ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ フロアダクト配線 ・ その他(_____)

屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線

ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製

4. 照明器具

L E D ・ 一体型 ・ 直管型(JEL801) ・ 直管型(JEL802) ・ ダウンライト ・ その他

5. 防災用照明器具

- ・ 非常用照明器具 (※ 電池内蔵形 ・ 電源別置形)
- ・ 誘導灯 (※ L E D誘導灯 ・ 誘導標識)

6. 照度測定 照度測定は、原則、本工事範囲全て行うものとするが、これにより難しい場合は監督職員との協議による。

7. ハイテンションアウトレット ※ 銅合金製 ・ アルミ製
※ 飛び出し形 ・ 外部固定形

8. 人感センサプレート 照明の人感センサ制御を行う部屋には、注意プレートを設置する。

9. 予備配管 埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が4個以下の場合は(P F 2 2)を1本、5個以上の場合は(P F 2 2)を2本以上、天井裏まで立上げる。
梁下に配管・配線スペースのない天井には、1スパンにV E (3 6) 2本を予備スリーブとして埋込む。

動 力 設 備

1. 工事範囲

- ・ 配管 ・ 配線 ・ 制御盤類

2. 電気方式

- ・ 幹線 三相3線式 200V 50Hz
- ・ 分岐 三相3線式 200V

3. 施工方法

- 幹線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他
- 分岐 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ その他
- 屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線
- ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製

4. 警報盤 ※ 壁掛形(電源装置 ※ 内蔵 ・ 別置)

5. 電磁閉閉器用押印 ※ 埋込連用形配線器具 (遠方操作用)

6. 機器への接続 電動機などへの接続は本工事とする。

7. 電動機等の接地 図示以外は金属管接地とする。

8. 進相用コンデンサ 各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。

9. 電気自動車充電装置

- ・ 機器類
- ・ 普通充電装置 電圧 相 V ・ 屋外型 ・ 屋内型
- ・ 急速充電装置 直流電圧 V

電 熱 設 備

1. 電気方式

- 幹線 相 線式 V 50Hz
- 分岐 相 線式 V

2. 施工場所及び面積

- ・ (_____ m²) ・ (_____ m²)

雷 保 護 設 備

1. 工事範囲

- ・ 受雷部 ・ 引下げ導線 ・ 接地極埋設

2. 受雷部

- ・ 突針 ・ 棟上導体 ・ 笠木(別途) など

3. 避雷導線

- ・ 引下げ導線 ・ 構造体利用

4. 接地極 ※ 接地極埋設 ・ 構造体利用(測定時期 _____ 回数 _____)

5. 測定用補助接地極

- ・ 設置

受 変 電 設 備

1. 工事範囲

- ・ 機器類

2. 電気方式

- ・ 高圧 三相3線式 6kV 50Hz
- ・ 低圧 三相3線式 200V ・ 低圧 単相3線式 100V/200V

3. 引込ケーブル

- ・ E M - C E T 3 8 " ・ E M - C E T 6 0 "
- ・ E M - C E 3 8 " - 3 C ・ E M - C E 6 0 " - 3 C






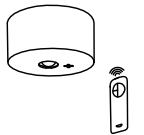


4. 配電盤

- ・ 屋内形 ・ 屋外形(防塵処理及び結露対策を施す)
- ・ キュービクル式配電盤 ・ 高圧閉鎖配電盤

5. 主遮断装置 ※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器(P F - S) ・ 高圧交流遮断器(C B)
定格遮断電流 k A

事務所登録 宮城県 第21610219号	工事名称 令和3年度とちの木会館改修工事	全業	図面番号
池下 久幸 一級建築士 第280837号	図面名称 電気設備改修工事特記仕様書①		E-1

照明器具姿図

<p>A iDシリーズ直付型40形 スリムベース</p>  <p>一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100~242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>パナソニック 直付XLX450SENTLE9同等品</p>	<p>B LEDポーチライト 60形電球1灯器具相当</p>  <p>電球色（2700K）、Ra83 器具光束515lm、消費電力7.1W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型 ツマミネジ方式、NaPiOn・明るさセンサー付 カバー：アクリル（乳白） 本体：プラスチック（ホワイト） 点灯照度調整機能付</p> <p>パナソニック LGWC80360LE1同等品</p>	<p>C LEDシーリングライト 30形丸形蛍光灯1灯器具相当</p>  <p>昼白色（5000K）、Ra83、拡散タイプ 器具光束1010lm、消費電力10.7W、電圧100V 本体：プラスチック（ホワイト） カバー：アクリル（乳白） 防湿型・防雨型、天井直付型・壁直付型、ネジ込み方式</p> <p>パナソニック LGW51784LE1同等品</p>
<p>D iDシリーズ直付型40形 スリムベース</p>  <p>一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100~242V 約10~100%連続調光型 本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>パナソニック 直付XLX420SENTLA9同等品</p>	<p>E iDシリーズ直付型20形 Dスタイル W150</p>  <p>一般タイプ、800lmタイプ 消費電力6W、定格出力型、電圧100~242V 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>パナソニック 直付XLX200AENCLE9同等品</p>	<p>F LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付</p>  <p>直付低天井用（~3m）、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号：L A L E - 0 0 4 レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイトつや消し仕上げ） 電圧：100~242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付、リモコン：FSK90910K（別売）</p> <p>パナソニック NNFB91005J同等品</p>
<p>G LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型</p>  <p>LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 片面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AM111-3209</p> <p>パナソニック FA20312LE1+FK20000同等品</p>	<p>H LEDシーリングライト 60形電球1灯器具相当</p>  <p>電球色（2700K）、Ra83 器具光束530lm、消費電力6、電圧100V 天井面・壁面取付専用 カバー：プラスチック（ホワイト） 送り用端子台付</p> <p>パナソニック LGB51655LE1同等品</p>	

凡例

記号	名称	取付高さ（参考）
	分電盤 リミッタースペース付 漏電ブレーカ（3P50/50AT）10回路	2200
	蛍光灯 姿図参照	
	非常照明 姿図参照	
	スイッチ 大角型確認表示灯付 1P15A×1 樹脂プレート（ネーム付）	1300
	スイッチ 大角型 3W15A×1 樹脂プレート（ネーム付）	1300
	照明スイッチは松下電工 コスモシリーズ ほたるスイッチ 同等とする。	
	換気扇スイッチ（作動表示灯付）	1300
	スイッチ 24時間換気用	1300
	壁付コンセント 大角型 2P15A×1 樹脂プレート	300
	壁付コンセント 大角型 2P15A×2 樹脂プレート	300
	壁付コンセント 大角型 2P15A×1 E付 樹脂プレート エアコン用	2100
	壁付コンセント 大角型 2P15A×2 ET付 樹脂プレート	300
	防雨型コンセント 2P15A×3 ET付	GL+500
	人感センサ	
	ジョイントボックス Fケーブル用	
	壁付電話用アウトレット 樹脂プレート	300
	テレビユニット用ボックス	300
	携帯用メガホン サイレン付 DC9V 15W（TOA ER-1115S同等）	
	非常呼出表示器（アイホン NR-BZLB27同等）ブザー付廊下灯	
	トイレ呼出鈕（アイホン NBR-7WA同等）、復旧ボタンNBR-2A-C同等品	900
	防雨入線カバー	1300
	給湯リモコン	900
	住宅用火災警報器（熱式）	

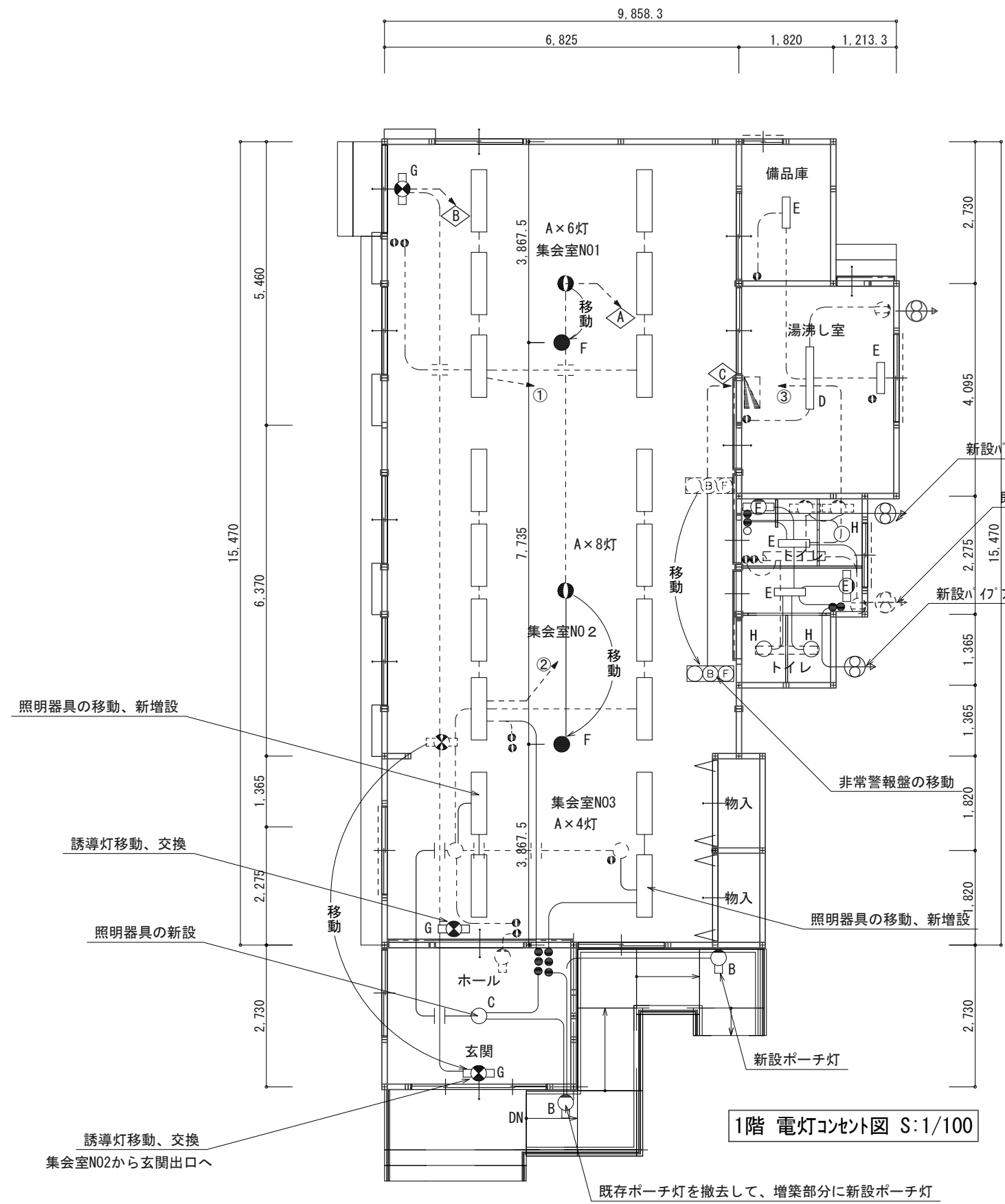
工事名	令和3年度とちの木会館改修工事
備考	

<p>株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号</p>	
<p>宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555</p>	

管理者	池下 久幸 一級建築士 第280837号
設計者	池下 久幸 一級建築士 第280837号
担当者	
日付	

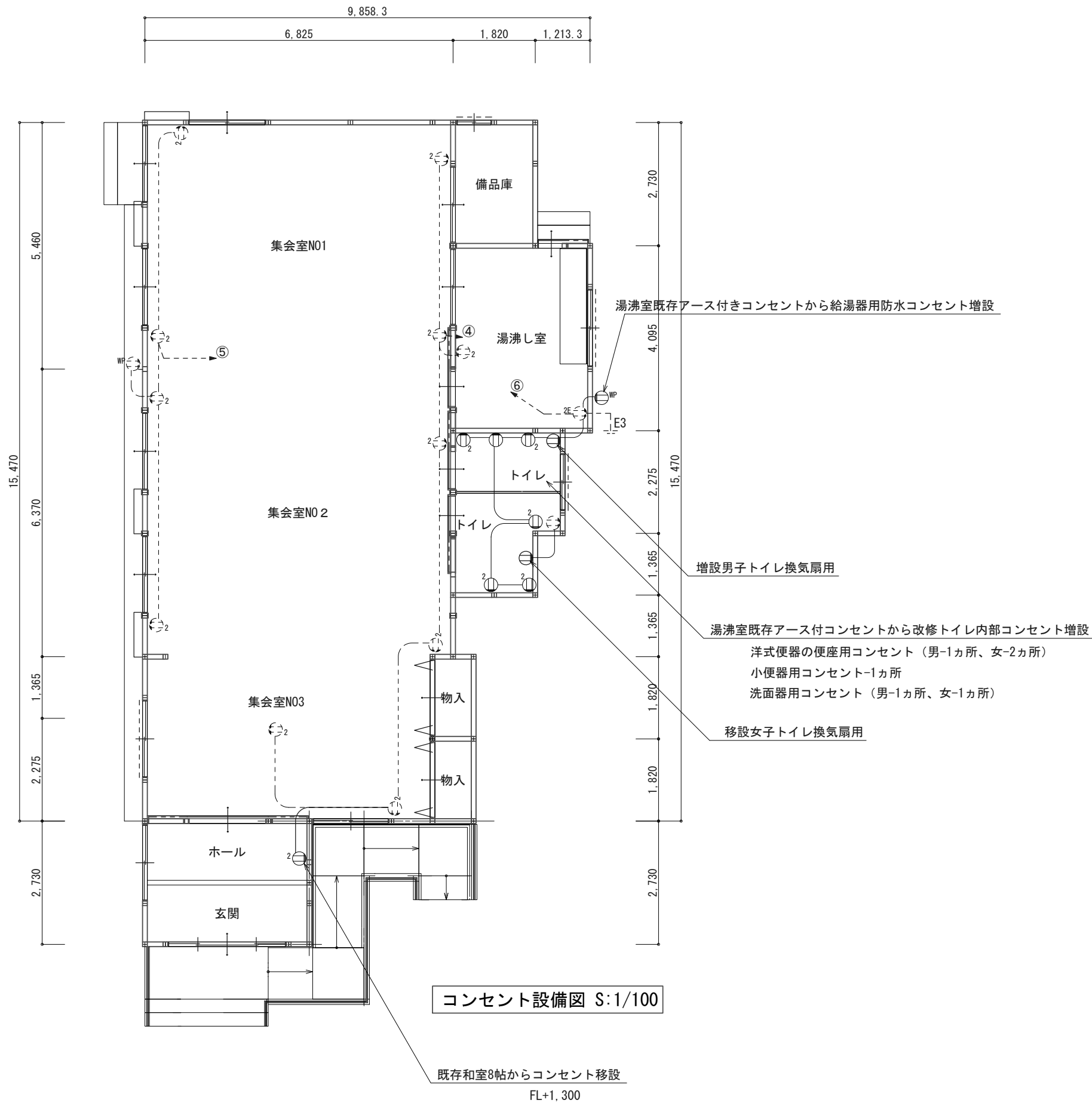
図面名	照明器具姿図、凡例
縮尺	1/100

図面No.	E-3
-------	-----



- 集会室N01** 既存照明器具を撤去して新設照明器具設置 A×6灯
 既存の配線・器具は再利用する(図中、破線部分で示す移動以外の部分)
 既存非常用照明を撤去、移動して新設非常用照明器具設置 F×1灯
 既存誘導灯をLED誘導灯に交換 G×1灯
- 備品庫** 既存照明器具を撤去して新設照明器具設置 E×1灯
 既存の配線・器具は再利用する(図中、破線部分で示す移動以外の部分)
- 集会室N02** 既存照明器具を撤去して新設照明器具設置 A×8灯
 既存非常警報盤を移動
 既存非常用照明を撤去、移動して新設非常用照明器具設置 F×1灯
 既存の配線・器具は再利用する(図中、破線部分で示す移動以外の部分)
- 集会室N03** 既存玄関ホール及び和室8帖の既存照明器具を撤去して新設照明器具設置 A×4灯
 増築部分玄関ホールに集会室N02及びN03の照明用スイッチを移動新設
 既存玄関の誘導灯をLED誘導灯に交換 G×1灯
 既存の配線・器具は再利用する(図中、破線部分で示す移動以外の部分)
- トイレ** 男トイレと女トイレに分けて、それぞれにスイッチ設置
 既存天井照明器具を撤去して新設照明器具設置 男・女 各E×1灯
 既存ブラケット照明器具を撤去して新設照明器具設置 男・女 各E×1灯
 既存の配線・器具は再利用する(図中、破線部分で示す移動以外の部分)
 既存換気扇撤去し、男・女に、それぞれにパイファン設置
 男・女洋便器天井部に、それぞれにLED照明設置
- 玄関・ホール** 既存部分から増築部分に移動して、既存天井照明器具を撤去し新設照明器具設置 C×1灯
 既存部分から増築部分に移動して、既存ポーチ照明器具を撤去し新設照明器具設置 B×1灯
 新設玄関スロープ登り口に新設照明器具設置 B×1灯
 既存集会室N02の誘導灯を玄関出口に移動し、LED誘導灯に交換 G×1灯
 既存の配線・器具は再利用する(図中、破線部分で示す移動以外の部分)

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号 宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 電灯配線図	図面No. E-4
		日付	日付	日付	縮尺 1/100	



工事名	令和3年度とちの木会館改修工事
備考	

株式会社 池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	
宮城県富谷市三関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555</small>	

管理者	設計者	担当者
池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	
日付	日付	日付

図面名	コンセント設備図
縮尺	1/100

図面No.	E-5
-------	-----

機械設備改修工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称 _____
2. 工事場所 _____
3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(m ²)	建築面積(m ²)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考

4. 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

建設別及び 工事種目	工事種別							屋外
・空気調和設備								
・換気設備								
・排煙設備								
・自動制御設備								
・衛生器具設備								
・給水設備								
・排水設備								
・給湯設備								
・消火設備								
・厨房機器設備								
・ガス設備								
・さく井設備								
・浄化槽設備								
・昇降機設備								
・その他工事								

5. 指定部分 ※ なし ・ あり (工期:令和 年 月 日) (対象部分:)
6. 概成工期 ※ なし ・ あり (工事工期より 日前)

7. 設備概要 (○印のついたものは、主要方式を示す)

方式	設備概要	
空気調和方式等	・ 空気調和	・ 全空気方式 ・ ファンコイルユニット、ダクト併用方式 ・ パッケージ方式
	・ 温風暖房	・ 全空気方式 ・ ファンコンベクター、ダクト併用方式
	・ 直接暖房	・ 温水暖房
自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・ 空気式 ・ 中央監視制御	
給水方式	・ 水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ タンクレスブースター方式	
排水方式	建物内の汚水及び雑排水 (・ 分流式 ・ 合流式) 建物外の汚水及び雑排水 (・ 分流式 ・ 合流式) 放流先 汚水 (・ 下水道直放流 ・ 浄化槽) 雑排水 (・ 下水道直放流 ・ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途樹)	
給湯方式	・ 局所式 ・ 中央式	
消火設備方式	・ 屋内消火栓 (・ 湿式 ・ 乾式) ・ 連結送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー (・ 湿式 ・ 乾式) ・ 不活性ガス消火 ・ 泡消化 ・ 粉末消火 ・ 連結散水 ・ フード等用簡易自動消火 ・ 消火器	
ガス設備方式	・ 都市ガス 種別 ()	kJ/m ³ (N) (供給圧力 Pa) ・ 液化石油ガス

II. 特記仕様書

1. 一般事項 (1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編、平成31年版)」、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編、平成31年版)」(以下「標準仕様書」という。)、同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編、平成31年版)」(以下「標準図」という。)による。
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は (/) 図、建築工事の工事仕様書は (/) 図による。
2. 特記事項 (1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
1.	適用基準等	○ 営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成31年度版) ○ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ○ 宮城県建設工事元請・下請適正化要綱(最新版) ・ 宮城県建築工事写真撮影要領(宮城県土木部制定 平成12年版)及び工事写真撮影ガイドブック<機械設備工事編>(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成30年版)
2.	機材等	※ 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本産業規格及び日本農林規格のF☆☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。 本工事着手前に機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。
3.	機材の品質・性能証明	

4. 保険
5. 雇用
6. 施工計画書および施工図等
7. 工事実績情報の登録 (CORINS)
8. 手続
9. 事故報告
10. 電気保安技術者
11. 技能士の適用
12. 足場等
13. 監督職員事務所
14. 工事に必要な工事に電力、水、その他
15. 工事用仮設物
16. 残土処理
17. 発生材の処理
18. 総合試運転調整等
19. 容量等の表示

また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。

本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで、火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出のこと。

本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。

工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。
工事の施工に先立ち、工程別施工要領書および施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。
また、県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては、環境配慮計画(実施)書を作成し、監督職員に提出する。

請負額が500万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。
受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。

工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。
なお、当該手続きに係わる費用は、受注者の負担とする。

施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

※ 配置する ・ 配置しない

本工事に下記の当該職種別技能士(・ 1級 ・ 2級)を適用させる。(資格証の写しを提出する)
・ 配管(配管工事) ・ 建築板金(ダクト製作及び取付け) ・ 熱絶縁施工(保温工事)
・ 冷凍空気調和機器施工(テリングユニット、パッケージ形空気調和機の据付及び調整)

・ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置
枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月改訂)」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。

※ 設けない ・ 設ける(号・・・建築工事仕様書)

本工事に必要な工事に電力、水、及び諸手続等の費用はすべて引渡まで受注者の負担とする。

構内に作ることが ※ できる ・ できない

・ 構外搬出 ※ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所にたい積
建設発生土を場外へ搬出する場合 1建設発生土現場管理者(複数可)を選任し、施工計画書に記載し、提出する。
2ダンプトラック等管理表を、工事着手前に監督員に提出する。 3建設発生土搬出等管理表を、搬出を行う日毎に作成し、1週間毎の集計表を監督職員に提出する。 4建設発生土は受入地において、搬出先土量を伝票により管理するとともに、搬出先の土量を確認する。

(1) 建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当 ・ なし ・ あり()
(2) 冷媒回収費用は(・ 本工事 ・ 別途工事)

冷媒の回収にあたっては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(フロン回収破壊法)」に従って行い、監督職員に第一種フロン類回収業者登録通知書の写し、フロン類回収証明書を提出する。ただし、家庭等のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象となっているものは、法に従ってリサイクル(フロン類の回収を含む)を行い、監督職員に、特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)の写しを提出する。

(3) 引渡しを要するもの ※ なし ・ あり()
(4) 廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、場外搬出の上、適切に処分する。

- (ア) 特別管理産業廃棄物 ※ なし ・ あり ()
- (イ) 特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設
・ コンクリート ()
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ()
・ 木材 ()
・ アスファルトコンクリート ()
- (ウ) その他発生材の処分を行う施設
・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物 ()
・ 木くず等の管理型の産業廃棄物 ()

建設リサイクル法
・ 対象工事
落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第1号別表1〜3のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づいて書面により報告すること。
・ 対象外工事

※ 本工事において下記の項目の総合試運転調整等を行い、報告書を提出する。 ・ 別途
総合試運転調整等の項目
・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度測定
・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 初期運転状態の記録
・ 末端水栓の水質測定 ・ 浄化槽放流水質の測定
・ 機器の絶縁抵抗の測定 ・ 水圧調整
測定箇所は、監督職員の指示による。

(1) 機器類の能力、容量等は指示された数値以上とする。
(2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

図面名称 機械設備工事特記仕様書	
工事名称 令和3年度とちの木会館改修工事	
事務所登録 宮城県 第21610219号	
池下 久幸 一級建築士 第280837号	
全葉	図面 No M-1

20. 耐震措置	<p>機器、配管、ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け、取付け又は支持を行う。</p> <p>耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修 2014年版）による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">設計用標準水平震度（Ks）</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.0 (1.5)</td> </tr> <tr> <td>中層階</td> <td>1.5 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>0.6 (1.0)</td> </tr> <tr> <td>一階及び地下層</td> <td>1.0 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.4 (0.6)</td> </tr> <tr> <th colspan="5">重要水槽(飲料用)</th> </tr> <tr> <th colspan="5">一般水槽</th> </tr> <tr> <th colspan="5">重要水槽(飲料用)</th> </tr> <tr> <th colspan="5">一般水槽</th> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>一階及び地下層、中層階</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>注（１）設置場所の区分は標準仕様書による。注（２）（ ）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。</p> <p>（３）本工事の施設は（ ・ 一般の施設 ・ 特定の施設 ）とする。</p> <p>（４）地域係数は 1.0 とする。</p> <p>（５）100kg 以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。</p> <p>（６）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は、十分な強度を有する方法で固定し、水平鉛直方向の地震力に対して、つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。</p> <p>特記されていない弁等のサイズは、機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。</p> <p>本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。なお、電気設備工事編標準仕様書第6編 通信・情報設備工事による。</p>	設計用標準水平震度（Ks）					設置場所	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)	中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)	重要水槽(飲料用)					一般水槽					重要水槽(飲料用)					一般水槽					上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0	一階及び地下層、中層階	1.5	1.0	1.0	0.6
設計用標準水平震度（Ks）																																																												
設置場所	特定の施設		一般の施設																																																									
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																								
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)																																																								
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)																																																								
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																																																								
重要水槽(飲料用)																																																												
一般水槽																																																												
重要水槽(飲料用)																																																												
一般水槽																																																												
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0																																																								
一階及び地下層、中層階	1.5	1.0	1.0	0.6																																																								
21. 弁等のサイズ																																																												
22. 電線類																																																												
23. 溶接部の非破壊検査	<p>対象配管系統 ・ 冷温水 ・ 冷却水 ・ 消火（水用） ・ 油 ・ ガス</p> <p>検査の種類 ・ 浸透探傷検査（PT）又は磁粉探傷検査（MT） ・ 放射線浸透検査（RT）</p>																																																											
24. はつり	既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。																																																											
25. 支持及び固定	<p>（１）標準仕様書以外の天吊り機器の支持は、標準仕様書第3編 2.1.13（b）に準ずる。</p> <p>（２）横走り主ダクト・主管の振れ止めは端部も行うこと。</p>																																																											
26. 支持金物・固定金具	<p>（１）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とし、ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。</p> <p>（２）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。</p> <p>（３）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。</p>																																																											
27. 埋戻し土・盛土	<p>図面に特記のない場合は下記によるほか標準仕様書第2編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。</p> <p>・ 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類） ・ 山砂の類</p>																																																											
28. 地中埋設標及び埋設表示用テープ	<p>地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお、地中埋設標の設置場所は図示によるほか、屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。</p> <p>（１）給水管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ</p> <p>（２）ガス管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ</p> <p>（３）油 管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ</p> <p>（４）消火管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ</p>																																																											
29. 保 温	<p>・ 主機械室は下記の室とし、他は各階機械室とする。</p> <p>主機械室：</p> <p>・ ダクトの保温の外装は下記による。内装は（ ・ ロックウール ・ グラスウール ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>屋内露出</th> <th>倉庫・書庫</th> <th>各階機械室</th> <th>主機械室</th> <th>居室・廊下など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ アルミガラスクロス</td> <td>・ アルミガラスクロス</td> <td>・ アルミガラスクロス</td> <td>・ カラー亜鉛鉄板</td> </tr> <tr> <td>屋内隠べい、PS内</td> <td colspan="4">・ アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td>屋外露出、多湿箇所（ ）</td> <td colspan="4">・ ステンレス鋼板</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 配管の保温の外装は下記による。内装は（ ・ ロックウール ・ グラスウール ・ ポリスチレンフォーム ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>屋内露出</th> <th>倉庫・書庫</th> <th>各階機械室</th> <th>主機械室</th> <th>居室・廊下など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ アルミガラスクロス</td> <td>・ アルミガラスクロス</td> <td>・ アルミガラスクロス</td> <td>・ 合成樹脂製カバー</td> </tr> <tr> <td>屋内隠べい、PS内</td> <td colspan="4">・ アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td>屋外露出、多湿箇所（ ）</td> <td colspan="4">・ ステンレス鋼板 ・ 着色アスファルトプライマー</td> </tr> </tbody> </table>	屋内露出	倉庫・書庫	各階機械室	主機械室	居室・廊下など		・ アルミガラスクロス	・ アルミガラスクロス	・ アルミガラスクロス	・ カラー亜鉛鉄板	屋内隠べい、PS内	・ アルミガラスクロス				屋外露出、多湿箇所（ ）	・ ステンレス鋼板				屋内露出	倉庫・書庫	各階機械室	主機械室	居室・廊下など		・ アルミガラスクロス	・ アルミガラスクロス	・ アルミガラスクロス	・ 合成樹脂製カバー	屋内隠べい、PS内	・ アルミガラスクロス				屋外露出、多湿箇所（ ）	・ ステンレス鋼板 ・ 着色アスファルトプライマー																						
屋内露出	倉庫・書庫	各階機械室	主機械室	居室・廊下など																																																								
	・ アルミガラスクロス	・ アルミガラスクロス	・ アルミガラスクロス	・ カラー亜鉛鉄板																																																								
屋内隠べい、PS内	・ アルミガラスクロス																																																											
屋外露出、多湿箇所（ ）	・ ステンレス鋼板																																																											
屋内露出	倉庫・書庫	各階機械室	主機械室	居室・廊下など																																																								
	・ アルミガラスクロス	・ アルミガラスクロス	・ アルミガラスクロス	・ 合成樹脂製カバー																																																								
屋内隠べい、PS内	・ アルミガラスクロス																																																											
屋外露出、多湿箇所（ ）	・ ステンレス鋼板 ・ 着色アスファルトプライマー																																																											
30. 塗 装	<p>（１）下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。</p> <p>※ 屋外露出 ※ 居室</p> <p>（２）保温を行わない居室・便所・給湯室及び屋外の露出配管（鋼管）には塗装を行う。</p>																																																											
31. 防食処理	土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として、防食処理不要の管材とする。）																																																											
32. 山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが 1.5m を超える場合には、山留めを行うものとする。																																																											
33. 舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書 22章（舗装工事）による。																																																											
34. 他工事との取り合い	図面に特記なき場合は、表「工事区分表」による。																																																											
35. 再使用品の清掃	再使用する機器類は現場内で可能な洗剤による水洗等の清掃を行う。																																																											
36. 火気の使用	建物内での火気の使用は原則として行わない。																																																											
37. 室内空気中の化学物質の濃度測定	<p>室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監督職員に報告すること。測定はバッシブ型採取機器により行う。</p> <p>測定対象室（ ）、測定箇所数（ ）</p>																																																											
38. 施工調査	<p>・ 下記によるほか、改修標準仕様書第1編 1.5.1及び1.5.2による。</p> <p>・ 施工計画調査 ・ 事前調査</p>																																																											

39. アスベスト	<p>調査項目（ ・ ・ ） 調査範囲（ ・ ・ ） 調査方法（ ・ ・ ）</p> <p>アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り処理を行うこと。</p> <p>アスベスト使用状況（ ）</p>																																																								
40. あと施工アンカー	<p>（１）あと施工アンカー ※接着系アンカー（接着剤は有機系とする）</p> <p>※金属拡張系アンカー（※本体打込み式）</p> <p>（２）試験等 性能確認試験 ※行わない ・ 行う</p> <p>施工確認 ※行う ・ 行わない</p> <p>既設インサート及びアンカーボルトを ※使用しない ・ 使用する</p>																																																								
41. 既設インサート及びアンカーボルト																																																									
42. 宮城県リサイクル製品利用促進について	<p>・ 認定品利用対策工事として次の認定製品を使用すること。</p> <p>（使用製品名： ） 使用場所：（ ）</p> <p>※ 認定製品使用対象外工事だが、利用の促進に努めること。</p>																																																								
43. 施工条件	別添の施工条件明示書による。																																																								
44. 三相誘導電動機	省エネ法の特定機器の対象となる機器はJIS C 4034-30:2011のIE3（プレミアム効率）に相当する機器を導入すること。																																																								
仮設工事	<p>1. 工事用電力、水、その他</p> <p>本工事に必要な工事用電力、水などの費用、及び官公署等への諸手続きなどの費用は、請負者の負担とする。</p> <p>既設コンセントの使用 ※ 不可 ・ 可</p> <p>既設給水栓の使用 ※ 不可 ・ 可</p> <p>2. 養生</p> <p>養生範囲（ ）</p> <p>養生方法（ ）</p>																																																								
空調設備	<p>1. 設計温湿度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="6">屋内（調整目標値）</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">コンピュータ一室系統</th> </tr> <tr> <th></th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">夏期</td> <td>30.6℃(9時)</td> <td>65.5%(9時)</td> <td rowspan="3">26℃</td> <td rowspan="3">45%</td> <td rowspan="3">℃</td> <td rowspan="3">%</td> <td rowspan="3">24℃</td> <td rowspan="3">45%</td> </tr> <tr> <td>32.4℃(12時)</td> <td>60.2%(12時)</td> </tr> <tr> <td>32.6℃(14時)</td> <td>57.8%(14時)</td> </tr> <tr> <td>31.8℃(16時)</td> <td>61.0%(16時)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-2.0℃</td> <td>69.2%</td> <td>22℃</td> <td>40%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>24℃</td> <td>45%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. ばい煙濃度計</p> <p>3. 煙 突</p> <p>4. 煙 道</p> <p>5. ダクトの区分</p> <p>6. 長方形ダクトの工法</p> <p>7. 風量測定口</p> <p>8. チャンバ</p> <p>9. 防煙ダンパ</p> <p>10. 配管材料</p> <p>（１）冷温水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・</p> <p>（２）冷却水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・</p> <p>（３）蒸気管（給気管） ※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・</p> <p>（還水管） ※ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40）</p> <p>（４）油管、油用通気管（一般） ※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・</p> <p>（土中） ※ ポリエチレン被覆鋼管</p> <p>（５）膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への給水管</p> <p>※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・</p> <p>（６）空調用排水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・</p> <p>（７）冷媒管 ※ 断熱材被覆鋼管 ・ 鋼管</p> <p>11. 弁 類</p> <p>※ JIS又はJV5K ・ JIS又はJV10K</p> <p>ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。</p> <p>12. 鋼管用伸縮管継手</p> <p>※ ベローズ形 ・ スリープ形</p> <p>13. 温度計</p> <p>※ 標準仕様書、標準図による他、図示した箇所に取り付け。（配管用はL形、ダクト用は円形）</p> <p>・ 空気調和機、温風暖房機まわりの給気ダクト、還気ダクト及び外気ダクト</p> <p>・ 冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各選り管</p> <p>・ バッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口</p> <p>14. 瞬間流量計</p> <p>※ 着脱可能形（※ 全数 ・ 図示による）</p> <p>着脱可能形の場合、その指示部（ ・ 40A用 個 ・ 100A用 個 ・ 250A用 個）を付属する。</p> <p>・ 固定形（止水コック付） ・ 測定用タッピング（32mmピト管流量計用）</p> <p>15. オイルタンク</p> <p>（１）オイルタンク本体は図示による。</p> <p>（２）遠隔油用指示計 ※ 取付ける ・ 取付けない</p> <p>（３）計量尺は、青銅製、黄銅製又はアルミ製とし、100リットル実測目盛刻印とする。計量口は錠付とする。</p>		外 気		屋内（調整目標値）								一 般 系 統				コンピュータ一室系統			温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	夏期	30.6℃(9時)	65.5%(9時)	26℃	45%	℃	%	24℃	45%	32.4℃(12時)	60.2%(12時)	32.6℃(14時)	57.8%(14時)	31.8℃(16時)	61.0%(16時)							冬季	-2.0℃	69.2%	22℃	40%	℃	%	24℃	45%
	外 気		屋内（調整目標値）																																																						
			一 般 系 統				コンピュータ一室系統																																																		
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)																																																	
夏期	30.6℃(9時)	65.5%(9時)	26℃	45%	℃	%	24℃	45%																																																	
	32.4℃(12時)	60.2%(12時)																																																							
	32.6℃(14時)	57.8%(14時)																																																							
31.8℃(16時)	61.0%(16時)																																																								
冬季	-2.0℃	69.2%	22℃	40%	℃	%	24℃	45%																																																	

図面名称	
機械設備工事特記仕様書	
工事名称	
令和3年度とちの木会館改修工事	
事務所登録 宮城県 第21610219号	
池下 久幸	一級建築士 第280837号
全葉	図面 No M-2

空気調和・冷房・暖房設備	16. 積算油量計	図示の箇所に取付ける（熱源機器等）。	給	4. 不凍水栓柱	化粧ケーシング（ ・ アルミ合金製 ・ 合成樹脂製 ）
	17. 注油口及び指示ボックス	標準図（機材 6 ）による。 ・ 単独形 ・ 共用形（ ・ ローリーアース付）		5. 弁 類	(1)水道直結部分 ※ J I S又はJ V 1 0 K ・ 水道事業所の規定による K (2)その他の部分 ※ J I S又はJ V 5 K ・ J I S又はJ V 1 0 K ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
換気設備	18. 消音内貼り	(1) 施工箇所は図示による。 (2) 内貼りチャンパー類の寸法表示は、外形寸法とする。 (3) 吹出口に接続するチャンパーの消音内貼りは別図による。	水	6. 給水栓	(1)屋内（ ※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓 ） (2)屋外（ ※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓 ） 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。 耐寒水栓はJWWAの認証品とする。
	19. 保 温	(1) 建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む）、仕様は冷温水管の項による。 (2) 屋外露出配管の保温は、給水設備の項による。 (3) 外気取り入れダクト及びチャンパーボックスの保温 ※ 要（全熱交換器の給気ダクトを含む） ・ 不要 (4) 排気ダクトの外壁開放部より1m程度保温する。（チャンパーボックスを含む） (5) 冷媒管（断熱材被覆鋼管）の保温外装 屋内露出部 ・ 保温化粧ケース（樹脂製） ・ 外装なし ・ 屋外 ・ 保温化粧ケース（樹脂製） ・ (6) 高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は mmとする。		7. 埋設深さ	(1)一般敷地内（ m以上） (2)敷地内車両道路（ m以上） (3)公道部分（ ※ 水道事業者及び道路管理者規定による ）
暖房設備	20. 電気工事の範囲	(1)地震感知器の配管配線 ※ 別途 ・ 本工事 (2)防煙ダンパと運動制御器迄の配管配線及び運動制御盤から煙感知器迄の配線配管は ※ 別途 ・ 本工事	備	8. 保 温	(1)量水器樹内の保温を行う。 (2)屋外露出配管（弁フランジを含む）は、標準仕様書第2編（表2. 3. 6 e 2 ・ (ハ)）とし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。
	21. 塗装	(1) 屋内露出裸ダクトの塗装（居室を除く）は ※ 行わない ・ 行う (2) 屋内露出冷却水配管の塗装（居室を除く）は ※ 行わない ・ 行う		9. 埋設弁開閉用ハンドル	本工事に ※ 含む（水道事業者管理用以外の弁操作用） ・ 含まない
換気設備	1. 準拠事項	[空気調和 ・ 冷房 ・ 暖房設備] の当該事項に準ずる。 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 18 ・ 19 ・ 21	排	10. 水道加入金等	水道加入金 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途 ） ・ 不要 ・ その他（ ）
	2. 開放形湯沸器排気フード	※ 別途 ・ 本工事 ・ 既設		11. ステンレス管の接合方法	(1)呼び径60SU以下 SAS322（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 (2)呼び径75SU以上 ・ 溶接接合 ・ ハウジング形管継手による接合 ・ フランジ接合
換気設備	3. 厨房用排気ダクト	※ 亜鉛鉄板 ・ ステンレス鋼板（SUS304）（板厚は高圧ダクトによる）	水	12. その他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。
	4. 厨房用排気ダクト工法	※ アングルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）		1. 配管材料	(1)屋内汚水管 (2)屋内雑排水管 (3)屋外土中汚水、雑排水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 配管用炭素鋼管（白） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 鉛管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU） ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（REP-VU）
換気設備	5. 厨房用排気フード	(1)フード周囲の天幕（フード面から天井面まで） ※ 取り付ける ・ 取り付けない (2)フードコック ※ 取り付ける ・ 取り付けない (3)材質（天幕とも） ※ ステンレス鋼板（SUS430又はSUS304）	設	2. 排水樹	(4)土間配管用 (5)通気管 (6)ポンプアップ排水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 配管用炭素鋼管（白） ・ ポリ粉体鋼管（PD） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
	6. 多湿箇所の排気ダクト	次の系統のダクトのシールは、標準図（施工45、46）のNシール+Aシール+Bシールとし、水抜き管を設ける。 （ ）		3. グリース阻集器	台所流し等の床上露出部分の排水管は、硬質ポリ塩化ビニル管でもよい。 ・ 樹リストは図面番号（ ） (1)材料 ・ RC ・ 硬質塩化ビニル ・ ポリプロピレン ・ SC (2)ふた ・ 鋳鉄製（ ・ MHA ・ MHB ・ TBA ） ・ 樹脂製 ※ 県マーク、流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてSUSチェーン付 (3)規格 ・ 日本下水道協会（JSWAS） ・ プラスチック・マスマンホール協会（PMMS） ・ 市町村別基準（ ・ 有 ・ 無 ）
排煙設備	1. ダクト	・ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製（1.6mm以上）	備	4. 満水試験継手	図示の箇所に取付け、満水試験を行うこと。
自動制御設備	2. 排煙口の形式	・ 可動羽根（スリット共） ・ 可動パネル		5. 試 験	・ 衛生器具などの取付完了後、排水試験又は通水試験を行う。 ・ 衛生器具などの取付完了後、煙試験を行う。
	3. 排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（遠隔操作機能 ・ 要 ・ 不要）	6. 放流負担金等	・ 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事 ）	
自動制御設備	4. 排煙風量測定方式	建築設協定期検査業務指導書（財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。	7. 基礎材	※ 再生クラッシャーラン	
	1. 中央監視制御	中央監視制御装置の構成機能は別紙による。	給	1. 配管材料	・ ステンレス鋼管（SUS304） ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 銅管 ・ 被覆鋼管 ・ 保温付被覆鋼管 <膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。>
2. 計装工事の配線	(1) 屋外・屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 (2) 天井内隠べいの配線は、図示に特記がなければケーブル配線とする。	2. 弁 類		給水設備の当該事項による。	
衛生器具設備	1. 大便器洗浄弁	・ 洗浄タンク方式 ・ 洗浄弁方式（不凍結節水弁付）	湯	3. 湯沸器の排気筒	厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。
	2. 便器洗浄用タンク	※ 手洗なし ・ 手洗付		4. 保 温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんべい部保温を行う。標準仕様書第2編3. 1. 5表2. 3. 5の（h・(i)・X）
衛生器具設備	3. 小便器自動洗浄	個別感知方式とする。（ ・ 小便器一体型 ・ 小便器分離型）	設	5. ステンレス管の接合方法	(1)呼び径60SU以下 SAS322（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 (2)呼び径75SU以上 ・ 溶接接合 ・ ハウジング形管継手による接合 ・ フランジ接合
	4. 器具付属水栓	固定こま式（節水こま式）とする。		1. 配管材料	(1)一 般 (2)地中埋設部 ・ 配管用炭素鋼管（白） ・ 外面被覆鋼管（SGP-VS） ・ 圧力配管用炭素鋼管（Sch40） ・ ポリエチレン被覆鋼管（SGP-PS） ・ 外面被覆鋼管（STPG-370VS） ・ ポリエチレン被覆鋼管（STPG-370PS）
衛生器具設備	5. 自動水栓	※ 電源供給方式（ ※ AC100V） ・ 乾電池 ・ 自己給電	備	2. 屋内消火栓種別	(3)二酸化炭素用 ・ 圧力配管用炭素鋼管（継目無管）（Sch80） ・ 易操作性1号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 広範囲型2号消火栓
	6. 温水洗浄便座加熱方式	・ 瞬間式 ・ 貯湯式		3. 消火栓開閉弁	・ JIS10K ・ JIS20K
衛生器具設備	7. 大便器耐火カバー	設ける（ピット内を除く）	4. 保 温	(1)屋外露出管については給水管に準ずる。 (2)充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する (3)消火配管の保温 屋内消火栓 ・ 施工しない ・ 施工する	
	1. 量水器	(1)親メーター ※ 措用 ・ 買取り (隔測メーター ・ 有 ・ 無) (2)子メーター ※ 買取り (隔測メーター ・ 有 ・ 無)	消	1. 配管材料	(1)一 般 (2)地中埋設部 ・ 配管用炭素鋼管（白） ・ 外面被覆鋼管（SGP-VS） ・ 圧力配管用炭素鋼管（Sch40） ・ ポリエチレン被覆鋼管（SGP-PS） ・ 外面被覆鋼管（STPG-370VS） ・ ポリエチレン被覆鋼管（STPG-370PS）
2. 量水器樹	(1)親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図（機材57） (2)子メーター用 ※ 標準図（機材57） ・ 水道事業者の指定品	2. 屋内消火栓種別		・ 易操作性1号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 広範囲型2号消火栓	
衛生器具設備	3. 配管材料	(1)一般用 (3)屋外土中用 ・ ステンレス鋼管（SUS304） ・ ステンレス鋼管（SUS316） ・ 塩ビライニング鋼管（VA・VB） ・ 塩ビライニング鋼管（VD） ・ ポリ粉体鋼管（PA・PB） ・ ポリ粉体鋼管（PD） ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ " (HIVP) (2)土間配管用（厨房、浴室等のシンダー内含む） ・ ステンレス鋼管（SUS316） ・ 塩ビライニング鋼管（VD） ・ ポリ粉体ライニング鋼管（PD）	火	3. 消火栓開閉弁	・ JIS10K ・ JIS20K
	1. 量水器	(1)親メーター ※ 措用 ・ 買取り (隔測メーター ・ 有 ・ 無) (2)子メーター ※ 買取り (隔測メーター ・ 有 ・ 無)		4. 保 温	(1)屋外露出管については給水管に準ずる。 (2)充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する (3)消火配管の保温 屋内消火栓 ・ 施工しない ・ 施工する

図面名称 機械設備工事特記仕様書	
工事名称 令和3年度とちの木会館改修工事	
事務所登録 宮城県 第21610219号	
池下 久幸 一級建築士 第280837号	
全 業	図面 No M-3

	5. 消火器類	スプリンクラー ・ 施工しない ・ 施工する (1)消火器 種別 ・ 数量 () (2)消火器収納箱 仕様 ・ 材質 ・ 数量 ()
厨房機器設備	1. 厨房機器類	(1) 図示による (材質などは標準仕様書による)。ただし、寸法は参考とする。 (2) 厨房機器据付要領は、標準図施工74による。
ガス設備	1. 配管材料 2. 都市ガス 3. 液化石油ガス 4. ガス漏れ警報器 5. 埋設深さ 6. その他	(1)一般 (2)地中埋設部 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による ・ ガス事業者の規定による ・ ・ ・ (1)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事 (2)引込み負担金 ・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事) (1)ガスボンベ ※ 借用 ・ 買い取り (・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本) (2)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 (3)集合装置 ・ 標準図 (施工72) による (本組) (4)転倒防止等 ・ 標準図 (施工73) { ・ (a) ・ (b) } ・ ボルト、チェーン等はSUS製とする。 ・ 容器固定具をGL+300に追加設置する。 図示の場所に取付ける (・ 分離形 ・ 一体形) ・ 別途電気工事 外部出力端子 (・ あり ・ なし) (1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による) 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()

表1「完成書類」 本工事終了後下記の書類を提出すること。

名 称	完 成 書 類	部数	名 称	完 成 書 類	部数
1 完成調書	営繕工事完成引渡要領 (令和3年4月1日版)	1部	6 取扱説明書	A4版：黒表紙金文字製本 (2 完成図書と合本可)	1部
2 完成図書	A4版：黒表紙金文字製本 (機器完成図、取扱説明書と合本可。 ただし、厚さが80mmを超える場合は分冊とする。)	1部	①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	⑤完成図書電子データ ⑩ 工事に関する承諾 確認書	
3 完成図 (縮小)	白焼縮小製本 A3版二つ折り うち1部は設備課保管	2部	7 管理の手引き	A4版：チューブ式ファイル	1部
4 完成図・施工図 (電子データ)	JWW又はDXF形式CADデータ及び PDF形式	CD 2枚	①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表		
5 機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質証明書 ③機材検査成績書 ④工場試験成績書 ⑤工場立会検査成績書 ⑥現場据付試験成績書 ⑦総合試運転成績書	A4版：黒表紙金文字製本 (2 完成図書と合本可)	1部	8 工事写真 ①施工写真 ②完成写真	A4版：チューブ式ファイル (着手前、施工状況、完成の各写真) A4版：ペーパーファイル 完成届に添付	1部
			9 工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報又は日報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	A4版：チューブ式ファイル	1部

注記：機器及びシステム参考図について

本図面中で、機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の寸法形状、諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

図面名称 機械設備工事特記仕様書	
工事名称 令和3年度とちの木会館改修工事	
事務所登録 宮城県 第21610219号	
池下 久幸 一級建築士 第280837号	
全葉	図面 No M-4

樹リスト

記号	名称	樹仕様	管低	泥溜り	樹ぶた	地盤高さ	備考
1	ため樹	300 × 300 - 450	300	150	コンクリート蓋	GL±0	敷地内樹へ接続
2	ため樹	450 × 450 - 600	400	150	グレーチング	GL±0	
3	ため樹	450 × 450 - 600	400	150	グレーチング	GL±0	

衛生機器表

記号	機器名称	機器仕様	電気容量			数量	設置場所
			φ	V	k w		
GH-1	ガス瞬間湯沸器	型式 : 屋外壁掛型 (20号タイプ) 給湯能力 : 20L/min (水温+25°C上昇) ガス消費量 : 38.8kW (2.78kg/h) : 13A 付属品 : 台所リモコン リモコンコード	1	100	0.049	1	調理室屋外

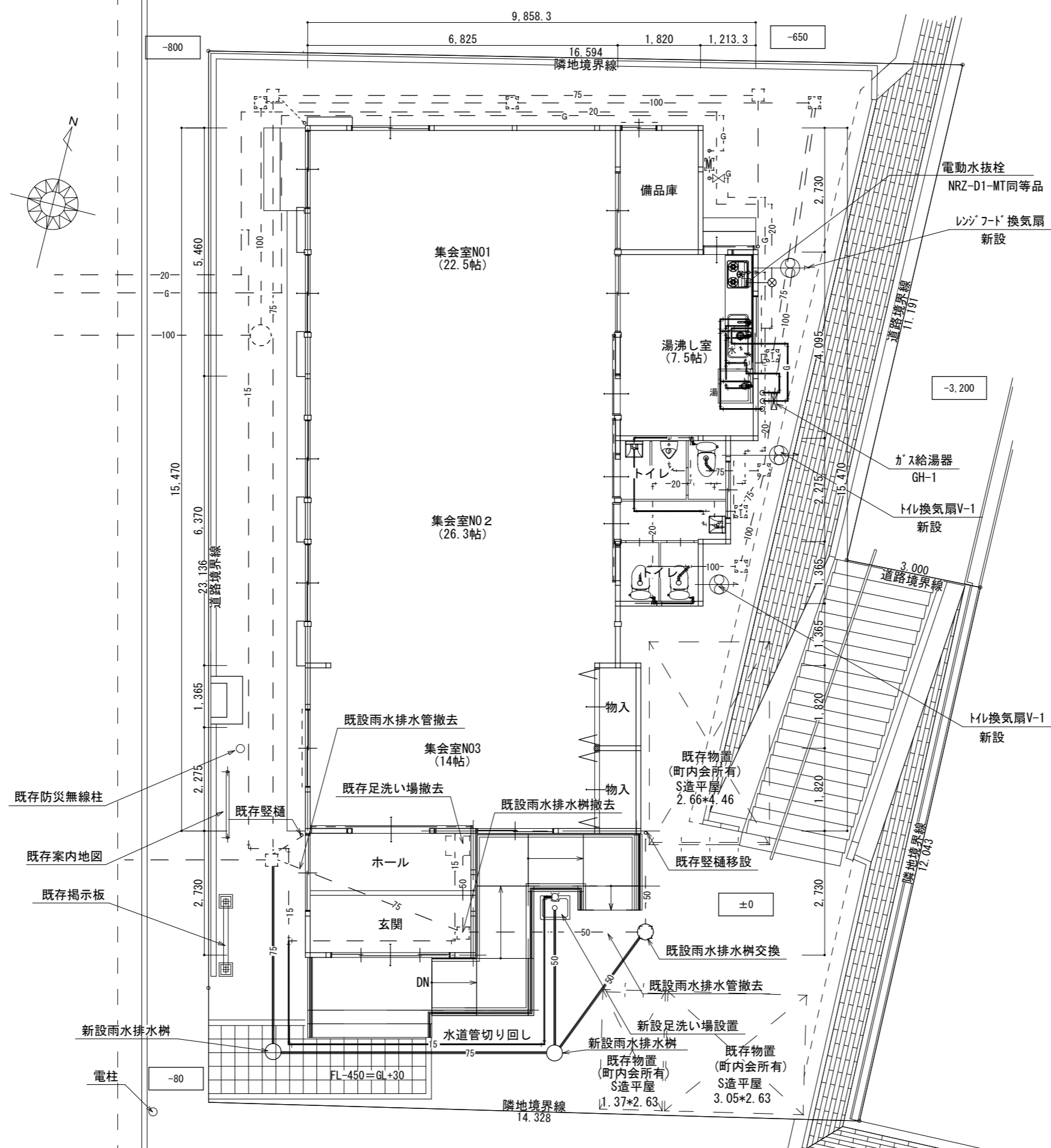
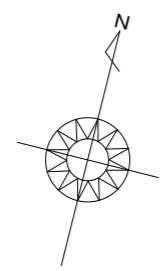
換気扇リスト

記号	機器名称	機器仕様	電気容量		数量	設置場所
			V	W		
V-1	パイプ用排気ファン	型式 : VF-H08E2 風量 : 50m3/h 騒音 : 24dB 付属品 : 丸型ウエザ-カバー	100	1.8	2	男子トイレ 女子トイレ

衛生器具表

器具名称	品番	仕様	男子便所	女子便所	湯沸室	屋外	合計	備考
洋風便器、タンク	CS400BHNW1	SH400BN NW1 (ロ-タンク) 他一式	1	2			3	
ウォシュレット	TCF4833AKRNW1	ウォシュレット77'リコット : F3AW UWEAAWWBBタイプ 他一式	1	2			3	自動開閉式 オート洗浄
紙巻器	YH52R		1	2			3	
小便器	UFH507C	TEA61ADFS (自動洗浄システム) 他一式	1				1	
小便器用手すり	T113BU22	固定金具	1				1	
壁付手洗器	L250DM	自動水栓TEN40A 他一式	1	1			2	
化粧鏡	YM6075FA	7-子型 600*750	1	1			2	
電動水抜栓	NRZ-D	NRZ-D1-MT同等品、操作盤 (屋内設置) NRZ-C1同等品			1		1	
不凍水栓柱	DMB-V	13×13 L=1200				1	1	
ヒューズガス栓		15×16			1		1	
ガス警報器		LPG壁付用			1		1	

工事名	令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 機器表・器具表・樹リスト	図面No. M-5
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555		日付	日付	日付	縮尺	



⑤ 既存湯沸室改修工事
 既存設備機器類を撤去。
 既存床に嵩上げ下地施工(調整根太、合板)により水平に補修
 CFシート張り仕上
 システムキッチン255タイプに交換 レンジフードフラットタイプ設置
 シングルバ-水栓を2カ所設置、LPGガススコーン一体型
 流し前壁はキッチンパネル壁仕上、業務用1槽シンクW75設置
 既存流し前の瞬間湯沸かし器撤去して屋外壁掛け給湯器設置

⑥ 既存トイレを男・女トイレに改修
 既存土間タイル床を撤去し土間埋設配管を一部交換。
 給排水管を新設。
 新設床組+CFシート施工
 新設パーティションにて男トイレ、女トイレに区画する。
 男トイレに自動水栓手洗器新設、既存小便器1台撤去し洋式
 便器+ウォレット便座(自動開閉式・オート洗浄)に交換、
 小便器も新品交換する。
 新設トイレ-スにて男トイレ内部を大小に区画する。(図示)
 女トイレは既存便器撤去し洋式便器+ウォレット便座(自動開閉式
 ・オート洗浄)を2台新設。
 女トイレの既存手洗器撤去して自動水栓手洗器を新設する。
 新設トイレ-スにて女トイレ内部を区画する。(図示)
 ※既存屋外配管類、樹類は現状維持として利用する。

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	管理者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	設計者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	担当者 日付	図面名 給排水衛生設備図	図面No. M-6
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555</small>	日付	日付	日付	縮尺 1/100	M-6

コンクリートの材料

- セメント ○ 普通ポルトランドセメント ○
 混和材料 ○ AE 減水剤 (○ 標準形 ○ 遅延形 ○ 促進形)
 ○ 流動化剤

(2) コンクリート中の含まれる塩化物の含有量の基準

鉄筋コンクリート造などの構造耐力上主要な部分に用いられるコンクリートについては、原則として塩化物量は 0.3 kg/m^3 以下（塩素イオン換算）とする。やむを得ず塩化物量が $0.3 \sim 0.6 \text{ kg/m}^3$ となる場合、以下の（イ）～（ニ）の条件を満たすものとする。

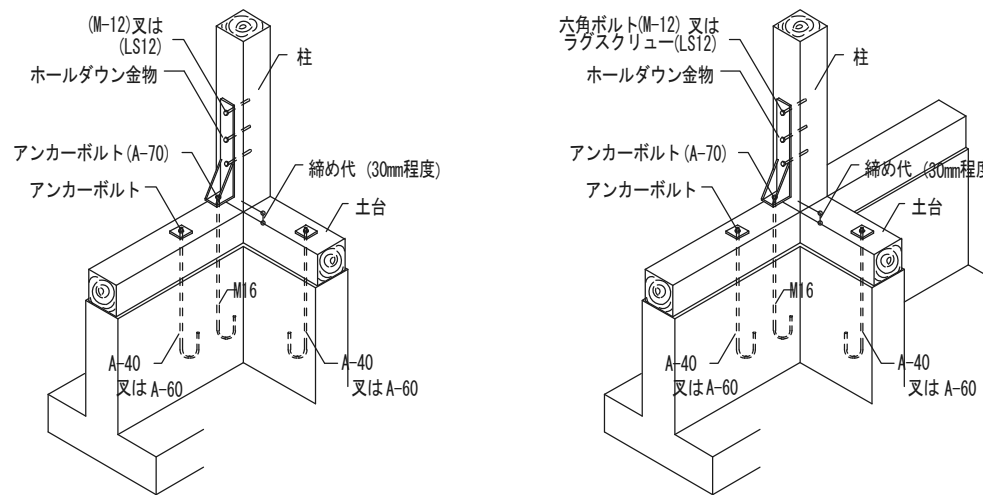
- （イ）水セメント比を 55% 以下とする。
 （ロ） AE 減水剤（JIS A 6204 適合品）を使用し、スランプ 18cm 以下（流動化コンクリートではベース 15cm 以下、流動化後 21cm 以下）とする。
 （ハ）防せい剤（財団法人 日本建築センター 認定製品）を使用する。
 （ニ）床の下端の鉄筋のかぶり厚さを 3cm 以上とする。

4. 鉄筋工事

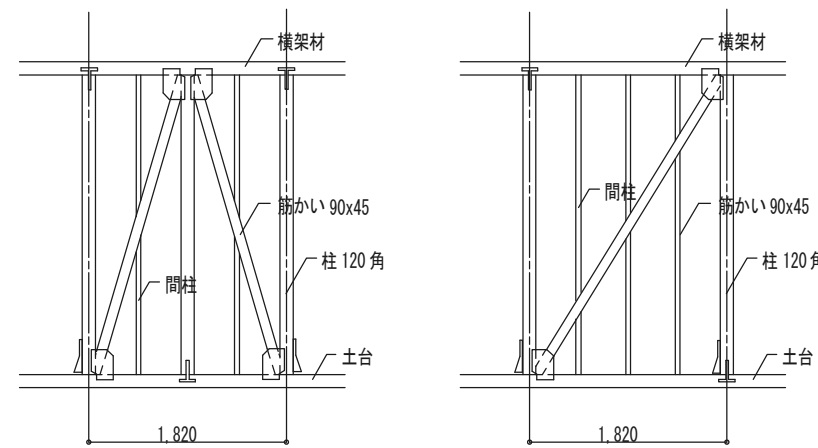
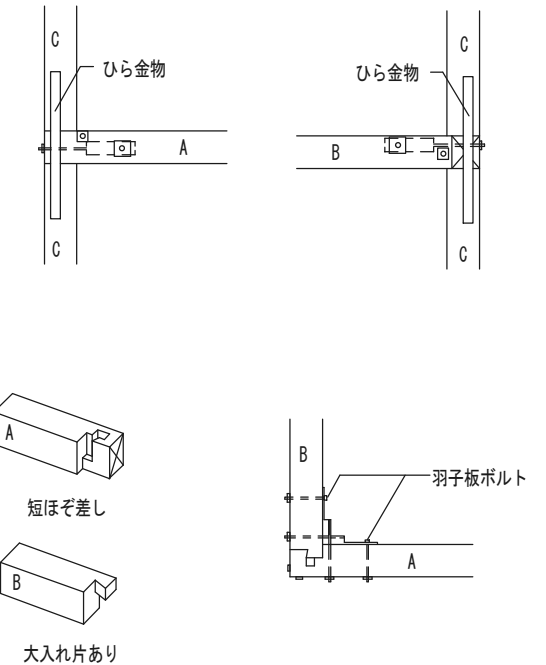
(1) 鉄筋の種類及び継手工法

鉄筋は JIS G 3112 規格品とする事。

使用箇所	材質	鉄筋径 (呼び名)	継手工法
基礎	SD295A SD345	D10~D16	重ね継手 ガス圧接
基礎	SD295A SD345	D19~D	重ね継手 ガス圧接
	SD295A SD345	D ~D	重ね継手 ガス圧接
	SD295A SD345	D ~D	重ね継手 ガス圧接



ホールダウン用金物を用いたアンカーボルトの緊結



(イ)

(ロ)

使用材料

土台	PCスケヤ
大引	PCスケヤ
柱	杉
梁・胴差	米松
母屋・タルキ	米松

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事

備考 宮城県富谷市三関三枚橋27-3

株式会社 池下建築設計
 事務所登録 宮城県 第21610219号
 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555

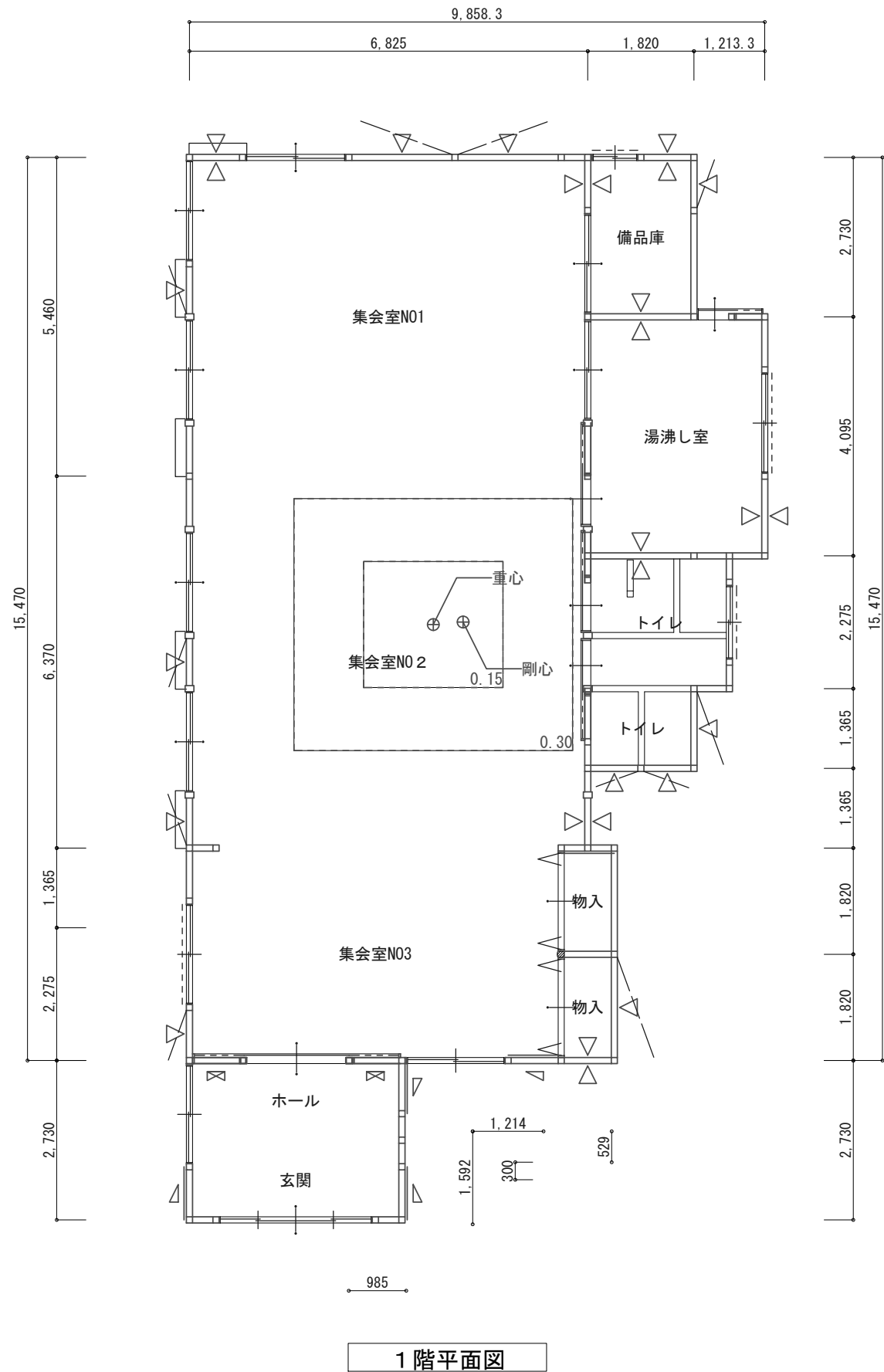
管理者 池下 久幸
 一級建築士 第280837号
 日付

設計者 池下 久幸
 一級建築士 第280837号
 日付

担当者 日付

図面名 構造特記仕様②
 縮尺

図面 No. S-2



1階平面図

記号	壁の構造(1) 壁の構造(2)	筋かいの構造	倍率	
W1 ▽		木材 30×90以上 シングル	1.50	1.50
W2 ⋈		木材 30×90以上 ダブル	3.00	3.00
W3 ▽		木材 45×90以上 シングル	2.00	2.00
W4 ⋈		木材 45×90以上 ダブル	4.00	4.00
W5 ▽		木材 90×90以上 シングル	3.00	3.00
W6 ⋈		木材 90×90以上 ダブル	5.00	5.00
W7 —	構造用合板 2.50			2.50
W8 ▽	構造用合板 2.50	木材 45×90以上 シングル	2.00	4.50

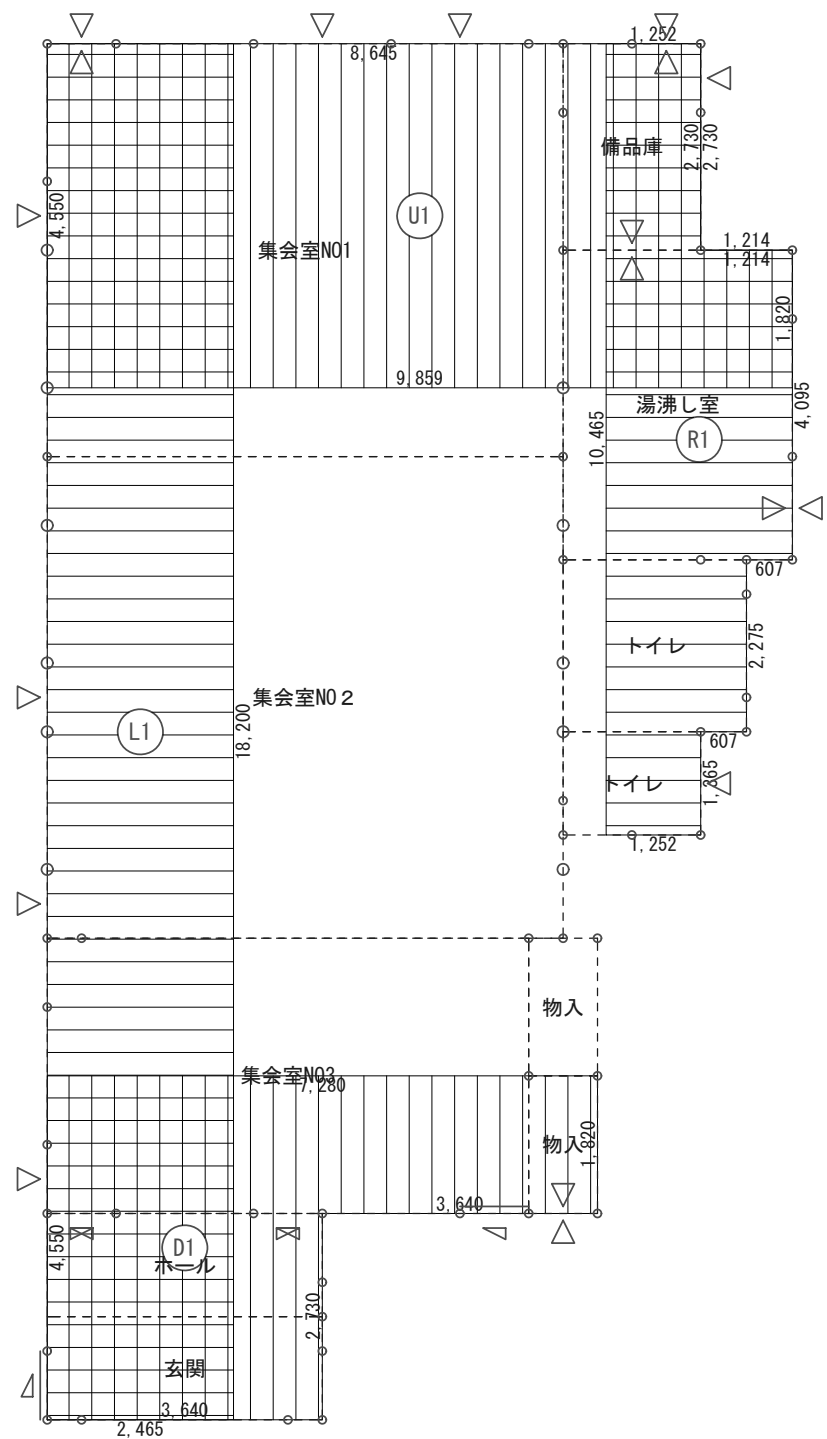
床面積(地震力)に対する必要壁量				
階	方向	床面積	乗ずる数値	必要壁量
1	X	142.58	0.110	15.684
	Y			

見付面積(風圧力)に対する必要壁量				
階	方向	見付面積	乗ずる数値	必要壁量
1	X	55.85	0.500	27.925
	Y	25.58		12.790

- | 床面積(地震力)に係る条件 | |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 一般区域 |
| <input type="checkbox"/> | 特定行政庁が指定する軟弱地盤区域(一般区域の1.5倍) |
| <input type="checkbox"/> | 特定行政庁が指定するその他の区域 |
| <input type="checkbox"/> | 壁・屋根の重量が重い建築物(土蔵造、瓦葺等) |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 屋根の軽い建築物(金属板、スレート葺等) |
| <input type="checkbox"/> | 準耐火構造の耐火性能確保(1.25倍) |
| <input type="checkbox"/> | 割り増し倍率考慮 |
-
- | 見付面積(風圧力)に係る条件 | |
|-------------------------------------|---------------|
| <input type="checkbox"/> | 特定行政庁が認める強風区域 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 上記以外の区域 |

階	方向	記号	倍率 x	長さ x	個所 =	壁量	合計
1	X	W8 ▽	4.50	0.910	1	4.095	40.950
		W7 —	2.50	0.910	1	2.275	
		W4 ⋈	4.00	0.910	2	7.280	
		W2 ⋈	3.00	1.820	2	10.920	
		W2 ⋈	3.00	0.910	3	8.190	
	Y	W1 ▽	1.50	1.820	2	5.460	
		W1 ▽	1.50	0.910	2	2.730	
		W8 ▽	4.50	0.910	3	12.285	
		W2 ⋈	3.00	0.910	2	5.460	
		W2 ⋈	3.00	1.365	1	4.095	
Y	W1 ▽	1.50	0.910	5	6.825		
	W1 ▽	1.50	1.365	1	2.047		
	W1 ▽	1.50	1.820	1	2.730		

階	方向	存在壁量	判定	必要壁量		壁余裕度
				床面積(地震力)	見付面積(風圧力)	
1	X	40.950	> OK	15.684	27.925	1.46
	Y	33.442	> OK	15.684	12.790	2.13



1階壁釣り合い算定図(基準法)

凡例				
記号	壁の構造(1) 壁の構造(2)	筋かいの構造	倍率	
W1 ▽		木材 30×90以上 シングル	1.50	1.50
W2 ∇		木材 30×90以上 ダブル	3.00	3.00
W3 ◁		木材 45×90以上 シングル	2.00	2.00
W4 ≧		木材 45×90以上 ダブル	4.00	4.00
W5 ▲		木材 90×90以上 シングル	3.00	3.00
W6 ▼		木材 90×90以上 ダブル	5.00	5.00
W7 —	構造用合板 2.50			2.50
W8 ◀	構造用合板 2.50	木材 45×90以上 シングル	2.00	4.50

側端部分床面積表(基準法)					単位 m ²	
階	方向	面積			計	
1	X	上 (㊶)	4.550×8.645+1.214×1.820		41.544230	41.55
		下 (㊷)	3.640×4.550+3.640×1.820		23.186800	23.19
	Y	左 (㊸)	2.465×18.200		44.863000	44.87
		右 (㊹)	1.252×1.365+1.858×2.275+2.465×4.095+1.252×2.730		19.448065	19.45

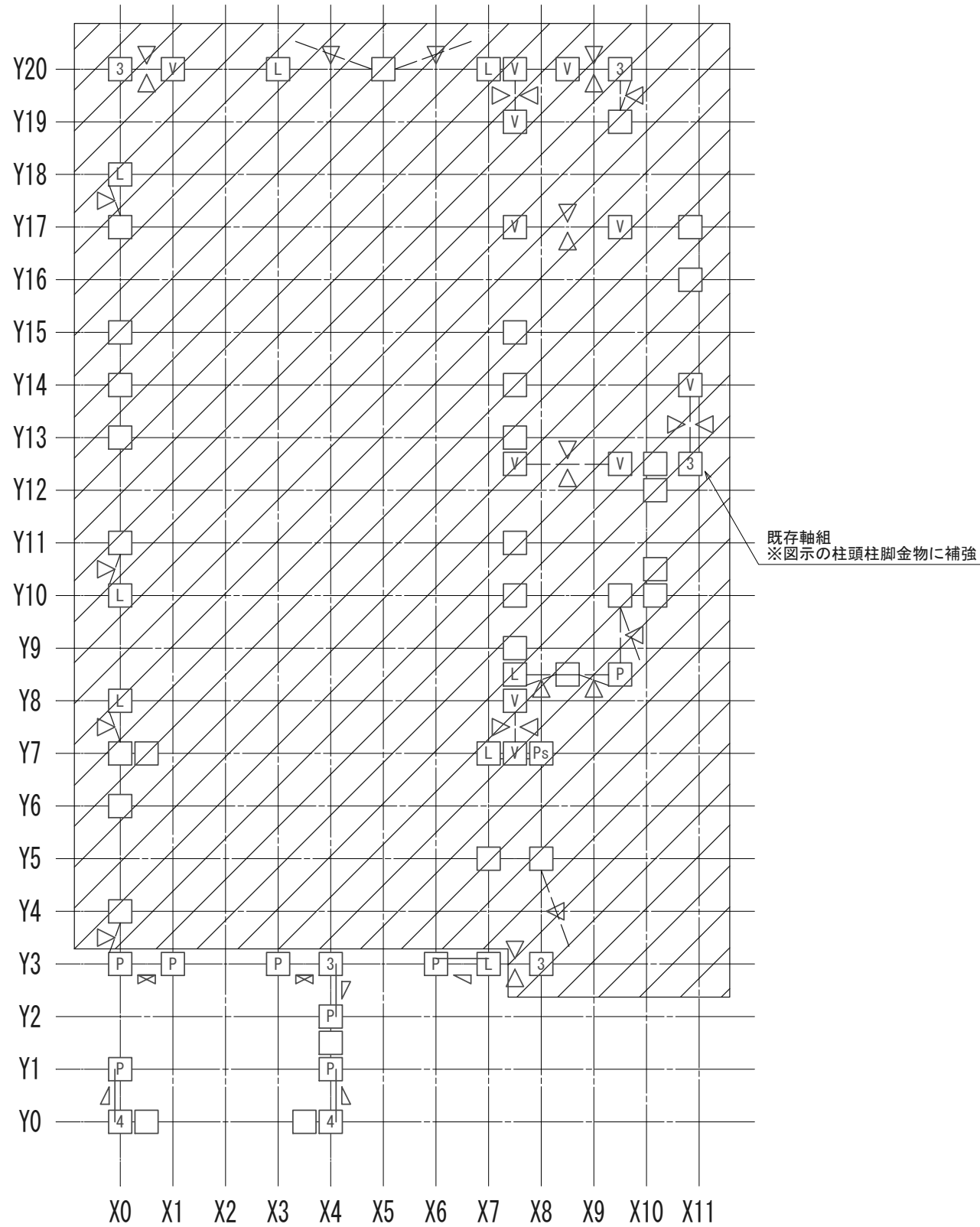
側端部分必要壁量算定表(基準法)							単位 m	
階	方向	床面積 m ²	物置等 m ²	合計床面積 m ²	乗ずる数値	必要壁量		
1	X	上	41.55	0.00	41.55	0.110	4.571	
		下	23.19	0.00	23.19	0.110	2.551	
	Y	左	44.87	0.00	44.87	0.110	4.936	
		右	19.45	0.00	19.45	0.110	2.140	

側端部分存在壁量算定表(基準法)								単位 m		
階	方向	記号	倍率	長さ	個所	壁量	合計			
1	X	上	W2 ∇	3.00	1.820	1	5.460	16.380		
			W2 ∇	3.00	0.910	2	5.460			
			W1 ▽	1.50	1.820	2	5.460			
	X	下	W8 ◁	4.50	0.910	1	4.095	14.105		
			W4 ≧	4.00	0.910	2	7.280			
			W2 ∇	3.00	0.910	1	2.730			
	Y	左	W8 ◁	4.50	0.910	1	4.095	9.555		
			W1 ▽	1.50	0.910	4	5.460			
右		W2 ∇	3.00	1.365	1	4.095	7.507			
		W1 ▽	1.50	1.365	1	2.047				
		W1 ▽	1.50	0.910	1	1.365				

壁釣り合い判定表(基準法)							単位 m		
階	方向	必要壁量	存在壁量	壁量充足率	壁率比	判定			
1	X	上	4.571	16.380	3.583	0.648	OK		
		下	2.551	14.105	5.529				
	Y	左	4.936	9.555	1.935	0.551	OK		
		右	2.140	7.507	3.507				

全ての壁量充足率が1を超えているためOK

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 軸組計算③	図面No. S-5
		宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	日付	日付	日付	縮尺 1/100
備考						



1階柱壁伏図
新設軸組と金物を示す

凡例				
記号	壁の構造(1) 壁の構造(2)	筋かいの構造		倍率
W1	▽	木材 30×90以上 シングル	1.50	1.50
W2	∩	木材 30×90以上 ダブル	3.00	3.00
W3	△	木材 45×90以上 シングル	2.00	2.00
W4	▤	木材 45×90以上 ダブル	4.00	4.00
W5	▲	木材 90×90以上 シングル	3.00	3.00
W6	▥	木材 90×90以上 ダブル	5.00	5.00
W7	—	構造用合板 2.50		2.50
W8	—	構造用合板 2.50	木材 45×90以上 シングル	2.00 4.50

接合部凡例				*接合部凡例はユーザ設定されたものです。	
記号	仕様		N	倍率	
(い)	短ほぞ差し、かすがい打ち		0.00		
(ろ)	N	長ほぞ差し込み栓打ち		0.70	
(ろ)	L	L字型金物	0.65	0.70	
(は)	V	V字型金物	1.00	1.00	
(は)	T	T字型金物		1.00	
(に)	P	羽子板ボルト	1.40	1.40	
(に)	I	短冊金物		1.40	
(ほ)	Ps	羽子板ボルト+スクリュー釘50	1.60	1.60	
(ほ)	Is	短冊金物+スクリュー釘50		1.60	
(へ)	2	10KN用引き寄せ金物	1.80	1.80	
(と)	3	15KN用引き寄せ金物	2.80	2.80	
(ち)	4	20KN用引き寄せ金物	3.70	3.70	
(り)	5	25KN用引き寄せ金物	4.70	4.70	
(ぬ)	32	15KN用引き寄せ金物×2	5.60	5.60	
(る)	J1	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、短冊金物		1.90	
(を)	J2	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、短冊金物×2		3.00	

梁継手・仕口用
梁継手・仕口用

筋かいの種類に応じた筋かいの端部の接合部の仕様		
筋かいの種類	接合部の仕様(構造方法)	
イ 鉄筋φ9	柱又は横架材を貫通し、三角座金を介してナット締め、又は鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にCN90、8本平打ち	
ロ 筋かい:15×90	柱・横架材を欠き込み、柱・横架材双方に対してN65、5本平打ち	
ハ 筋かい:30×90	鋼板添え板t=1.6mmを筋かいに対してボルトφ12及びCN65、3本平打ち、柱に対してCN65、3本平打ち、横架材に対してCN65、4本平打ち。筋かいプレートBP同等品	
ニ 筋かい:45×90	鋼板添え板t=2.3mmを筋かいに対してボルトφ12及びスクリュー釘φ4.5L50、7本平打ち、柱及び横架材に対してスクリュー釘φ4.5L50、5本平打ち。筋かいプレートBP-2同等品	
ホ 筋かい:90×90	柱又は横架材にボルトφ12mmを用いて一面剪断接合	

胴差と通し柱の接合部の仕様		
胴差と通し柱の条件		仕口
T1	通し柱の片側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、羽子板ボルト、かね折り金物又は同等以上の仕口
T2	通し柱の両側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、短冊金物又は、同等以上の仕口で胴差相互を緊結
T3	通し柱と胴差の接合部の近くに90×90以上の筋かいが来る場合(通し柱が建物の出隅にあるか、筋かい壁が外壁と直交して接する場合)	胴差を通し柱に、15KN用引き寄せ金物を水平に用いて緊結

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 軸組計算④	図面No. S-6
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	日付	日付	日付	縮尺 1/100	

柱接合部判定表

階	通し柱	柱位置		出隅柱		計算式			N	柱頭		柱脚		胴差と通し柱		
		X	Y	階数1又は階数2の2階	階数2の1階	X方向		Y方向		仕様	判定	仕様	判定	仕様	判定	
1		0	0	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	(4.50+0.50)×0.8-0.4	3.60	3.60	4(ち)	OK	4(ち)	OK		
		0.5	0	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		3.5	0	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		4	0	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	(4.50+0.50)×0.8-0.4	3.60	3.60	4(ち)	OK	4(ち)	OK		
		0	1	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(4.50-0.50)×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		4	1	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(4.50-0.50)×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		4	1.5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		4	2	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(4.50-0.50)×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		0	3	×	—	4.00×0.5-0.6	1.40	(1.50+0.50)×0.5-0.6	0.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		1	3	×	—	4.00×0.5-0.6	1.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		3	3	×	—	4.00×0.5-0.6	1.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		4	3	×	—	4.00×0.5-0.6	1.40	(4.50+0.50)×0.5-0.6	1.90	1.90	3(と)	OK	3(と)	OK		
		6	3	×	—	(4.50-0.50)×0.5-0.6	1.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		7	3	×	—	(1.50+0.50)×0.5-0.6	0.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		8	3	○	—	3.00×0.8-0.4	2.00	(1.50+0.50)×0.8-0.4	1.20	2.00	3(と)	OK	3(と)	OK		
		0	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(1.50-0.50)×0.5-0.6	-0.10	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7	5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		8	5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(1.50-0.50)×0.5-0.6	-0.10	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	6	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	7	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(1.50-0.50)×0.5-0.6	-0.10	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0.5	7	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7	7	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		7.5	7	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	3.00×0.5-0.6	0.90	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		8	7	○	—	2.50×0.8-0.4	1.60	0.00×0.8-0.4	-0.40	1.60	Ps(ほ)	OK	Ps(ほ)	OK		
		0	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(1.50+0.50)×0.5-0.6	0.40	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		7.5	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	3.00×0.5-0.6	0.90	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		7.5	8.5	×	—	(1.50+0.50)×0.5-0.6	0.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		8.5	8.5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		9.5	8.5	○	—	(1.50+0.50)×0.8-0.4	1.20	(1.50+0.50)×0.8-0.4	1.20	1.20	P(に)	OK	P(に)	OK		
		7.5	9	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	10	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(1.50+0.50)×0.5-0.6	0.40	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		7.5	10	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		9.5	10	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(1.50-0.50)×0.5-0.6	-0.10	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		10.2	10	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		10.2	10.5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	11	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(1.50-0.50)×0.5-0.6	-0.10	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7.5	11	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		10.2	12	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7.5	12.5	×	—	3.00×0.5-0.6	0.90	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		9.5	12.5	×	—	3.00×0.5-0.6	0.90	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		10.2	12.5	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		10.8	12.5	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	3.00×0.8-0.4	2.00	2.00	3(と)	OK	3(と)	OK		
		0	13	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7.5	13	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	14	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7.5	14	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		10.8	14	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	3.00×0.5-0.6	0.90	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		0	15	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7.5	15	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		10.8	16	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	17	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(1.50-0.50)×0.5-0.6	-0.10	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7.5	17	×	—	3.00×0.5-0.6	0.90	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		9.5	17	×	—	3.00×0.5-0.6	0.90	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		10.8	17	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	18	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(1.50+0.50)×0.5-0.6	0.40	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		7.5	19	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	3.00×0.5-0.6	0.90	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		9.5	19	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(1.50-0.50)×0.5-0.6	-0.10	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	20	○	—	3.00×0.8-0.4	2.00	0.00×0.8-0.4	-0.40	2.00	3(と)	OK	3(と)	OK		
		1	20	×	—	3.00×0.5-0.6	0.90	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		3	20	×	—	(1.50+0.50)×0.5-0.6	0.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		5	20	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7	20	×	—	(1.50+0.50)×0.5-0.6	0.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.40	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		7.5	20	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	3.00×0.5-0.6	0.90	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		8.5	20	×	—	3.00×0.5-0.6	0.90	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.90	V(は)	OK	V(は)	OK		
		9.5	20	○	—	3.00×0.8-0.4	2.00	(1.50+0.50)×0.8-0.4	1.20	2.00	3(と)	OK	3(と)	OK		

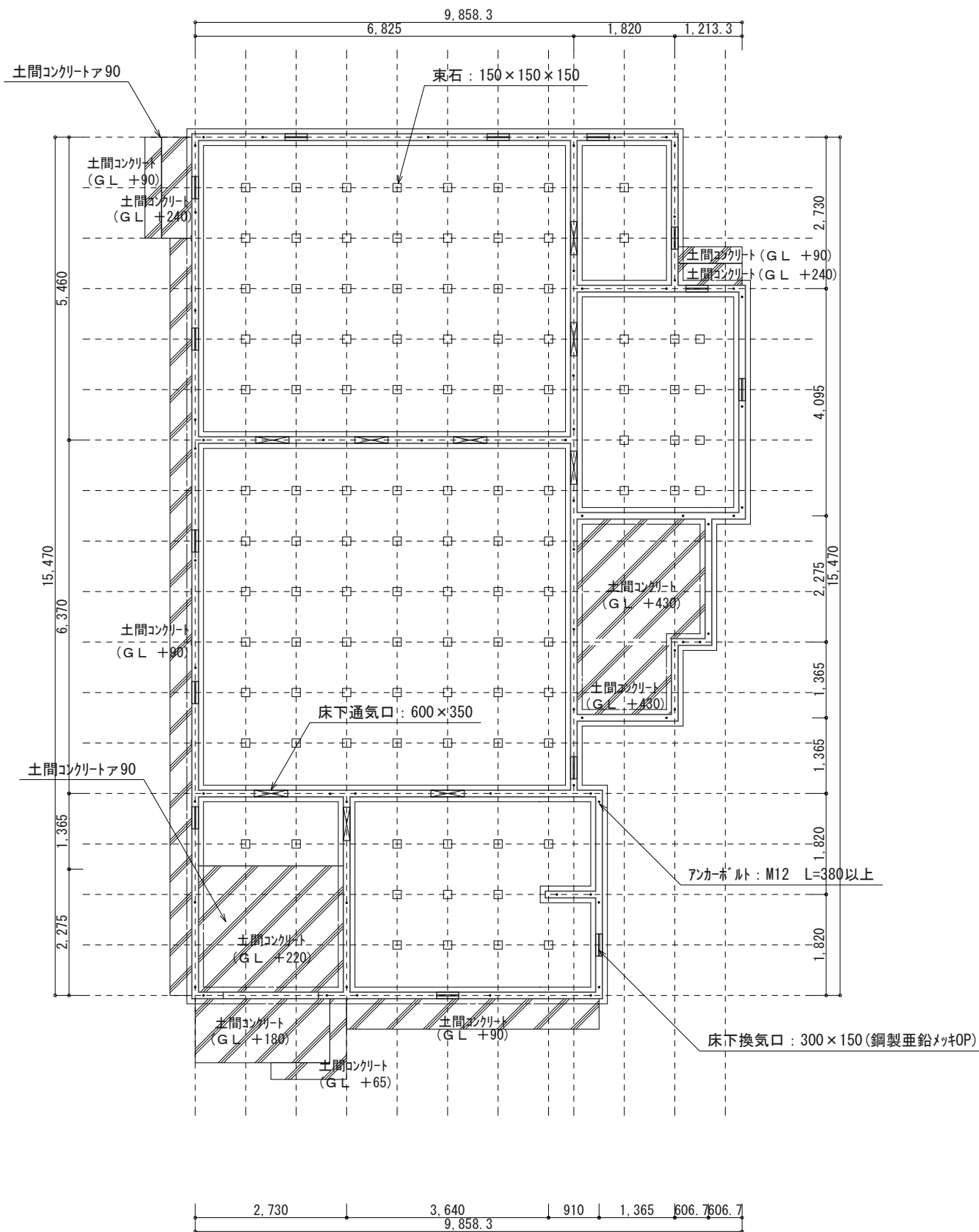
記号	仕様	N	倍率
(い)	短ほぞ差し、かすがい打ち	0.00	
(ろ)	N 長ほぞ差し込み栓打ち		0.70
(ろ)	L L字型金物	0.65	0.70
(は)	V V字型金物	1.00	1.00
(は)	T T字型金物		1.00
(に)	P 羽子板*ルト	1.40	1.40
(に)	I 短冊金物		1.40
(ほ)	Ps 羽子板*ルト+スクリー*釘50	1.60	1.60
(ほ)	Is 短冊金物+スクリー*釘50		1.60
(へ)	2 10KN用引き寄せ金物	1.80	1.80
(と)	3 15KN用引き寄せ金物	2.80	2.80
(ち)	4 20KN用引き寄せ金物	3.70	3.70
(り)	5 25KN用引き寄せ金物	4.70	4.70
(ぬ)	32 15KN用引き寄せ金物×2	5.60	5.60
(る)	J1 腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板*ルト、短冊金物		1.90
(を)	J2 腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板*ルト、短冊金物×2		3.00

梁継手・仕口用
梁継手・仕口用

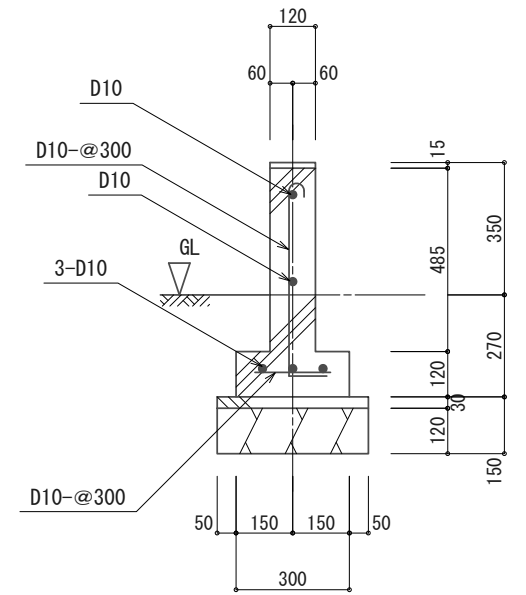
筋かいの種類	接合部の仕様 (構造方法)
イ 鉄筋φ9	柱又は横架材を貫通し、三角座金を介してナット締め、又は鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にCN90、8本平打ち
ロ 筋かい:15×90	柱・横架材を欠き込み、柱・横架材双方に対してN65、5本平打ち
ハ 筋かい:30×90	鋼板添え板t=1.6mmを筋かいに対してボルトφ12及びCN65、3本平打ち、柱に対してCN65、3本平打ち、横架材に対してCN65、4本平打ち。筋かいプレートBP同等品
ニ 筋かい:45×90	鋼板添え板t=2.3mmを筋かいに対してボルトφ12及びスクリー*釘φ4.5L50、7本平打ち、柱及び横架材に対してスクリー*釘φ4.5L50、5本平打ち。筋かいプレートBP-2同等品
ホ 筋かい:90×90	柱又は横架材にボルトφ12mmを用いて一面剪断接合

胴差と通し柱の条件	仕口
T1 通し柱の片側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、羽子板ボルト、かね折り金物又は同等以上の仕口
T2 通し柱の両側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、短冊金物又は、同等以上の仕口で胴差相互を緊結
T3 通し柱と胴差の接合部の近くに90×90以上の筋かいが来る場合(通し柱が建物の出隅にあるか、筋かい壁が外壁と直交して接する場合)	胴差を通し柱に、15KN用引き寄せ金物を水平に用いて緊結

工事名	令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名	N値計算	図面No.
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555		日付	日付	日付	縮尺		S-7



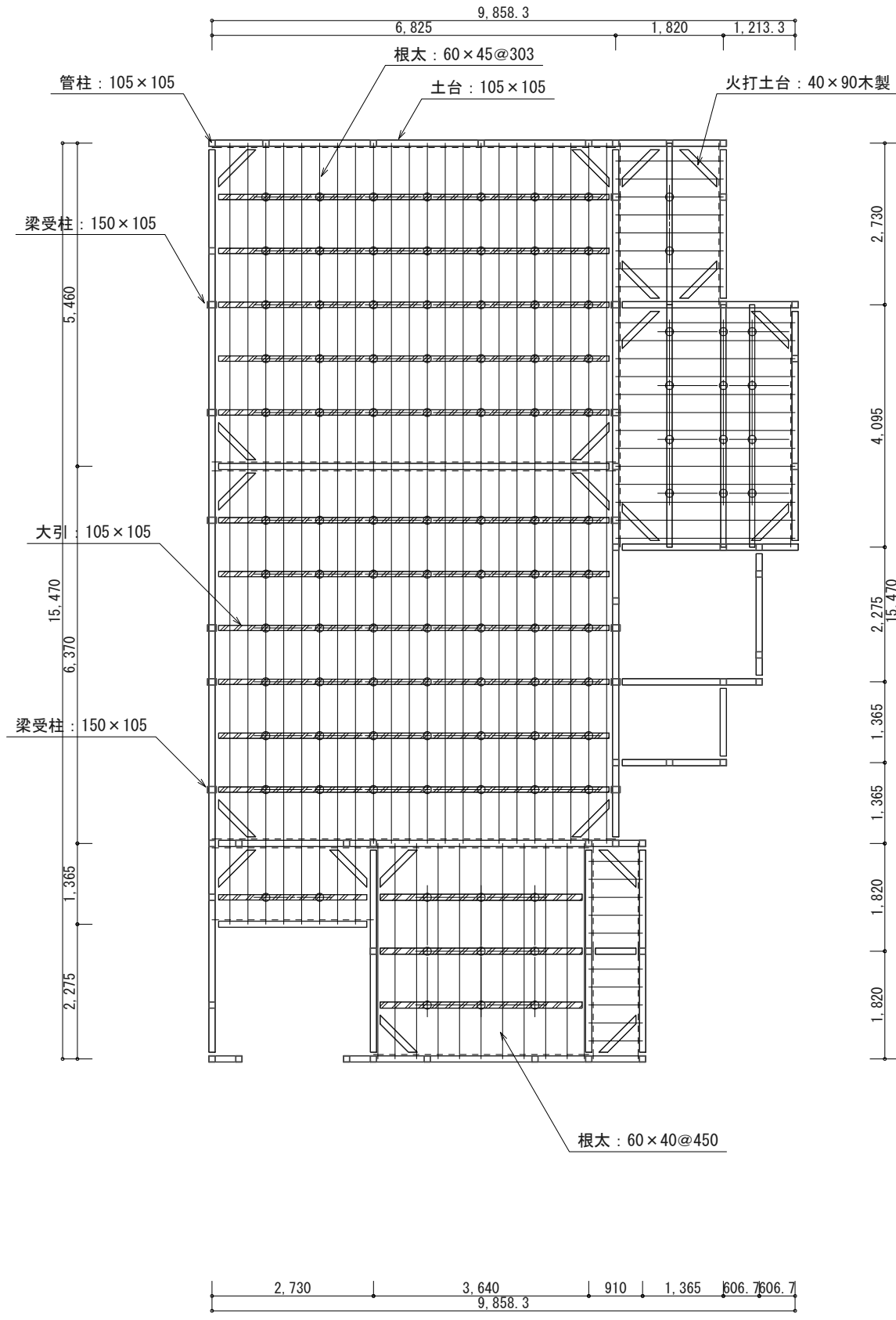
基礎伏図 S:1/100



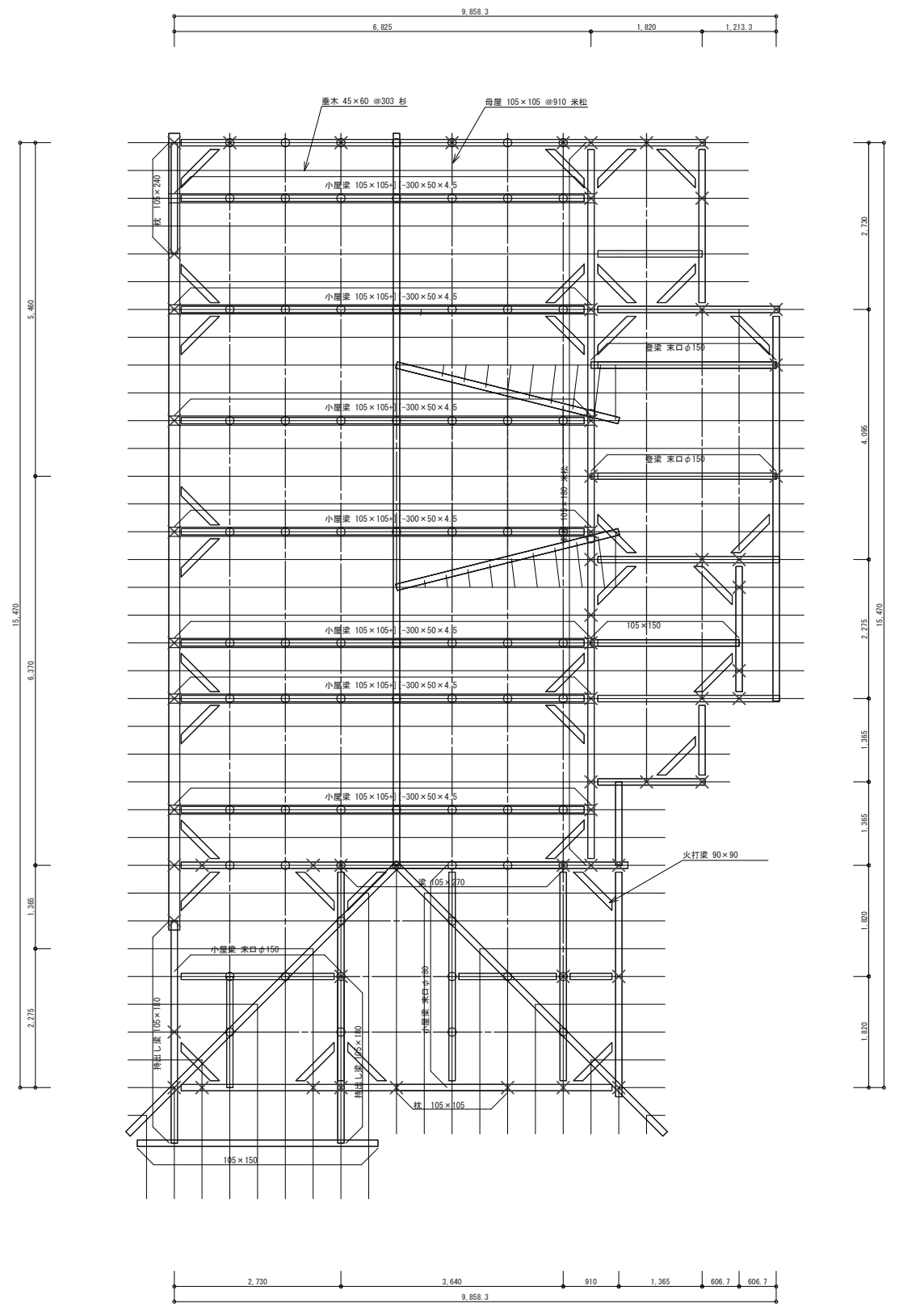
布基礎断面 S=1/20

アンカボルト: M12 L=380以上

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	管理者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	設計者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	担当者 	図面名 既存基礎伏せ図	図面No. S-8
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555</small>	日付	日付	日付	縮尺 1/100	

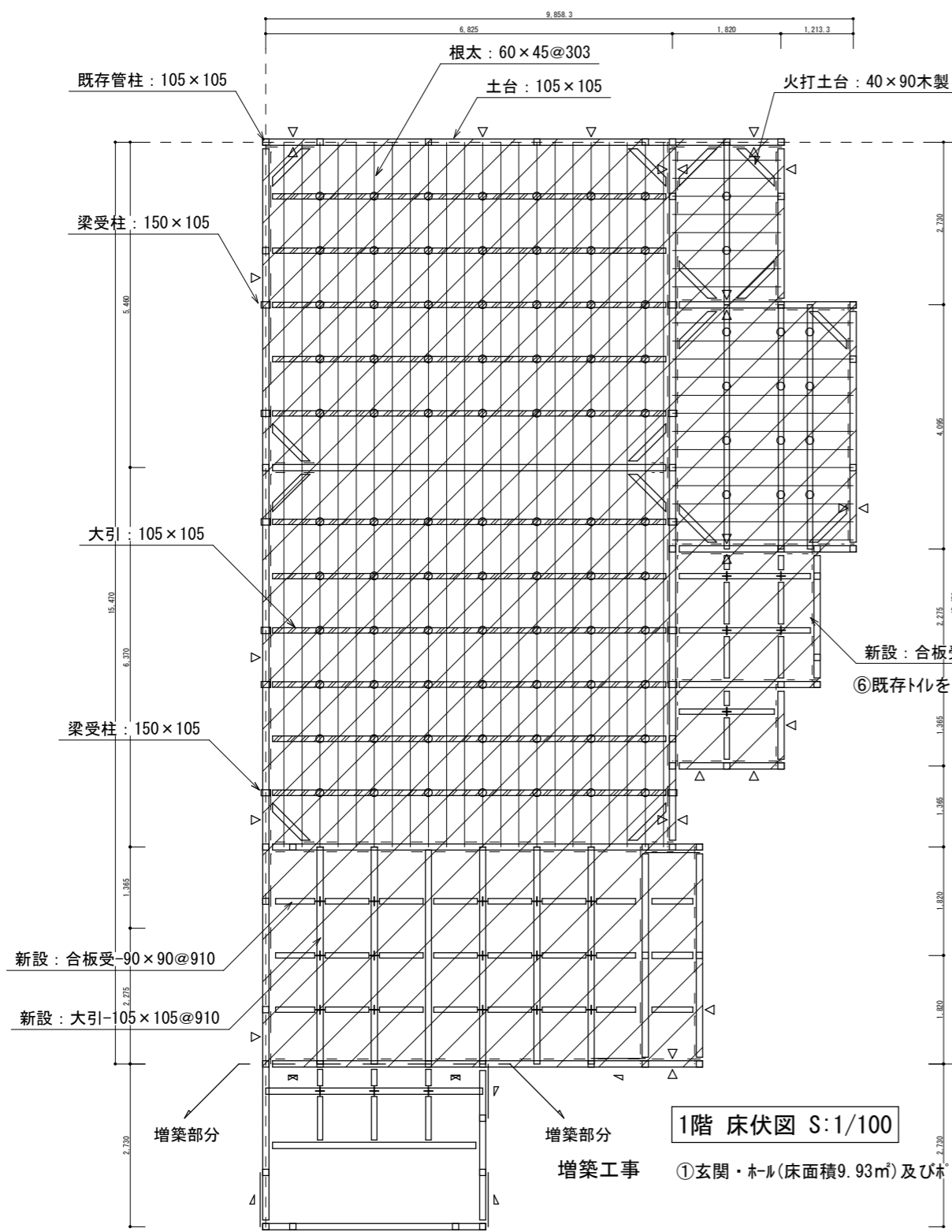


1階 床伏図 S:1/100



小屋伏図 S:1/100

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 <small>事務所登録 宮城県 第21610219号</small>	管理者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	設計者 池下 久幸 <small>一級建築士 第280837号</small>	担当者 	図面名 既存建物 床・小屋伏せ図	図面No. S-9
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 <small>TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555</small>	日付	日付	日付	縮尺 1/100	



1階 床伏図 S:1/100

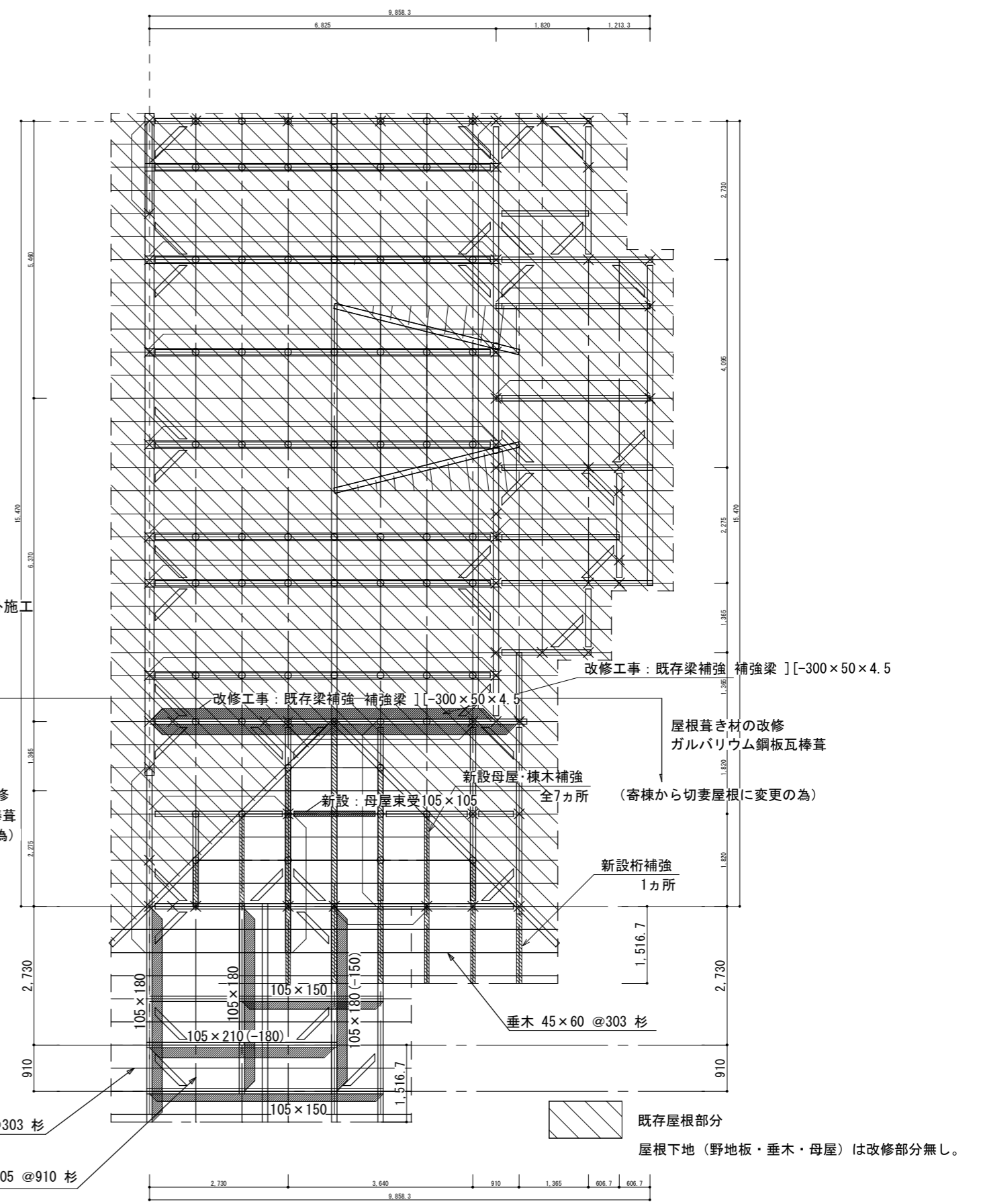


増築工事 ①玄関・ホール(床面積9.93㎡)及びホール・スロ-フ 屋根含む

⑩既存床に嵩上げ下地施工(調整根太、合板)により水平に補修(集会室No.1、No.2、備品庫、湯沸室)
(高低差 南西角±0~北東角-70mm程度(既存建物にて))
床: WPC707-(同等品)張り仕上(集会室No.1、No.2、備品庫)
CFシート張り仕上(湯沸室)
新設巾木及び胴縁下地設置

改修工事 ④既存和室・玄関・ホール部分を集会室N03に変更
上記に伴う付帯工事
既存対象柱・壁・床・天井・建具等撤去
補強梁・柱・壁(耐力壁仕様)の設置
新設床組+断熱材+合板+フローリング

新設: 合板受-90x45
⑥既存トイレを男・女トイレに改修
既存土間床撤去、床組+CFシート施工



小屋伏図 S:1/100

既存屋根部分
屋根下地(野地板・垂木・母屋)は改修部分無し。

工事名 令和3年度とちの木会館改修工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者 日付	図面名 増築・改築 床・小屋伏せ図	図面No. S-11
備考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	日付	日付	日付	縮尺 1/100	

令和3年度とちの木会館改修工事
閲覧特記事項書

1. 工事实績情報登録
工事实績情報の登録について、契約締結後10日以内に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出すること。
2. 官庁その他への手続き関係
 - イ) 工事施工に必要な諸手続き、仮設用電力・水道の引込・変更等手続き(設計審査手数料及び竣工検査手数料を含む)、道路、電線、その他第三者管理の土地等を使用する際や支障移設等の手続きは一切工事施工者にて行い、且つその費用を負担すること。
 - ロ) 本工事施工により生じた付近道路、その他建築物又は工作物の損傷は一切施工者の責任において誠意をもって復旧すること。
又、近隣との融和につとめ、本工事による苦情が発注者まで及ばぬよう施工者の責任において処理すること。
3. 下請負契約、雇用及び購入業者選定
下請負業者の選定や職業労働者の雇入れ及び使用機器材の購入にあたっては富谷市内の業者及び労働者雇用に配慮すること。
4. 建材等について
工事に使用する建材については、無石綿建材とすること。
5. 諸検査等について
消防検査、市役所検査等の諸検査も工期に含むものとする。
6. 製本図の提出
工事請負者は工事に先立ち、本工事設計図製本(A-3版二つ折り製本)3部を提出すること。
7. 本工事の工程計画について
会館内の荷物については、外部に保管場所を確保できないため、工事中の会館内での荷物の移動に配慮した工程を計画して頂きます。
なお、荷物の移動については町内会で行なうこととしますが、可能な限りご協力頂きますようお願い致します。